

令和 6 年度
事務事業の決算評価報告書
事務事業の外部評価報告書

遊佐町イメージキャラクター



遊佐町行政評価推進委員会
遊佐町行政評価外部評価委員会

目 次

第 1 部 事務事業の決算評価報告書（内部評価）	1
遊佐町行政事務事業評価制度の概要	2
事務事業評価シート記載例	7
事務事業（決算評価）3 段階評価の手法	8
遊佐町行政事務事業評価制度体制図	11
令和 7 年度 遊佐町行政評価推進委員会 委員名簿	12
遊佐町行政評価推進委員会設置要項	13
令和 7 年度 内部評価結果一覧表（令和 6 年度事後評価）	14
総合発展計画 第 1 章～第 3 章 ※令和 7 年度外部評価対象外事業	
事務事業評価シート（令和 7 年度外部評価対象事業シート）	22
総合発展計画 第 4 章～第 6 章	
第 2 部 事務事業の外部評価報告書	71
外部評価制度について	72
評価の視点	72
令和 7 年度 遊佐町行政評価外部評価委員会 委員名簿	75
遊佐町行政評価外部評価委員会設置要綱	76
遊佐町行政評価外部評価委員会公募委員選考要綱	78
令和 7 年度 行政評価外部評価ヒアリング 日程表	79
令和 7 年度 外部評価ヒアリング結果	80
令和 7 年度 外部評価結果一覧表（令和 6 年度事後評価）	83
令和 7 年度 外部評価制度に対して外部評価委員から出された意見	91
外部評価対象外事業一覧表	92
おわりに・・・令和 7 年度外部評価委員会を振り返って	101
（埼玉大学経済学部 シニアプロフェッサー 斎藤友之）	

・ ・ ・ ・ ・ 第 1 部 ・ ・ ・ ・ ・

事務事業の決算評価報告書
(内部評価)

遊佐町行政事務事業評価制度の概要

1. 行政評価とは

行政評価とは、行政が行う施策や事業を「住民にとっての効果は何か」、「当初期待したとおりの成果はあがっているのか」という有効性の視点から客観的に検証を行い、より効率的・効果的な町政、住民にわかりやすい町政の運営をめざすものです。また、評価した結果を翌年に活かしていく手段ともなります。

客観的評価により明らかになった課題を迅速に次の計画に反映していくことで、住民本位の町政、住民の立場に立った町政に変えていく行政運営のひとつの手段といえます。

2. 行政事務事業評価制度を導入している理由

財政状況において、限られた歳入で多様化する住民ニーズに機動的かつ的確に応えるため、予算や職員等の行政資源をより効果的に配分することが必要です。

このため、住民への説明責任、長期計画の進捗管理、成果を重視した行政運営、限られた財源の有効活用、職員の意識改革など行政の自立性をより向上させ、一層の推進を図っていかねばなりません。

行政には事業の内容を始め、事業の効果、事業の費用、事業の成果などについて、住民にわかりやすい形で説明していく責任があります。

こうした状況の中、事業の当初の目的を再確認し、期待したとおりの成果があるか、より効率的な方法はないか、などについて検証する必要性があります。そのために、いわゆる「行政事務事業評価制度」を導入しております。

3. 行政評価を導入する目的

(1)住民への説明責任（アカウンタビリティ）の向上

施策・事務事業の目的、内容、達成度などを住民にわかりやすい形で公開することによって、住民に対する説明責任（アカウンタビリティ）の向上を図ります。

(2)住民との協働のための事務事業の透明性の向上

施策・事務事業の目的や目標を明確にし、その成果・結果を明らかにすることによって、住民との協働の範囲を明らかにすることにより、協働のまちづくりの具現化を図ります。

(3)事業目的達成のための改革・改善

施策・事務事業の目的、内容、達成度などを客観的に評価することにより、その結果から目標を達成するための改革・改善の方向を明らかにします。

(4)職員の創造性の醸成

施策・事務事業の目的意識・目標達成意識を確認することにより、地方分権に対応する、職員の創造性を醸成します。

4. 評価の対象となる事業

行政評価の対象となる事業は、教育委員会部局を除く一般会計、特別会計および企業会計に属する全ての事務事業です。ただし、次に掲げる事業は、外部評価の対

象外とします。

- (1)町に裁量権がない事業（国、県の補助事業や当番制による事業など）
- (2)扶助的性質の高い事業（生活扶助や就学扶助に関する事業など）
- (3)施設の維持管理、計画策定、県の要請や委託など確実な実施で目的が達成する事業
- (4)長期的な評価しか適当でない事業（単年度では評価できない事業など）
- (5)その他、基本的な事務に関する事業（職員の旅費、事務費、福利厚生に関する事業など）

5. 評価の方法

(1)評価シートによる評価

評価は、行政評価システムにおける「事務事業評価シート」（P.22～P.70 を参照）に基づいて行います。

この「事務事業評価シート」について説明しますと、各事務事業は、総合発展計画の【章】（政策）、【節】（施策）、【項】（事業群）により分類しています。そして、直接事業費についても大まかに記載しています（尚、事業によっては単独で予算化されていないものもあり、空欄の場合もあります）。さらに、各事務事業について目的・活動内容・対象者・成果を設定し、目標数値は現状を踏まえて定めています。その際の算出式も具体化しています（但し、性質上定めがたいものは空欄となります）。

こうした前提に立ち、目標数値と結果の差や「評価基準」を参考にして、担当課で評価を下したのが、「担当課年度評価」欄と評価値・方向性になります。平成 22 年度から、町民の外部評価委員による外部評価制度を導入しましたが、その外部評価委員による評価が、「外部評価」欄と方向性になります。さらに、外部評価の結果を踏まえて、町としての最終見解をまとめたのが、「町としての考え方」欄と方向性になります。

(2)評価と評価基準

次に「評価基準」と「評価」の考え方について述べていきます

「3段階評価の手法」（P8 を参照）に示す通り、「評価基準」は、妥当性、貢献度、有効性、効率性、活動量の 5 つがあります。

妥当性は、事業の目的や手段、対象などの事業内容が適切か否かを示す基準で、「妥当である」を 1 点、「一部妥当」を 0.5 点、「妥当でない」を 0 点とし、それぞれの評価値を 3、2、1 としています。妥当性は事業そのものをするかしないかを定めるものであることから、他の評価基準とは異なり厳しめに設定しています。

貢献度は、施策に対する当該事業の貢献具合を示すもので、同一施策内の事業との比較で位置付けるものです。貢献度合いは、「大きい」を 3 点、「普通」を 2 点、「小さい」を 1 点とし、それぞれの評価値を 3、2、1 としています。

有効性は、事業の具体的な結果がどれだけ目標に貢献しているかを指す、いわゆる成果の達成度合いのことを示します。目標に対する達成度合いは、「80%以上」を

3点、「50%以上から80%未満」を2点、「50%未満」を1点とし、それぞれの評価値を3、2、1としています。なお、妥当性、貢献度、有効性の詳細は表1を参照してください。

続いて、効率性と活動量について説明します。**効率性**は、「コスト縮減の余地」で捉えることにしています。余地は、「全くない」を3点、「少しある」を2点、「大いにある」を1点とし、それぞれの評価値を3、2、1としています。コスト縮減の余地を考える際の参考になるのが「事務事業評価シート」の直接事業費の推移です。なお、コストそのものを論じれば、携わる職員の人件費も考慮するのが正論なのですが、人件費を含めた場合の各事業の効率性の算定が難しいため、現時点では考慮されていません。

活動量は、事業実施の活動指標や活動回数が判定基準となるように、各事業の年間における実際に行った活動の量と設定しています。具体的に何をどれだけするかを決めていれば、自ずと明らかになるものです。実績値としての活動量は、「100%以上」を3点、「50%以上から100%未満」を2点、「50%未満」を1点とし、それぞれの評価値を3、2、1としています。

●表 1

# 妥当性・貢献度・有効性			
1・・・不可(考え方や目標数値と結果を見て、評価できる要素が少ない)			
2・・・可(考え方や目標数値と結果を見て、評価できるものもある)			
3・・・良(考え方や目標数値と結果を見て、十分な評価ができる)			
※ 評価の基準			
評価基準	考 え 方	判 断 根 拠	3段階評価
妥 当 性	① 社会情勢の変化に対応しているか ② 住民ニーズに対応しているか ③ 事業手法は適切か ④ 受益者負担が適切か ⑤ 町が関与していくべきものか	事務事業の目的、対象者、手段の設定等が適切であったかを総合的に勘案	1～3
貢 献 度	① その事務事業の施策推進への貢献度 【章】【節】【項】の上位群への貢献度	同一施策内の事務事業との比較	1～3
有 効 性	① 計画に対する到達具合は ② 成果に対しどれだけ貢献したか	事業の具体的な結果 数値ほか	1～3

(3)評価と方向性

以上の「評価基準」と「評価」の考え方によって設定ないし測定された数値を分かりやすく位置付けるのが、「3段階評価の手法」(P8)の下図です。この図は、縦軸を妥当性と有効性、横軸を効率性と活動量のそれぞれ数値をもとに当該事業の位置を、A～Dの四つに区分しています(P9参照)。Aはいずれの評価も高く、望ましい姿といえます。Bは、妥当性と有効性は高いが、効率性と活動量の両方か、あるいはいずれかの評価基準が低い状況です。CとDはいずれも、妥当性と有効性のい

ずれか、もしくは両方の評価基準が低い、C は効率性と活動量が高い。言わずもだが、D はいずれの評価基準も低く、事業そのものの継続あるいは事業の採択は期待できない状況に位置付けられます。なお、それぞれの評価が平均の場合には高い評価にならないように設定されています。

上記の手続きを経て、事業の位置付けを確認した上で、最終的に事業の「方向性」を判断する基準が、9 ページの下表です。3 段階評価で A と判断された場合、現状のまま事業を進めていく、いわゆる「継続」となります。B は効率的に事業を進めるための「改善」、C は妥当性がなければ「縮小」・「廃止」、もう一つ考えられるのが、貢献度が低い場合には改善となるケースも想定されます。D も C と同じように方向性が想定されます。なお、「方向性」には、これ以外に、表 2 に示す通り、継続、改善の他にも拡大や統合などありますが、原則、「3 段階評価の手法」と連動しています。

●表 2

- | |
|--|
| ◆「拡大」・・新たに事業を展開するなど、積極的に行政が関与していく(基本は A) |
| ◆「継続」・・従来の事業の内容・方法のままで継続する(基本は A) |
| ◆「改善」・・従来の事業の内容・方法の見直しを行う(基本は B) |
| ◆「縮小」・・既存の事業を整理するなど行政関与を見直し減らしていく(基本は C・D) |
| ◆「統合」・・関連・類似事業との整理統合を行う(評価欄の記述を参考) |
| ◆「廃止」・・事業を廃止する。行政は関与しない(評価欄の記述を参考) |
| ◆「終了」・・事業の目的を達成して、事業を終了する(評価欄の記述を参考) |
| ◆「対象外」・評価の必要性が低いため、評価対象から外す。 |

以上のような「3 段階の評価の内容」そして「決算評価をもとに、次年度以降の方向性を判断」に進展し、最終的に「事務事業評価シート」の「担当課年度評価」欄の評価値・方向性に結びついていきます。

(4) 評価体制と当該年度評価対象事業

この行政評価システムは、できるだけ客観的に評価できるように構築されていますが、あくまでも事業担当者・係・課において目標を設定し自己評価していることに変わりはありません。したがって、恣意的要素を除去する手立てとして、遊佐町行政評価推進委員会（委員長を副町長とする職員 15 名で構成。P.12 委員会名簿参照）を設置し、同委員会が行政評価システムの改善を含めて、この一連の作業の核となり、チェック機関として機能するように努めています。

また、平成 22 年度より、行政評価に関し、評価制度の透明性と評価内容の客観性を確保することを目的に、遊佐町行政評価外部評価委員会を設置し、町民の委員による外部評価を実施しております。その報告書については、第 2 部の「事務事業の外部評価報告書」により、報告いたします。

なお、平成 28 年度の外部評価（平成 27 年度分の評価実施）より、より深く時間をかけて事業内容について評価することを目的に、前述の総合発展計画の【章】（政

策)により全事業を2つに分け、2年で全事業を外部評価(1年で半数ずつの事業を外部評価)する方法に変更しました。令和7年度は総合発展計画の第4章から第6章に該当する事業(49事業)を評価しました。

以上の評価を踏まえて、最終的に「遊佐町行財政改革推進委員会」(課長会議)において、「町としての考え方」について確認をし、次年度に反映させる努力をしています。

6. 評価結果の公表と活用

担当課による評価を行い、さらに外部評価を実施した事務事業の評価結果については、「事務事業の決算評価報告書・事務事業の外部評価報告書」としてまとめ、町民に公表いたします。また、町議会及び振興審議会に報告され、令和8年度の振興計画策定及び予算編成に活用いたします。

7. その他

- ・ 事務事業評価シート記載例 (P.7)
- ・ 事務事業評価(決算評価)3段階評価の手法 (P.8)
- ・ 3段階の評価の内容 (P.9)
- ・ 事業判定フロー図 (P.10)
- ・ 遊佐町行政事務事業評価制度の体制図 (P.11)

※ 次ページ以降を参照してください。

事務事業評価シート 記載例

令和6年度

			事業No.	2			
所管課・係名	企画課 企画係		予算科目	2 款 1 項 8 目			
事務事業名	国際交流事業		予算大事業名	国際交流事業			
総合発展計画【章】	第5章 ふるさとを愛し、未来を拓く、いのち輝く町民の育成《教育・文化》						
総合発展計画【節】	第1節 遊佐を愛し、未来にはばたく子どもの育成						
総合発展計画【項】	第2項 自己有用感に根ざす青少年の健全育成						
事業の概要	目 的 姉妹都市ハンガリー・ソルノク市での交流等とおし、町民の国際的な感覚と協調心を養うとともに、次世代を担う生徒の国際理解を深める						
	内 容 姉妹都市であるハンガリー・ソルノク市等への派遣						
令和4年度分の外部評価の意見	これからいろいろな方法を考え、交流を深めていただきたい。					方向性	継続
						継続	
令和5年度分の町としての考え方	引き続き中高生の派遣を行い、ハンガリーとの交流を続けていく。					方向性	継続
						継続	
令和6年度に対応した主な活動	3月に中高生派遣団がハンガリー・ソルノク市を訪問した。また、2月には遊佐町合併70周年記念式典にハンガリー大使館から大使、料理長、リストハンガリー文化センターから所長が来町し交流した。						
予算・決算 (千円)	令和4年決算額	令和5年決算額	令和6年度予算額		令和6年決算見込額		
	2,750	10,034	11,890		8,940		
令和6年度 決算内訳(円)	国際交流事業推進委託料 8,939,742円 (内訳: 国際交流事業推進業務委託 1,790,578、合併70周年記念事業 551,119円、3月派遣事業 6,598,045円)						
成果指標設定の 考え方	派遣事業への参加人数(一般団員を含む)						
成果指標の 年度経過	令和4年	令和5年	令和6年	目標年度	令和6年		
	0名	13名	13名	目標値	14名		
評 価 欄							
担当課評価基準	妥当性	貢献度	有効性	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	3	2	3	A	継続
令和6年度 担当課年度評価 (方向性の理由)	3月の中高生派遣団は10名の中高生と3名の大人団員が参加した。派遣前の研修会や派遣後の報告会を含め、参加者の国際理解を深めること繋がっており、貢献度や有効性は高い。引き続き中高生を交流を継続し国際交流事業を未来へ繋いでいきたい。						
課題 (改善すべき点 /方向性)	国際交流に関わる若者の育成のため、派遣事業に参加した中高生の今後の町の国際交流との関わり方について考える必要がある。また派遣団員の選出方法や参加者負担金の見直しを検討する。						
外部評価委員会 の意見	派遣団員の選出方法や参加者負担金の見直しを進めていただきたい。					方向性	改善
						改善	
町としての考え方	団員の選出方法について抽選方法の見直しを進める。また、参加者負担金を増額する。					方向性	改善
						改善	

○計画【章】【節】【項】
「遊佐町総合発展計画（第8次振興計画）」の目次「第3編基本計画」の章・節・項

○令和4年度分の外部評価意見
最後に外部評価を行った際の外部評価委員による指摘事項

○令和5年度町としての考え方
昨年度の本事業に対する町の方向性

○令和6年度に対応した主な活動
前回の外部評価委員の指摘や課題に対し、令和6年度に町が対応又は実施した内容

○評価基準・評価値・方向性・担当課年度評価及び課題
当該事業について、担当課で評価した内容を記載。令和6年度の評価の理由と、今後の課題について明記。

○外部評価・方向性
外部評価ヒアリングの内容から外部評価委員会がまとめた意見を記載。

○町としての考え方
外部評価の意見を受けて、今後の事業について町の考え方を記載。

事務事業評価(決算評価)3段階評価の手法

● 決算評価A～Dは各項目ごとの評価を、下記のルールに当てはめて算出しています。

縦軸 = 「妥当性」「貢献度」「有効性」

妥当性(事業内容が適切か)			施策への貢献度		有効性(成果達成度)		
評価			評価		評価	目標値に対する実績値の割合	
3	「妥当である」	1点	3	「大きい」	3	80%以上	
2	「一部妥当である」	0.5点	2	「普通」	2	50%～80%未満	
1	「妥当ではない」	0点	1	「小さい」	1	50%未満	

5点以上……AかB
4点以下……CかD

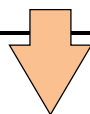
横軸 = 「効率性」「活動量」

コスト削減の余地(効率性)			事業実施の活動量		
評価			評価		
3	「全くない」	3点	3	100%以上	
2	「少しはある」	2点	2	50%以上～100%未満	
1	「大いにある」	1点	1	50%未満	

= 5点以上……AかC
4点以下……BかD

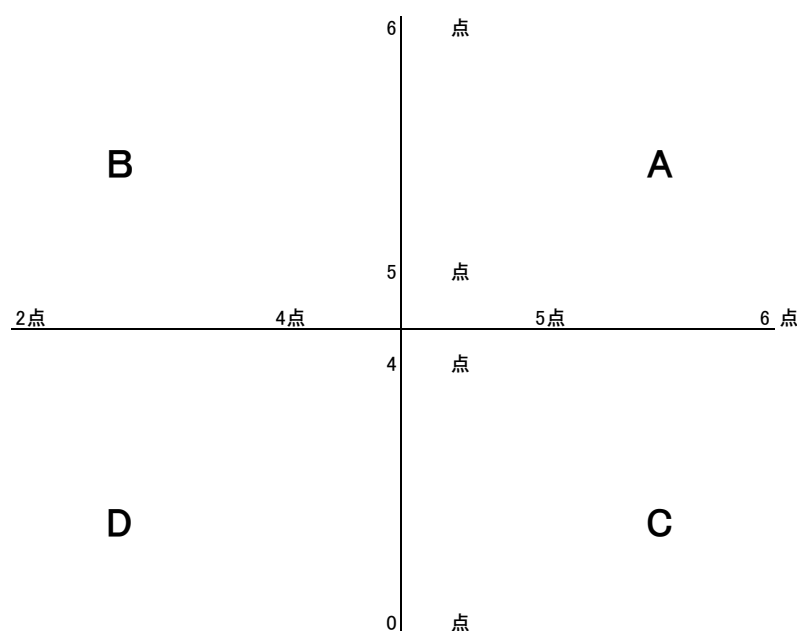
※横軸と縦軸が重複したところが評価値となる。

※ 有効性(成果達成度)の評価基準である目標が設定できない事務事業については、縦軸項目を参入していません。AかBの決算評価になります。



○縦軸: 公共関与の妥当性×(上位事業群への貢献度+成果達成度) ⇒ AかBまたはCかD

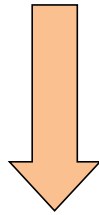
○横軸: コスト削減の余地+活動量 ⇒ AかCまたはBかD



※それぞれの項目が、平均の場合、上位評価にならないようなくみ

評価の内容

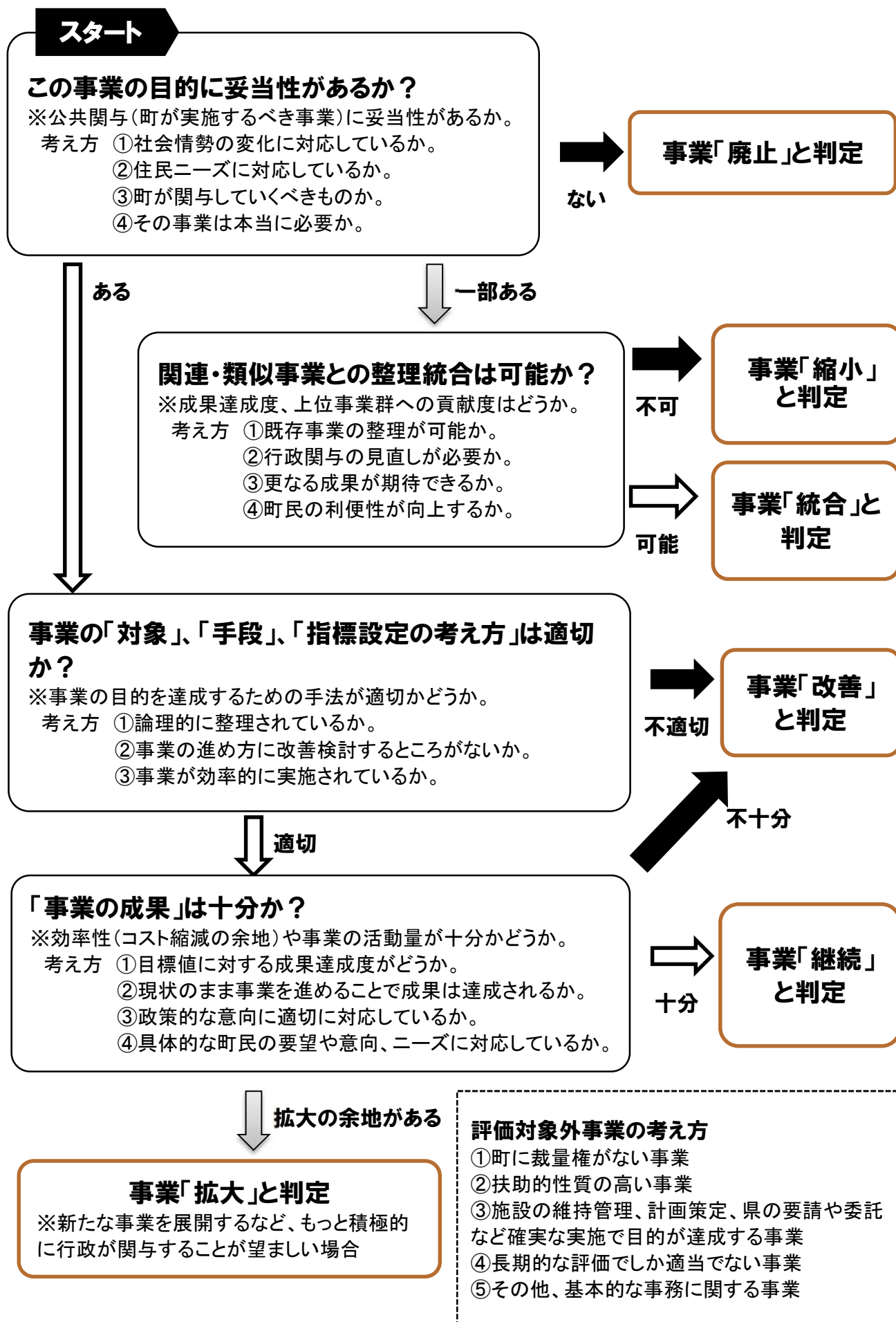
	縦軸の内容	横軸の内容	総合コメント
A	公共関与に妥当性があり、上位事業群への貢献度も高く、成果もある程度達成されている	効率的に事業が実施されており、活動量も高い	基本的に現状のまま事業を進めることが適当
B		効率的に事業が実施されていないか、活動量が足りない	事業の進め方の改善検討
C	公共関与の妥当性がないか、又は公共関与の妥当性はあるが、上位事業群への貢献度や成果達成度が低い	効率的に事業が実施されており、活動量も高い	事業規模・内容又は実施主体の見直しを検討
D		効率的に事業が実施されていないか、活動量が足りない	事業の抜本的な見直し、又は休廃止の検討



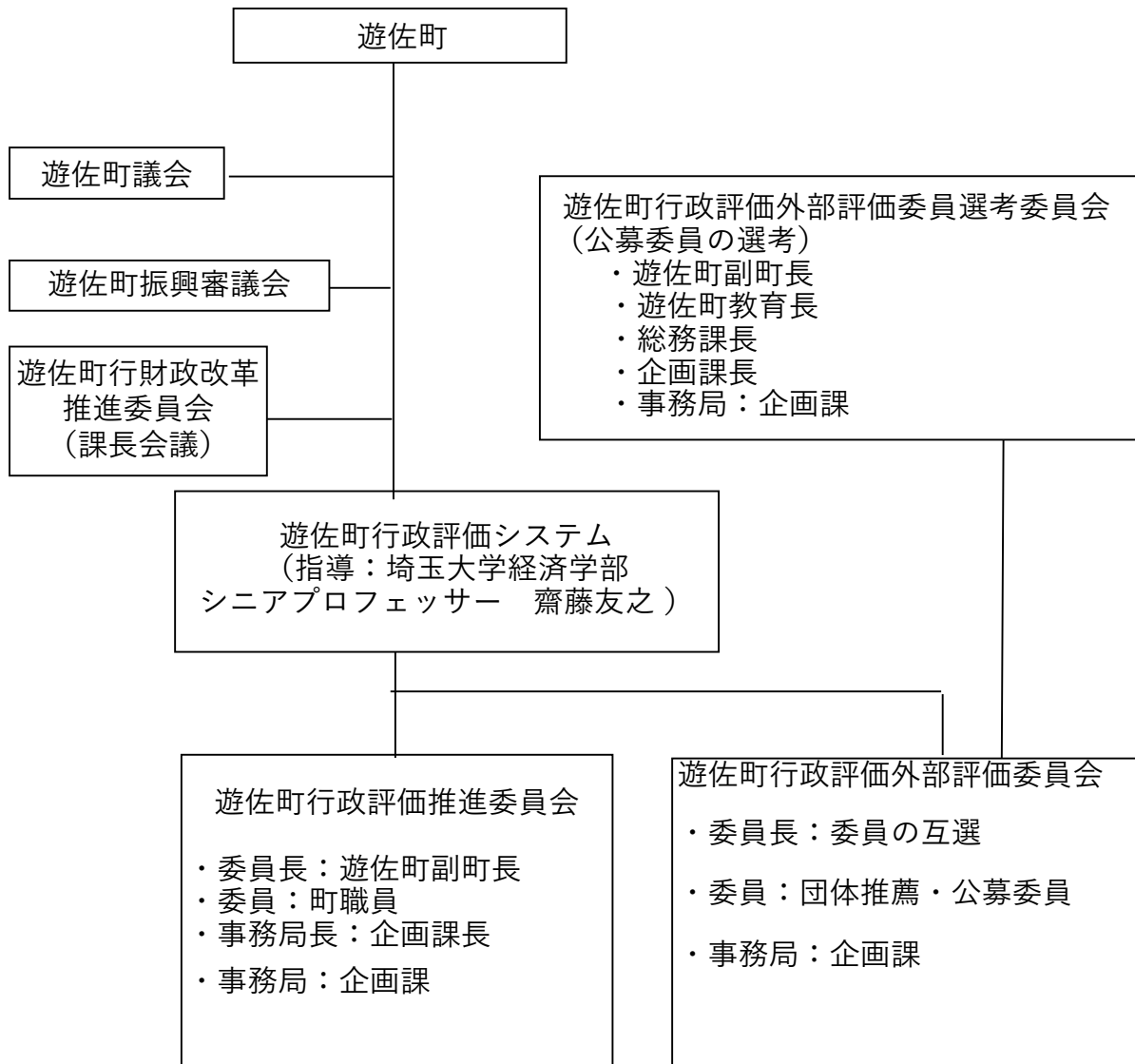
決算評価をもとに、次年度以降の方向性を判断

	総合コメント	今後の主な方向性
A	基本的に現状のまま事業を進めることが適当	現状のまま事業を進めていく・・・継続
B	事業の進め方の改善検討	効率的に事業を進めていく・・・改善
C	事業規模・内容又は実施主体の見直しを検討	公共関与の妥当性がなければ・・・縮小、廃止 成果達成度、上位事業群への貢献度を上げるために・・・改善
D	事業の抜本的な見直し、休廃止の検討	公共関与の妥当性がなければ・・・縮小、廃止 成果達成度、上位事業群への貢献度を上げるために・・・改善

事業判定フロー図



遊佐町行政事務事業評価制度 体制図



令和7年度 遊佐町行政評価推進委員会名簿

※委員は、各課より選出する。

※委員は、主査・主任級を中心として選出する。（代理出席可能）

No.	所 管 課	職 名	氏 名	備 考
1	遊佐町	副町長	高橋 務	委員長
2	総務課	主任	小野寺 恵	
3	総務課	主任	菅原 大介	
4	企画課	主任	佐藤 結	
5	企画課	主任	伊藤 壘	
6	産業課	主任	高橋 克幸	
7	産業課	主任	鈴木 洋光	
8	地域生活課	主査	菅原 望	
9	地域生活課	主事	菅原 優輔	
10	健康福祉課	主査	秋野 傳二	委員長代理
11	健康福祉課	主任保健師	佐藤 あゆみ	
12	健康福祉課	主任保健師	今野 沙里	
13	町民課	主任	本間 美里	
14	町民課	主事	阿部 花苗	
15	教育課	主任	境 直子	

事務局

1	企画課	課長	渡会 和裕	事務局長
2	企画課	係長	佐藤 裕也	
3	企画課	主査	遠田 久幸	
4	企画課	主任	瀧口 めぐみ	
5	企画課	主任	高橋 愛	
6	企画課	主事	風間 雅文	

※任期は、令和8年3月31日までとする。

遊佐町行政評価推進委員会設置要項

（設置）

第1条 本町における行政評価システムの作成、運用の推進を図り、もって町民に対する利便供与の改善向上を図るため、遊佐町行政評価推進委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（所掌事務）

第2条 委員会は前条の目的を達成するために、次に掲げる事項について調査研究又は運営について各所管課における推進を図るものとする。

- (1) 遊佐町行政評価システム（以下「システム」と称する。）の作成に関する各課意見とりまとめに関すること。
- (2) システムの運用に関する各課の助言に関すること。
- (3) システムの運用を通じた事務事業の見直し作業に関する各課の助言に関すること。
- (4) その他システムの改善に関すること。

（組織）

第3条 委員会は、委員長、委員長代理及び委員若干名をもって組織する。

2 委員長は副町長をもって充て、委員長代理は、委員長が予め指名するものとする。

3 委員は、町の職員のうちから、町長が命ずる。

（委員長及び副委員長）

第4条 委員長は、委員会を統轄する。

2 委員長代理は、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

（会議）

第5条 委員会は、委員長が招集する。

2 委員長は、会議の議長となる。

（提案）

第6条 職員は、システムの改善に関する意見を委員会事務局に提出することができる。

（事務局）

第7条 委員会の所掌する事務を処理するため、委員会に事務局を置く。

2 事務局長は、企画課長をもって充てる。

3 事務局員は、企画課企画係に属する職員及び町長が特に命じた職員をもって充てる。

（その他）

第8条 この要項に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、委員長が定める。

附 則

（施行期日）

この要項は、平成17年2月10日から施行する。

附 則

この要項は、平成19年4月1日から施行する。

令和7年度内部評価結果一覧表(令和6年度事後評価) 総合発展計画 第1章～第3章
(令和6年度外部評価対象のため、令和7年度は外部評価対象外)

第1章 地域の特性を活かした産業振興と多彩な働き場の構築<産業振興>

第1節 雇用の安定と就労環境の充実

第1項 新たな雇用を生み出す企業誘致の推進

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
1	1	1	立地企業支援事業	産業課 産業創造係	A	継続	継続	県や酒田市との連携、助成制度を活用して企業誘致を推進し、鳥海南工業団地の分譲と雇用促進を着実に進める。
1	1	1	ビジネスネットワーク事業	産業課 産業創造係	A	継続	継続	計画的に事業を実施して企業のネットワークを活性化させ、企業誘致、地元雇用の拡大を着実に進める。

第2項 未来の産業を担う人材育成と発掘

該当事業なし

第3項 多様な働き方を支える就労環境への支援

該当事業なし

第2節 所得の向上と後継者育成

第1項 農林水産業の育成

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
1	2	1	遊佐ブランド推進事業	産業課 産業創造係	B	改善	継続	遊佐ブランド「遊佐のいとなみ」の情報発信とECサイト販売のリピーター獲得を着実に推進し、ふるさと納税と両輪で遊佐製品の売上額の向上を図る。
1	2	1	あわびの放流事業	産業課 農林水産係	A	継続	継続	放流方法の変更を行ってまだ2年なので、放流事業を継続する。
1	2	1	あわび陸上養殖事業	産業課 農林水産係	D	縮小	廃止	事業の費用対効果から事業継続は不可と判断するため、廃止とする。

1	2	1	サケふ化場増設更新事業	産業課 農林水産係	A	継続	継続	全国的な鮭の不漁のなか、月光川水系の鮭資源は、町だけでなく、本州の鮭資源の維持にもつながるため継続する。
1	2	1	チャレンジファーム事業	産業課 農業振興係	A	継続	継続	新規就農者や担い手確保のため、経営移譲を受けた農業者にも支援する補助内容を追加し内容の充実を図る。
1	2	1	まるごと遊佐推進事業	産業課 農業振興係	A	継続	継続	生産者自ら消費者に遊佐産農産物のアピールに取り組めるよう引き続き支援を行う。
1	2	1	産地化作物転作促進支援事業	産業課 農業振興係	A	継続	継続	米価がさがれば、再び転作田による収入が重要になると考えられるため、町の実情に基づく産地化推進作物の選定と交付金額の設定を引き続き実施していく必要がある。

第2項 既存産業の競争力を引き出す経営基盤の強化

該当事業なし

第3節 地域資源を活かした観光振興

第1項 効果的な情報発信と観客活動の強化

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
1	3	1	観光イベント実施事業	企画課 観光物産係	B	改善	改善	イベント開催による交流人口、誘客促進に努める。
1	3	1	観光案内一元化事業	企画課 観光物産係	B	改善	改善	利用しやすい観光案内の構築を進める。

第2項 観光客受け入れ体制の整備・拡充

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
1	3	2	グリーン＆ブルーツーリズム実施事業	企画課 観光物産係	B	改善	改善	事業の活性化と情報発信を継続し、宿泊施設の利用に努めていく。

第3項 高速道路を活用した拠点整備

該当事業なし

第2章 若者に選んでもらえるまちづくり《移住・定住》

第1節 移住（帰郷・新規転入）希望者の定住促進

第1項 遊佐が好きになる、住みたくなる情報の発信と回帰支援

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
2	1	1	IJUターン就職支援事業	企画課 定住促進係	D	縮小	縮小	IJUターン定着激励金は廃止した。IJUターン定着促進事業は実績がなく、山形県の取組とあわせてIJUターン促進に繋がる事業を検討したい。
2	1	1	若者ふるさと回帰推進事業	企画課 定住促進係	D	縮小	改善	将来的な在京出身者（若者）のUターン促進のために、重要な事業である。重要性は高いので、事業縮小ではなく、現在の課題を改善して事業実施を図る。
2	1	1	移住・交流推進事業	企画課 定住促進係	A	継続	継続	お試し移住体験プランを軸に、移住につながる回帰支援の情報発信をブラッシュアップしながら今後も継続して行う。
2	1	1	移住交流推進支援事業	企画課 定住促進係	A	継続	継続	これまで、生活クラブ連合会の組合員が多く町に移住していることから、町での暮らしを知ってもらう機会は重要である。援農を中心としたツアーを、生活クラブ連合・JA庄内みどり農協と連携しながら進める。

第2項 空き家の活用による移住者支援とアフターケアの充実

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
2	1	2	空き家再生地域おこし事業	企画課 定住促進係	D	縮小	改善	移住希望者は移住の条件として、就業・起業を重視している。事業の周知活動を行い、商工会や産業振興の関係機関と連携して、支援を今後も継続する。
2	1	2	定住住宅空き家活用事業	企画課 定住促進係	A	継続	継続	物件の空き家バンク登録と宅地建物の取引に繋がる支援を行うことが、空き家物件の成約に繋がるので今後も継続して周知及び支援を実施する。

2	1	2	集落支援員活用事業	企画課 定住促進係	A	継続	継続	集落支援員は空き家情報の把握と移住者のフォローに欠かせない存在である。一方で、集落の状況・課題把握も求められており、移住定住施策と集落支援施策のすみ分けを行いながら事業を継続する。
2	1	2	移住世帯上水道使用料補助金交付事業	企画課 定住促進係	B	改善	改善	請求方法を含めて、若者世帯にとって支援を実感できる制度設計を検討する。

第2節 若者の定住促進

第1項 若者対象事業の充実

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
2	2	1	結婚支援推進事業	企画課 定住促進係	D	縮小	改善	今の若者の課題とニーズに向かい合って支援方法を整理しながら、どのような交流の場や結婚支援が必要なのかを検討する。

第2項 未来を担う"ゆざっ子"のはばたき支援

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
2	2	2	遊佐高校魅力化地域連携支援事業	企画課 企画課	A	継続	継続	挑戦意欲のある県外生を取り込み高校全体の魅力化へ繋げる。
2	2	2	遊佐高校就学支援事業 (キャリアアップ支援)	教育課 総務学事係	A	継続	継続	これまでの支援事業は継続しつつ、新たな資格取得に向け生徒の要望に応じた支援事業を高校と引き続き協議していく。
2	2	2	定住住宅建設整備支援事業	地域生活課 管理衛生係	A	継続	継続	町外・県外利用者を増やすため広報やHPの掲載による制度の周知に努めるとともに、定住促進係とも情報共有を行い、連携して事業に取り組んでいく。

第3項 家族の絆づくり支援

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
2	2	3	舞鶴地区若者定住促進事業	企画課 定住促進係	A	継続	継続	残り4区画の宅地分譲の成約を目指して、周知活動に取り組んでいく。

2	2	3	木造住宅耐震診断事業	地域生活課 管理衛生係	A	継続	継続	町民の住宅への耐震意識を高めるとともに、事業の周知による利用率向上を図り、計画的に実施していく。
2	2	3	持家住宅リフォーム支援金事業	地域生活課 管理衛生係	A	継続	継続	需要の高い事業であることから、今後も町民と業者のニーズに応え事業にあたっていく。
2	2	3	住宅リフォーム資金利子補給事業	地域生活課 管理衛生係	A	継続	継続	引き続き持家住宅リフォーム支援金との特性の違いを周知し、計画的に事業を進めていく。

第4項 地域との絆づくり支援

該当事業なし

第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》

第1節 子育てしやすい環境の整備

第1項 出産・子育てにおける切れ目のない環境整備

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
3	1	1	幼児むし歯予防事業	健康福祉課 健康支援係	A	継続	継続	少子化に対応し、歯科健診とフッ素塗布が計画的に実施できるように体制を確保していく。

第2項 充実した子育て支援体制の推進

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
3	1	2	放課後児童クラブ事業	健康福祉課 子育て支援係	A	継続	継続	令和3年度に策定された「児童の放課後の居場所づくりに関する方針」に基づき、放課後児童対策推進会議において、町内における児童の放課後の居場所づくりの環境整備を将来的な児童数を踏まえ計画的に進めていく。
3	1	2	子育て支援センターの運営事業	健康福祉課 子育て支援係	A	継続	継続	引き続き子育て世帯のニーズに答えられるように、子育て世帯の声に耳を傾け利用しやすい運営を実施していく。
3	1	2	育児支援家庭訪問事業（エンゼルヘルパー派遣事業）	健康福祉課 子育て支援係	C	縮小	縮小	出産後の母親の身体的及び精神的負担を軽減でき、母親の心身の安定や、児童虐待防止の要素もあるため事業は継続する。しかし、利用希望者数が年々減少しているため、方向性としては縮小とした。

3	1	2	すくすくゆざっ子支援金支給事業	健康福祉課 子育て支援係	A	継続	継続	子育て世帯の関心が高い事業であることを踏まえ、引き続き事業を継続する。
3	1	2	子育て世帯移住奨励金交付事業	健康福祉課 子育て支援係	A	継続	継続	定住を目的として移住した子育て世帯に対する経済的負担の軽減及び安心して子育てができる環境の創出のため、今後も関係する係と連携し子育て支援の充実のために事業を実施する。

第2節 健康でいきいきと暮らせる環境整備

第1項 高齢者のいきがいくつくりと社会参加の推進

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
3	2	1	介護予防事業	健康福祉課 健康支援係	A	継続	継続	身近な場所で他者との交流や体操を継続することで、認知症予防や筋力の維持向上に効果がある活動であるため、継続支援や新規開設支援に取り組んでいく。

第2項 安心してくらせる環境整備

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
3	2	2	高齢者福祉タクシー事業	健康福祉課 福祉係	A	継続	改善	高齢者・障がい者が安心して外出できるよう、サポートを行っていく。また、月々の利用状況から実態を把握し、よりよい制度にしていきたい。
3	2	2	高齢者鍼灸マッサージ助成事業	健康福祉課 福祉係	A	継続	継続	広報だけでなく、院内への申請書類常設等をし、今後も連携を図りながら取り組む。

第3項 健康づくりの推進と介護予防の充実

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
3	2	3	介護予防事業 (ゆったり健康サロン)	健康福祉課 介護保険係	D	縮小	改善	集落単位の申し込みから個人単位での参加申し込みに切り替え、参加者増加につなげていきたい。

3	2	3	いきいき教室事業	健康福祉課 介護保険係	A	継続	継続	教室終了後も必要な活動の継続につながるよう住民向けのチラシを作成し情報提供する。自立支援、介護予防の必要性についても周知する。
3	2	3	寝具乾燥消毒サービス事業	健康福祉課 福祉係	A	継続	継続	広報周知だけではなく、引き続き介護支援専門員や民生委員等と連携し、高齢者の衛生的な環境づくりのため、計画的に事業を進めていきたい。
3	2	3	ゆざ健康マイレージ事業	健康福祉課 健康支援係	A	継続	継続	令和6年度と同様に、事業の周知、ポイント交換会の開催方法、ポイント付与事業や景品の内容の見直しを行いながら、計画的に事業を実施していく。
3	2	3	がん検診受診率向上事業	健康福祉課 健康支援係	A	継続	継続	がんの早期発見・早期治療は健康寿命の増進に大きく寄与することから、今後も継続していく。
3	2	3	特定健診事業	健康福祉課 健康支援係	A	継続	継続	生活習慣病予防及び医療費の抑制に寄与し、総合発展計画基本目標に資する事業であることから今後も継続していく。
3	2	3	特定保健指導	健康福祉課 健康支援係	A	継続	継続	第4期特定健康診査実施計画に基づき、計画的に特定保健指導を実施していく。
3	2	3	高齢者体力アップ事業	健康福祉課 健康支援係	B	改善	改善	「体力アップにこトレ」に名称を変更し、春と秋の2コース、各12回として講座を開催する。広報やLINEを活用し周知を図り、e申請を取り入れ、申込みしやすくする。
3	2	3	食生活改善推進員養成事業	健康福祉課 健康支援係	B	改善	継続	献立や講話内容についても回覧やホームページに掲載する他、町内の施設や店舗等に設置するなど、食生活改善について地域に広く情報提供を行う。
3	2	3	訪問口腔衛生指導	健康福祉課 健康支援係	A	継続	継続	要介護高齢者の病状の安定のため、本人や家族が口腔内の保清について関心を持ち、適切なケアができるように個々にあった口腔衛生指導を行っていく。

第4項 医療・介護保険事業の推進

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
3	2	4	医療制度の周知事業	健康福祉課 国民健康保険係	A	継続	継続	医療費制度を理解することは、被保険者が安心して医療の給付を受けることや医療費の適正化に繋がる。被保険者にとってわかりやすく、納得できる広報記事・チラシ作成等に努める。
3	2	4	家族介護継続支援事業	健康福祉課 介護保険係	A	継続	継続	家族の精神的・経済的負担を軽減できるよう今後も実施する。
3	2	4	重度心身障がい者紙おむつ支給事業	健康福祉課 福祉係	A	継続	継続	家族が抱える精神的、経済的負担を軽減し、在宅での介護を支援していけるよう、今後も継続して実施していく。
3	2	4	地域医療充実支援事業	健康福祉課 健康支援係	A	継続	継続	地域医療安定化対策支援事業について対象職種の追加を検討し、制度の充実を図る。また、奨学金制度について高等学校への説明と広報等でのPRを継続して取り組んでいく。

第3節 共に助け合う地域の絆の再生

第1項 地域福祉に対する町民意識の醸成

該当事業なし

第2項 地域福祉を担う人材育成

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
3	3	2	在町外国人等の「暮らし応援」助成金交付事業	企画課 企画係	C	縮小	縮小	引き続き周知は行うが、補助条件・金額を見直す。

第3項 地域福祉を支える仕組みの充実

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
3	3	3	地域支え合い体制づくり事業補助金	健康福祉課 福祉係	B	改善	改善	未活用集落への事業の周知に引き続き取り組むとともに、百歳体操の実施状況やニーズ調査を行った上で、補助金交付対象の拡大について検討する。

事務事業評価シート

令和6年度

			事業No.	11			
所管課・係名	産業課 農林水産係		予算科目	6 款 2 項 1 目			
事務事業名	森林整備ボランティア事業		予算大事業名	林業振興一般経費			
総合発展計画【章】	第4章 鳥海山の豊かな自然と調和した快適な暮らしの創造《くらし・防災・環境》						
総合発展計画【節】	第1節 良好な地域環境の保全						
総合発展計画【項】	第1項 鳥海山の湧水と自然生態系の保全						
事業の概要	目 的 ①西山地域のクロマツ林内整備 ②森林整備ボランティアの育成(若手)						
	内 容 西山地域内クロマツ林の枝打ち、林内の下刈り、支障木伐採などの森林整備ボランティア活動を実施する。ボランティアの育成については、地域の人が指導者となり実施する。						
令和4年度分の 外部評価の意見	関係機関と連携を密にし、これからも進めていただきたい。						方向性
							継続
令和5年度分の 町としての考え方	森林保全に対する意識醸成の機会を絶やさぬよう、今後も継続して実施する。						方向性
							継続
令和6年度に対応した 主な活動	町内外へボランティア事業の案内の送付						
予算・決算 (千円)	令和4年決算額	令和5年決算額	令和6年度予算額	令和6年決算見込額			
	10	10	10	10			
令和6年度 決算内訳(円)	傷害保険加入 @50円×200人＝10,000円						
成果指標設定の 考え方	ボランティア参加者数						
成果指標の 年度経過	令和4年	令和5年	令和6年	目標年度	令和6年		
	45人	28人	45人	目標値	150人		
評 価 欄							
担当課評価基準	妥当性	貢献度	有効性	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	2	3	2	A	継続
令和6年度 担当課年度評価 (方向性の理由)	雨天により西浜周辺の活動のみとなったが、本事業のボランティア活動が町の森林ボランティア活動として定着しているため、継続とする。						
課題 (改善すべき点 /方向性)	ボランティア実施箇所は民有林であるため、参加人数を考慮した、会場へのアクセス、森林整備の有効性を考慮したボランティア実施箇所の計画性が必要である。						
外部評価委員会 の意見	計画的に進めていただきたい。						方向性
							継続
町としての考え方	町民に定着したボランティア活動であるため、継続する。						方向性
							継続

事務事業評価シート

令和6年度

			事業No.	242			
所管課・係名	企画課 観光物産係		予算科目	7 款 1 項 3 目			
事務事業名	お花島インストラクターによる高山植物の保護啓発活動事業		予算大事業名	観光誘客対策事業			
総合発展計画【章】	第4章 鳥海山の豊かな自然と調和した快適な暮らし《くらし・防災・環境》						
総合発展計画【節】	第1節 良好な地域環境の保全						
総合発展計画【項】	第1項 鳥海山の湧水と自然生態系の保全						
事業の概要	目 的 高山植物の保護啓発						
	内 容 ①広報や町のホームページへ掲載し募集 ②鳥海山登山(御浜コース、山頂コース)と高山植物の観察						
令和4年度分の外部評価の意見	関係機関との連携を強化し、お花島インストラクター活動の周知および高山植物保護活動の体制を整えていただきたい。						方向性
							改善
令和5年度分の町としての考え方	関係機関と連携した高山植物保護に努める。また、お花島インストラクターについては制度を見直す。						方向性
							改善
令和6年度に対応した主な活動	7月にフラワートレッキングを実施。高山植物保護の啓発活動を行うことができた。また、県の自然公園管理員を観光情報連絡員(2名)として任命し、年間を通じてパトロールの実施も行っている。						
予算・決算(千円)	令和4年決算額	令和5年決算額	令和6年度予算額	令和6年決算見込額			
	820	676	820	820			
令和6年度決算内訳(円)	・鳥海山フラワートレッキング:700,000円 ・鳥海山観光情報連絡員活動謝礼:120,000円(60,000円×2名)						
成果指標設定の考え方	お花島保護インストラクター活動回数＝登録者数(24人)×1.5回						
成果指標の年度経過	令和4年	令和5年	令和6年	目標年度	令和6年		
	30回	30回	30回	目標値	36回		
評 価 欄							
担当課評価基準	妥当性	貢献度	有効性	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	2	2	2	B	改善
令和6年度担当課年度評価(方向性の理由)	この事業は高山植物の保護・保全の啓発を行う事業として貢献度は高い。鳥海山ガイド協会より、トレッキングツアーをはじめ、登山ガイドとして随行する際、高山植物の保護への理解、協力について説明を頂いているが、後継者育成・体制整備の必要性から方向性は改善とした。						
課題(改善すべき点/方向性)	高山植物保護・啓発のための体制整備について、県、ガイド協会、山岳会、ジオパーク等の関係者と連携強化を進める必要がある。 お花島インストラクターの活動の在り方について検討が必要である。						
外部評価委員会の意見	関係機関と連携し、体制整備を図っていただきたい。						方向性
							改善
町としての考え方	関係機関と連携し、お花島インストラクターの体制整備に努める。						方向性
							改善

事務事業評価シート

令和6年度

			事業No.	602			
所管課・係名	地域生活課 管理衛生係		予算科目	4 款 1 項 3 目			
事務事業名	動物相談指導事業		予算大事業名	遊佐町動物相談・指導事業			
総合発展計画【章】	第4章 鳥海山の豊かな自然と調和した快適な暮らしの創造《くらし・防災・環境》						
総合発展計画【節】	第1節 良好な地域環境の保全						
総合発展計画【項】	第3項 ごみの減量と環境美化の推進						
事業の概要	目 的 適正な飼養を行うことができない猫の繁殖及び猫によるトラブルを未然に防止し、動物の愛護・管理の意識を啓発するとともに、良好な生活環境を保持する。						
	内 容 ①猫の避妊・去勢手術補助金(オス猫 5,000円、メス猫 8,000円) ②動物保護団体活動支援事業補助金						
令和4年度分の外部評価の意見	福祉分野との連携を図って、事業を進めていただきたい。						方向性
							改善
令和5年度分の町としての考え方	猫の不妊去勢手術費補助金事業については、性質上、年々申請件数が少なくなっていくことが理想であるが、現時点では増加の一途を辿っている。ニーズはあるので事業は継続しつつ、適正飼養について住民だけではなく、各集落の区長・民生委員・環境推進員へ情報提供し、一層連携を図りたい。						方向性
							継続
令和6年度に対応した主な活動	避妊・去勢手術費補助金の交付						
予算・決算(千円)	令和4年決算額	令和5年決算額	令和6年度予算額	令和6年決算見込額			
	1,131	1,212	1,030	822			
令和6年度決算内訳(円)	①飼い猫…オス13頭:65,000円／メス15頭:120,000円 計185,000円 野良猫…オス27頭:189,000円／メス32頭:448,000円 計637,000円						
成果指標設定の考え方	避妊・去勢手術補助金交付件数						
成果指標の年度経過	令和4年	令和5年	令和6年	目標年度	令和6年		
	93件	106件	87件	目標値	90件		
評 価 欄							
担当課評価基準	妥当性	貢献度	有効性	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	3	3	2	A	継続
令和6年度担当課年度評価(方向性の理由)	申請件数が減り、予算執行率も予定を下回ったため活動量は2としが、そのほか妥当性から効率性は高く、適正飼養による生活環境の保全に寄与する事業であることから、継続とする。						
課題(改善すべき点/方向性)	野良猫に関しては、庄内アニマル倶楽部が運営する「そとねこ病院eN(えん)」が少ない自己負担額で手術が可能であることから、引き続き連携を図り、野良猫に起因する問題の減少を目指す						
外部評価委員会の意見	着実に実施していただきたい。						方向性
							継続
町としての考え方	猫の不妊去勢手術費補助金事業については、性質上、年々申請件数が少なくなることが理想であるが、現時点では横ばいであり、ニーズはあるので事業は継続しつつ、適正飼養について、関係各所との連携を図る。						方向性
							継続

事務事業評価シート

令和6年度

			事業No.	746			
所管課・係名	地域生活課 管理衛生係		予算科目	4 款 1 項 3 目			
事務事業名	八ツ面川流域環境整備事業		予算大事業名	八ツ面川施設管理費			
総合発展計画【章】	第4章 鳥海山の豊かな自然と調和した快適な暮らしの創造《くらし・防災・環境》						
総合発展計画【節】	第1節 良好な地域環境の保全						
総合発展計画【項】	第3項 ごみの減量と環境美化の推進						
事業の概要	目 的 住民との協働による河川管理						
	内 容 ①八ツ面川朝日堰水路管理組合や研究者、関係団体と連携し、及び希少動植物に係る研修会を実施する。 ②「あぜ道とせせらぎづくり」の一環である三世代交流活動（七夕灯籠流しなど）や他コミュニティ活動への支援を行う。						
令和4年度分の外部評価の意見	稀少生物保護のため、関係機関と協議を行い計画的に進めていただきたい。						方向性
							改善
令和5年度分の町としての考え方	人力での管理作業には限界があり、浚せつ作業等重機を使った管理も必要と考える。管理組合と協議・連携しつつ、国の補助事業を活用した計画的な整備・管理を行う。						方向性
							改善
令和6年度に対応した主な活動	遊佐小学校4年生総合学習による、八ツ面川学習会が行われた。 講師に土門尚三氏を迎えて「八ツ面川の植物について」研修会が行われた。 国の緊急浚渫事業債を活用した工事を実施した。						
予算・決算 (千円)	令和4年決算額	令和5年決算額	令和6年度予算額	令和6年決算見込額			
	1,509	1,665	6,674	5,957			
令和6年度 決算内訳(円)	報償費85,000円、需用費(消耗品費、光熱水費等)116,342円、 工事費(河床浚渫工事等)5,588,000円、 委託料200,380円(水路管理・公衆トイレ清掃)						
成果指標設定の 考え方	八ツ面川保全管理活動の参加者数						
成果指標の 年度経過	令和4年	令和5年	令和6年	目標年度	令和6年		
	1,206人	1,323人	1,279人	目標値	1,550人		
評 価 欄							
担当課評価基準	妥当性	貢献度	有効性	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	2	3	2	A	継続
令和6年度 担当課年度評価 (方向性の理由)	子ども会による観察会に加え、小学校による総合学習や組合員向け研修会が実施された。 高齢な管理組合構成員や集落住民の手作業での管理が難しくなっている川床の浚渫については業者の重機を入れて整備を行った。						
課題 (改善すべき点 /方向性)	保全池の老朽化した木橋や遊佐病院脇東屋の撤去が課題となっている。 施設の安全面を確保するためにも、管理組合と協議を重ねながら、1つずつ解決していきたい。						
外部評価委員会の 意見	計画的に実施していただきたい。						方向性
							継続
町としての考え方	管理組合と協議・連携しつつ、国の補助制度を活用した計画的な整備・管理を行っていく。						方向性
							継続

事務事業評価シート

令和6年度

			事業No.	43			
所管課・係名	地域生活課 管理衛生係		予算科目	4 款 1 項 3 目			
事務事業名	エコすまいる・ゆざ育成支援事業		予算大事業名	エネルギー基本計画推進事業			
総合発展計画【章】	第4章 鳥海山の豊かな自然と調和した快適な暮らしの創造《くらし・防災・環境》						
総合発展計画【節】	第1節 良好な地域環境の保全						
総合発展計画【項】	第3項 ごみの減量と環境美化の推進						
事業の概要	目 的 ごみ減量・再資源化・省エネ活動に対する町民への意識啓発						
	内 容 家庭や地域での省エネやごみ減量のための仕組みづくりの検討・研修会等の開催、普及啓発活動を通じて、全町的な地球温暖化対策の推進を図るとともに、取り組みや人材育成の支援を行う。						
令和4年度分の外部評価の意見	関係団体と協議を進め、今後の事業の進め方について検討をしていただきたい。						方向性
							縮小
令和5年度分の町としての考え方	令和5年5月にゼロカーボンシティ宣言を行い、これから更に重要な役割を担っていくものとする。そのため、構成員の枠組みを見直し、幅広い世代・属性から募りたい。また、推進委員間の交流や情報発信に力を入れ、活動自体を広く周知し、自発的に参加したいと思える仕組みを工夫していく。						方向性
							改善
令和6年度に対応した主な活動	・推進委員向け研修会の開催 ・緑のカーテン普及事業(町有施設へのゴーヤ苗の配布) ・「省エネとリサイクル ポスター・標語・川柳コンクール」の実施(遊佐小学校) ・役員会の開催						
予算・決算(千円)	令和4年決算額	令和5年決算額	令和6年度予算額	令和6年決算見込額			
	206	170	140	50			
令和6年度決算内訳(円)	標語・川柳コンクール賞品等(図書カード・文房具 等) 50,000円						
成果指標設定の考え方	各事業参加率の平均(推進委員会・研修会等の参加者数/推進委員会・研修会等の対象者数)						
成果指標の年度経過	令和4年	令和5年	令和6年	目標年度	令和6年		
	34%	50%	30%	目標値	70%		
評 価 欄							
担当課評価基準	妥当性	貢献度	有効性	効率性	活動量	評価値	方向性
	1	2	2	2	1	D	縮小
令和6年度担当課年度評価(方向性の理由)	家庭や学校・職場で出来るエコ活動の普及啓発に寄与するものとして、毎年継続している活動については一定の評価が出来るものとする。 推進委員の事業参加は少なく、取り組みが十分とは言えず、活動量を1とした。						
課題(改善すべき点/方向性)	近年の推進委員の構成団体で多くを占めていた遊佐町婦人団体連絡協議会(各地区婦人会)が令和5年度末で解散したことや、小学校の統合等、取り巻く情勢の変化に協議会から「2001年から、およそ四半世紀の永きにわたって継続してきた様々な事業については、一定の役割を果たし終えたものとして、活動を終了する」旨の通知があり廃止とする。						
外部評価委員会の意見	別に啓発活動を検討することとし、現行事業は廃止としていただきたい。						方向性
							廃止
町としての考え方	取組団体の活動終了に伴い、廃止とする。						方向性
							廃止

事務事業評価シート

令和6年度

			事業No.	42			
所管課・係名	地域生活課 管理衛生係		予算科目	4 款 2 項 2 目			
事務事業名	生ごみ処理機器購入助成事業		予算大事業名	塵芥処理一般経費			
総合発展計画【章】	第4章 鳥海山の豊かな自然と調和した快適な暮らし《くらし・防災・環境》						
総合発展計画【節】	第1節 良好な地域環境の保全						
総合発展計画【項】	第3項 ごみの減量と環境美化の推進						
事業の概要	目 的 生ごみの減量化及び堆肥化による有効利用の促進						
	内 容 ①電気式 購入価格の1/2(上限5万円)、自然発酵式購入価格の1/2(上限1万円) ②平成22年度以降、電気式 購入価格の1/3(上限2万円)、自然発酵式 1/2(上限5万円)から補助率を拡充して生ごみ減量化を推進した。						
令和4年度分の外部評価の意見	生ごみの減量化を町民の意識付けになるよう周知・PRに努めていただきたい。						方向性
							改善
令和5年度分の町としての考え方	生ごみ処理に関する諸々の負担増については、ごみ処理を行う酒田地区広域行政組合管内でも課題となっている。そのため、広報やホームページで引き続き周知し、生ごみ処理機の購入が住民だけではなく地域にとって様々なメリットを生み出すことを働きかけていく。						方向性
							継続
令和6年度に対応した主な活動	広報・ホームページにて周知した。						
予算・決算(千円)	令和4年決算額	令和5年決算額	令和6年度予算額	令和6年決算見込額			
	108	213	220	151			
令和6年度決算内訳(円)	・自然発酵式…4件:10,900円 ・電気式…4件:140,800円						
成果指標設定の考え方	補助金交付申請件数						
成果指標の年度経過	令和4年	令和5年	令和6年	目標年度	令和6年		
	11件	11件	8件	目標値	10件		
評 価 欄							
担当課評価基準	妥当性	貢献度	有効性	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	2	3	2	A	継続
令和6年度担当課年度評価(方向性の理由)	生ごみ処理機を使用することにより、処理に関する課題(水分量の多さから生じる重量・処理コストの負担増)の改善につながるため、有効性から効率性のすべての項目で十分に評価できると考え、全体的な方向性は継続とした。						
課題(改善すべき点/方向性)	電気式の処理機は大体6万円から10万円台のものが多く、補助額(購入金額の1/2・上限5万円)を差し引いてもハードルが高い印象を受ける。一方、自然式(コンポスト)は安価で手に入れることが出来るため、引き続き生ごみ処理機の利用に関する啓発を続けていく。						
外部評価委員会の意見	電気式処理機の利用促進を検討していただきたい。						方向性
							改善
町としての考え方	生ごみ処理に関する経費については、ごみ処理を行う酒田地区広域行政組合管内でも課題となっており、ごみ削減に繋がるため事業は継続とし、補助額については検討する。						方向性
							改善

事務事業評価シート

令和6年度

			事業No.	507			
所管課・係名	産業課 エネルギー政策推進室		予算科目	4 款 1 項 3 目			
事務事業名	環境・エネルギーに関する研修会開催事業		予算大事業名	環境基本計画推進事業			
総合発展計画【章】	第4章 鳥海山の豊かな自然と調和した快適な暮らしの創造《くらし・防災・環境》						
総合発展計画【節】	第1節 良好な地域環境の保全						
総合発展計画【項】	第4項 再生可能エネルギーの効果的活用						
事業の概要	目 的 町民等への環境学習の提供						
	内 容 ①鳥海山をめぐる水環境保全やエネルギー研修会を通じた町民の意識啓発 ②環境保全に向けた町民一人ひとりの具体的行動の契機づけと意識向上を図るため、シンポジウムや講演会、講習会、フィールドワーク等の実施						
令和4年度分の外部評価の意見	事業内容を町民にPRを行うとともに、研修内容の充実に努めていただきたい。						方向性
							改善
令和5年度分の町としての考え方	2050年カーボンニュートラルに向けた取り組みは、町全体が待った無しで取り組むべき課題の一つであるので、様々な角度からの取り組みを進めていくよう、情報提供やセミナー等の開催に努めていく。						方向性
							継続
令和6年度に対応した主な活動	「遊佐地産地消エネルギー協議会」主催で、町のエネルギーの在り方について町民同士が話し合う機会をつくることを目的に「ゆざみらいしゃべり場」を開催した。 ・令和6年度中：2回開催(6/18(参加45人)・12/2(参加40人))						
予算・決算(千円)	令和4年決算額	令和5年決算額	令和6年度予算額	令和6年決算見込額			
	9	6	6	0			
令和6年度決算内訳(円)	R6年度一般会計からの支出なし						
成果指標設定の考え方	学習会・研修会の参加者人数						
成果指標の年度経過	令和4年	令和5年	令和6年	目標年度	令和6年		
	88人	50人	85人	目標値	100人		
評 価 欄							
担当課評価基準	妥当性	貢献度	有効性	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	2	2	2	B	改善
令和6年度担当課年度評価(方向性の理由)	町民のエネルギーに対する知識を深め理解を促していくことは、エネルギー施策推進のために大切な取り組みである。ただし周知が不十分な面があったり、年1回以上開催を目標としていたエネルギー講演会の開催にまでは至らなかったもので、活動量を2とし、方向性を改善とした。						
課題(改善すべき点/方向性)	エネルギー講演会の開催のほか、「ゆざみらいしゃべり場」について多くの住民から参加いただけるよう、早期の周知を行いたい。						
外部評価委員会の意見	積極的なPRを行い、エネルギーに対する理解促進に努めていただきたい。						方向性
							改善
町としての考え方	最新の情報や住民に必要な情報を提供できるよう、講演会の実施の方法・情報の提供方法を工夫しながら、実施していく。						方向性
							改善

事務事業評価シート

令和6年度

			事業No.	353				
所管課・係名	産業課 エネルギー政策推進室		予算科目	4 款 1 項 3 目				
事務事業名	再生可能エネルギー設備導入補助事業		予算大事業名	エネルギー基本計画推進事業				
総合発展計画【章】	第4章 鳥海山の豊かな自然と調和した快適な暮らしの創造《くらし・防災・環境》							
総合発展計画【節】	第1節 良好な地域環境の保全							
総合発展計画【項】	第4項 再生可能エネルギーの効果的活用							
事業の概要	目 的 地球温暖化防止に寄与し、地域経済の活性化やエネルギーに関する意識啓発を図る							
	内 容 ①町内に住所を有する(転入する予定者含む。)個人または事業所に対し、再生可能エネルギー設備を設置する経費に対して助成を行う。 ②県内施工業者が施工する工事によって新たに設置する者に対して助成を行う。							
令和4年度分の外部評価の意見	助成内容の見直しを行い、事業を進めていただきたい。						方向性	
							改善	
令和5年度分の町としての考え方	再生可能エネルギー設備の普及拡大は、脱炭素社会の実現のために必要な施策であるので、国・県の補助事業の活用も含め、拡大していく。						方向性	
							拡大	
令和6年度に対応した主な活動	・補助対象設備に蓄電池を追加 ・再エネ普及に繋がるよう、クリーンエネルギー自動車(電気自動車(EV)・プラグインハイブリッド(PHEV))購入補助制度を新設(※実績には含めていない)							
予算・決算(千円)	令和4年決算額	令和5年決算額	令和6年度予算額	令和6年決算見込額				
	1,528	1,322	1,900	1,500				
令和6年度決算内訳(円)	・太陽光＋蓄電池:6件 1,200,000円 ・蓄電池単体:1件 50,000円 ・木質バイオマス(薪ストーブ):5件 250,000円 (※参考:クリーンエネルギー自動車購入補助:3件 300,000円)							
成果指標設定の考え方	補助件数							
成果指標の年度経過	令和4年	令和5年	令和6年	目標年度	令和6年			
	13件(87%)	9件(60%)	12件(80%)	目標値	15件			
評 価 欄								
担当課評価基準	妥当性	貢献度	有効性	効率性	活動量	評価値	方向性	
	3	3	3	3	2	A	継続	
令和6年度担当課年度評価(方向性の理由)	ゼロカーボンシティ宣言に基づく再エネ設備導入の促進、特に一般家庭におけるCO2排出削減は町の脱炭素のために必要であり、貢献度は高い。町のエネルギー基本計画においても再エネ設備導入は、重要プロジェクトとなっており、継続とした。							
課題(改善すべき点/方向性)	再エネ設備の導入には経費がかかるため、町民の設備導入時の経済的なハードルを下げるよう、国や県の補助メニューを参考に補助対象設備や補助金額などを見直していく。							
外部評価委員会の意見	計画的に進めていただきたい。						方向性	
							継続	
町としての考え方	町民の負担軽減を図りながら、効果的に設備導入が行われるよう、国・県の動向を踏まえつつ補助内容を検討し実施する。						方向性	
							継続	

事務事業評価シート

令和6年度

			事業No.	105			
所管課・係名	総務課 危機管理係		予算科目	3 款 3 2 目			
事務事業名	山岳救助訓練事業		予算大事業名	山岳救助訓練費			
総合発展計画【章】	第4章 鳥海山の豊かな自然と調和した快適な暮らしの創造《暮らし・防災・環境》						
総合発展計画【節】	第2節 安心してらせる地域づくり						
総合発展計画【項】	第1項 防災・克雪対策の推進						
事業の概要	目 的 搜索救助活動体制の充実						
	内 容 搜索救助用装備品の整備のための補助金の交付						
令和4年度分の 外部評価の意見	計画的に進めていただきたい。						方向性
							継続
令和5年度分の 町としての考え方	鳥海山ガイド協会や吹浦山部の会員にも事業内容を周知し、装備品の整備と救助隊員の確保を図る。						方向性
							継続
令和6年度に対応した 主な活動	山岳遭難救助隊員の装備品購入に対する支援を継続した。例年実施している3市1町の鳥海山合同山岳遭難救助訓練はR6.7.25大雨災害の影響により中止となったものの、県警主催の雪山遭難救助訓練へも参加し、隊員のスキル向上に務めた。						
予算・決算 (千円)	令和4年決算額	令和5年決算額	令和6年度予算額	令和6年決算見込額			
	72	72	60	60			
令和6年度 決算内訳(円)	山岳遭難救助装備品の購入補助 60,000円						
成果指標設定の 考え方	整備率＝整備実績/整備計画事業費×100					成果指標の進捗目標 令和6年:30%	
成果指標の 年度経過	令和4年	令和5年	令和6年	目標年度	令和13年		
	18.6% (144/772)	28.0% (216/772)	35.7% (276/772)	目標値	100%		
評 価 欄							
担当課評価基準	妥当性	貢献度	有効性	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	3	2	3	A	継続
令和6年度 担当課年度評価 (方向性の理由)	救助隊員の積極的な訓練参加を実施したほか、隊員数の確保のため、関連団体の会員からも訓練へ参加してもらった。						
課題 (改善すべき点 /方向性)	装備品の保管、数量について把握し、鳥海山岳会以外の団体へも周知することが必要である。						
外部評価委員会 の意見	装備品の適切な把握に努めていただきたい。						方向性
							改善
町としての考え方	搜索救助研修・訓練への参加により隊員の更なるスキルアップを図るとともに、装備品整備計画及び管理台帳の適切な管理を行う。						方向性
							改善

事務事業評価シート

令和6年度

			事業No.	442			
所管課・係名	地域生活課 土木係		予算科目	8 款 2 項 1 目			
事務事業名	集落内自主除雪の支援事業		予算大事業名	除雪経費			
総合発展計画【章】	第4章 鳥海山の豊かな自然と調和した快適な暮らし《くらし・防災・環境》						
総合発展計画【節】	第2節 安心してらせる地域づくり						
総合発展計画【項】	第1項 防災・克雪対策の推進						
事業の概要	目 的 冬期間の交通及び歩行者の通行確保						
	内 容 除雪機械の入れない狭隘な町道について、各集落が主体となって農作業機械を使用し自主的に除雪作業を実施している。使用機械への燃料代を支援している。1団体最大18万円まで支援。						
令和4年度分の外部評価の意見	事業協力を確保するための方策を検討していただきたい。						方向性
							改善
令和5年度分の町としての考え方	この事業を推進するため、協力体制を確保するための方策等を分析し、課題解決に努める。						方向性
							改善
令和6年度に対応した主な活動	・燃料費の高騰に伴い支援単価及び助成上限を引き上げた 支援単価 /1時間 : 1,500円 → 1,800円 300円増 助成上限額/1団体 : 150,000円 → 180,000円 30,000円増						
予算・決算(千円)	令和4年決算額	令和5年決算額	令和6年度予算額	令和6年決算見込額			
	3,369	2,313	6,000	4,060			
令和6年度決算内訳(円)	申請団体69団体(263台) 交付決定64団体(5団体は実績なし) 集落内自主除雪作業助成(報償費)4,060,800円						
成果指標設定の考え方	農作業機械を保有していない集落があり、当制度を活用できない集落があることから、指標設定が困難である。						
成果指標の年度経過	令和4年	令和5年	令和6年	目標年度	令和6年		
	3,369千円	2,313千円	4,060千円(94.6%)	目標値	H29の実績値 4,291千円		
評 価 欄							
担当課評価基準	妥当性	貢献度	有効性	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	3	3	2	A	継続
令和6年度担当課年度評価(方向性の理由)	燃料費の高騰などに伴い支援単価及び助成上限を引き上げて実施した。除雪機械の入れない狭隘な生活道路における除雪については集落の協力が不可欠であることから、今後も継続して事業を推進する。						
課題(改善すべき点/方向性)	高齢化による作業従事者の減少により、継続が難しいとの報告も受けている。除雪必要路線の集約化なども視野に入れ調査を続ける。						
外部評価委員会の意見	農作業機械を保有していない集落への対応を、早急に検討していただきたい。						方向性
							改善
町としての考え方	作業機械を保有しない集落への対応について検討する。						方向性
							改善

事務事業評価シート

令和6年度

			事業No.	709			
所管課・係名	総務課 危機管理係		予算科目	9 款 1 2 目			
事務事業名	消防団活性化対策事業		予算大事業名	消防団活性化対策事業			
総合発展計画【章】	第4章 鳥海山の豊かな自然と調和した快適な暮らしの創造《くらし・防災・環境》						
総合発展計画【節】	第2節 安心してくらす地域づくり						
総合発展計画【項】	第2項 消防・救急体制の充実						
事業の概要	目 的 消防団員の確保、士気高揚						
	内 容 ①制服の貸与 ②はしご隊、ラッパ隊の育成 ③新しい盛夏服の貸与						
令和4年度分の 外部評価の意見	実態に沿った消防団組織体制の在り方を検討していただきたい。						方向性
							改善
令和5年度分の 町としての考え方	地域防災力のかなめである、消防団員の確保は継続して実施する必要があるため、継続とした。						方向性
							継続
令和6年度に対応した 主な活動	消防団員処遇改善を図るため、団員定数(620名から560名へ減)、団員報酬及び出動報酬を見直す条例改正案を3月議会へ上程し、改正した。						
予算・決算 (千円)	令和4年決算額	令和5年決算額	令和6年度予算額	令和6年決算見込額			
	403	696	667	531			
令和6年度 決算内訳(円)	消耗品費531,000円 (活動服、長靴等貸与品の購入、無火災表彰、子ども用火災予防啓発グッズの購入)						
成果指標設定の 考え方	団員数/条例定数(560)						
成果指標の 年度経過	令和4年	令和5年	令和6年	目標年度	令和6年		
	554人 89.3%	544人 87.7%	520人 92.8%	目標値	100%		
評 価 欄							
担当課評価基準	妥当性	貢献度	有効性	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	3	2	3	A	継続
令和6年度 担当課年度評価 (方向性の理由)	計画的に団員の活動服や貸与品を整備しており、消防団員の環境改善を進めているため継続とした。						
課題 (改善すべき点 /方向性)	令和6年4月1日で報酬等を改善しているが、団員数の確保が難しい状況である。令和6年より運用している機能別消防団員制度を活用した消防力補充を模索していく必要がある。						
外部評価委員会 の意見	機能別消防団の在り方を実態に沿った内容に検討していただきたい。						方向性
							改善
町としての考え方	消防団員の処遇改善と装備品の充実を図りつつ、機能別消防団のあり方などを消防団幹部との協議をしていく。						方向性
							改善

事務事業評価シート

令和6年度

			事業No.	771			
所管課・係名	総務課 危機管理係		予算科目	9 款 1 5 目			
事務事業名	自主防災会活動推進事業		予算大事業名	自主防災会活動推進事業			
総合発展計画【章】	第4章 鳥海山の豊かな自然と調和した快適な暮らしの創造《暮らし・防災・環境》						
総合発展計画【節】	第2節 安心してらせる地域づくり						
総合発展計画【項】	第2項 消防・救急体制の充実						
事業の概要	目 的 自主防災会による災害時避難活動等の体制整備						
	内 容 ①自主防災会の災害対応体制の強化支援 ・自主防災会活動助成金交付 2/3助成 助成額:上限200,000円 下限20,000円 ・活動にあたっての助言等 ②災害時対応研修会・避難訓練等の実施支援						
令和4年度分の外部評価の意見	消防団と連携し、着実に進めていただきたい。						方向性
							継続
令和5年度分の町としての考え方	災害時の自主防災組織の役割は年々大きくなっているため、継続とした。						方向性
							継続
令和6年度に対応した主な活動	自主防災会の備蓄品購入に対する支援を行い、また、防災士の資格取得の支援を行った。						
予算・決算(千円)	令和4年決算額	令和5年決算額	令和6年度予算額	令和6年決算見込額			
	1,148	1,398	2,125	2,073			
令和6年度決算内訳(円)	自主防災活動助成金 2,073,000円(延べ19団体)						
成果指標設定の考え方	研修会・防災訓練実施組織数/全自主防災会数(109)						
成果指標の年度経過	令和4年	令和5年	令和6年	目標年度	令和6年		
	100% 109/109	100% 109/109	100% 109/109	目標値	100%		
評 価 欄							
担当課評価基準	妥当性	貢献度	有効性	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	3	3	2	A	継続
令和6年度担当課年度評価(方向性の理由)	令和6年度の自主防災組織への支援は延べ19自主防災会に対し、防災資機材の購入費の支援を行い昨年度の実績を上回っている。地域での防災への関心の高まりと、備品購入の補助により自主的な活動が活発になっているため、継続とした。						
課題(改善すべき点/方向性)	自主防災活動の地域間、集落間での組織力の違いや、備蓄品の備蓄状況に差があるため、自主防災組織の統合の検討が必要である。						
外部評価委員会の意見	着実に進めていただきたい。						方向性
							継続
町としての考え方	訓練や出前講座等を開催し、専門家の活用を図りながら各地区の防災意識の向上と防災体制づくりの支援を図るとともに、防災資機材購入の支援を行う。						方向性
							継続

事務事業評価シート

令和6年度

			事業No.	329			
所管課・係名	総務課 危機管理係		予算科目	13 款 1 2 目			
事務事業名	交通安全対策推進事業		予算大事業名	交通安全対策推進事業			
総合発展計画【章】	第4章 鳥海山の豊かな自然と調和した快適な暮らしの創造《くらし・防災・環境》						
総合発展計画【節】	第2節 安心してらせる地域づくり						
総合発展計画【項】	第3項 日常生活の安全性向上						
事業の概要	目 的 子どもと高齢者の交通安全意識を向上させ、交通事故の減少に繋げる。						
	内 容 ①高齢者の運転免許返納に対し、タクシー券を交付する。 ②幼稚園、保育園、小学校、集落で交通安全指導を実施する。 ③交通安全施設(カーブミラー等)の設置						
令和4年度分の外部評価の意見	事業内容を整理して進めていただきたい。						方向性
							改善
令和5年度分の町としての考え方	交通安全施設整備事業の事業内容は精査したが、さらなるコスト削減が見込まれるため、改善とする。						方向性
							改善
令和6年度に対応した主な活動	高齢者の運転免許返納時にタクシー券を配布するとともに、幼稚園、保育園、小学校、集落で交通安全教室を開催した。また、カーブミラーの新設・修繕等の事業について、交通安全推進協議会の事業内容を精査し、重複を解消した。						
予算・決算(千円)	令和4年決算額	令和5年決算額	令和6年度予算額	令和6年決算見込額			
	2,621	2,392	3,094	2,290			
令和6年度決算内訳(円)	カーブミラー等修繕料746,350円、交通安全推進協議会補助金900,000円、免許証返納者タクシー利用助成券251,660円、交通災害共済事業費232,730円、交通安全施設設置特別負担金96,800円、その他62,158円						
成果指標設定の考え方	交通安全教室の年間の開催回数						
成果指標の年度経過	令和4年	令和5年	令和6年	目標年度	令和7年		
	53回	60回	53回	目標値	60回		
評 価 欄							
担当課評価基準	妥当性	貢献度	有効性	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	2	2	2	B	改善
令和6年度担当課年度評価(方向性の理由)	カーブミラーについては、交通安全推進協議会では新規設置のみとし、新たな設置基準での運用により管理する数量を整理していく方針としているため改善とした。						
課題(改善すべき点/方向性)	新たに運用を開始したカーブミラーの設置基準により、これからもカーブミラーが必要な箇所とそうでない箇所を精査し、本当に必要な箇所に限り管理を行い、不要な箇所は破損等を機に整理縮小していく必要がある。						
外部評価委員会の意見	カーブミラーの適切な管理に努めていただきたい。						方向性
							改善
町としての考え方	児童、高齢者等を対象にした交通安全教室の開催、また、街頭指導を継続し関係機関と連携しながら交通事故の未然防止を図るとともに、カーブミラー設置管理基準に基づく管理を推進する。						方向性
							改善

事務事業評価シート

令和6年度

			事業No.	368			
所管課・係名	地域生活課 上水道係		予算科目	- 款 - 項 - 目			
事務事業名	濁水(赤水)対策事業		予算大事業名	水道事業会計			
総合発展計画【章】	第4章 鳥海山の豊かな自然と調和した快適な暮らしの創造《くらし・防災・環境》						
総合発展計画【節】	第3節 快適で便利な遊佐ぐらしの推進						
総合発展計画【項】	第1項 社会インフラ維持管理の適正化						
事業の概要	目 的 排泥作業による濁水の発生防止						
	内 容 ①定例排泥作業 12回 ②強制排泥作業 5回						
令和4年度分の 外部評価の意見	計画的に事業を進めていただきたい。						方向性
							継続
令和5年度分の 町としての考え方	水道水の安定供給を継続するため、計画的に管路の排泥作業及び配水池の清掃作業を実施する。						方向性
							継続
令和6年度に対応した 主な活動	計画に基づき送配水管の排泥作業を実施した。						
予算・決算 (千円)	令和4年決算額	令和5年決算額	令和6年度予算額	令和6年決算見込額			
	4,800	5,455	5,512	3,322			
令和6年度 決算内訳(円)	定例排泥 8回実施 委託料 2,317,750円 強制排泥 3回実施 委託料 1,004,700円						
成果指標設定の 考え方	濁水苦情件数						
成果指標の 年度経過	令和4年	令和5年	令和6年	目標年度	令和6年		
	0件	0件	0件	目標値	0件		
評 価 欄							
担当課評価基準	妥当性	貢献度	有効性	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	3	3	2	A	継続
令和6年度 担当課年度評価 (方向性の理由)	作業を継続することにより、濁り水の発生が防止できている。予防対策として効果が高いと考えられるため継続とした。						
課題 (改善すべき点 /方向性)	新たな人材を確保しながら、継続して実施する。						
外部評価委員会の 意見	計画的に実施していただきたい。						方向性
							継続
町としての考え方	水道水の安定供給を継続するため、計画的に排泥作業や配水池の清掃を実施する。						方向性
							継続

事務事業評価シート

令和6年度

			事業No.	452			
所管課・係名	地域生活課 上水道係		予算科目	- 款 - 項 - 目			
事務事業名	上水道使用料金収納率向上対策事業		予算大事業名	水道事業会計			
総合発展計画【章】	第4章 鳥海山の豊かな自然と調和した快適な暮らしの創造《くらし・防災・環境》						
総合発展計画【節】	第3節 快適で便利な遊佐ぐらしの推進						
総合発展計画【項】	第1項 社会インフラ維持管理の適正化						
事業の概要	目 的 納付意識の高揚と収納率の向上						
	内 容 ①納入通知書②振替不能通知書③督促状④納付指導⑤訪問指導						
令和4年度分の 外部評価の意見	着実に実施していただきたい。						方向性
							継続
令和5年度分の 町としての考え方	他の部署と連携し、情報共有を図りながら収納対策事業を進める。						方向性
							継続
令和6年度に対応した 主な活動	他部署と連携して訪問徴収を実施し、あわせて給水停止を行った。						
予算・決算 (千円)	令和4年決算額	令和5年決算額	令和6年度予算額	令和6年決算見込額			
	-	-	-	-			
令和6年度 決算内訳(円)	なし						
成果指標設定の 考え方	現年度収納額／現年度分調定額						
成果指標の 年度経過	令和4年	令和5年	令和6年	目標年度	令和6年		
	98.96%	98.83%	98.91%	目標値	99.0%		
評 価 欄							
担当課評価基準	妥当性	貢献度	有効性	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	2	3	2	A	継続
令和6年度 担当課年度評価 (方向性の理由)	長期滞納者を対象に、関係部署と連携して訪問徴収を行い、それでも納付が確認できない場合は給水停止を行った。収納対策は根気強く対応するため継続とした。						
課題 (改善すべき点 /方向性)	未収金は減少傾向にあるが、継続して収納率向上対策に取り組む必要がある。						
外部評価委員会 の意見	着実に実施していただきたい。						方向性
							継続
町としての考え方	他部局と連携しながら計画的な給水停止等を実施して、収納率の向上対策を進める。						方向性
							継続

事務事業評価シート

令和6年度

			事業No.	55			
所管課・係名	地域生活課 下水道係		予算科目	- 款 - 項 - 目			
事務事業名	下水道水洗化活動		予算大事業名	-			
総合発展計画【章】	第4章 鳥海山の豊かな自然と調和した快適な暮らしの創造《くらし・防災・環境》						
総合発展計画【節】	第3節 快適で便利な遊佐ぐらしの推進						
総合発展計画【項】	第1項 社会インフラ維持管理の適正化						
事業の概要	目 的 公共用水域の水質汚濁防止						
	内 容 ①水洗化支援対策 ②説明会の開催 ③相談会の開催 ④広報活動						
令和4年度分の外部評価の意見	補助制度のPRを行い、水洗化率の向上に努めていただきたい。						方向性
							改善
令和5年度分の町としての考え方	当町における新規整備事業は終わっているので今後の接続率は横ばい傾向と想定できる中で、今後は接続率向上にむけ補助制度のPR、接続依頼周知の回数を積極的に増やし啓蒙に努める。						方向性
							継続
令和6年度に対応した主な活動	水洗化の必要性和下水道接続工事に対する支援金制度を広報へ掲載し、町民へ広く周知するとともに、接続率の低い集落に対しては、区長を通し接続依頼の文書を回覧し普及啓発を行った。また下水道区域における汲取り全世帯に接続依頼の通知を発送した。未接続の町議会議員および町職員に対して、個別の接続依頼を行った。						
予算・決算(千円)	令和4年決算額	令和5年決算額	令和6年度予算額	令和6年決算見込額			
	-	-	-	-			
令和6年度決算内訳(円)	人件費のみ						
成果指標設定の考え方	県平均値＝水洗化率(水洗化人口/行政人口)						
成果指標の年度経過	令和4年	令和5年	令和6年	目標年度	令和6年		
	74.2%	77.3%	78.4%	目標値	85%		
評 価 欄							
担当課評価基準	妥当性	貢献度	有効性	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	2	3	2	A	継続
令和6年度担当課年度評価(方向性の理由)	下水道は快適な生活環境の確保や河川等の水環境の保全に欠かすことのできない施設であり、今後も安全安心な生活環境を創出するため、引き続き事業継続と考える。なお、未接続の町議会議員、町職員への接続依頼も効果があり水洗化率の向上につながった。						
課題(改善すべき点/方向性)	下水道は重要な社会基盤であり、計画的、継続的にサービスを提供するためにも、継続して接続依頼等啓発を積極的に実施する。今後は単独浄化槽世帯へ下水道への切換え依頼を行う必要がある。						
外部評価委員会の意見	計画的に実施していただきたい。						方向性
							継続
町としての考え方	今後も接続に関する補助制度のPRをしながら、接続依頼の周知を積極的に行い、接続率の向上に努める。						方向性
							継続

事務事業評価シート

令和6年度

			事業No.	56			
所管課・係名	地域生活課 下水道係		予算科目	- 款 - 項 - 目			
事務事業名	受益者負担金未納者対策事業		予算大事業名	-			
総合発展計画【章】	第4章 鳥海山の豊かな自然と調和した快適な暮らしの創造《くらし・防災・環境》						
総合発展計画【節】	第3節 快適で便利な遊佐ぐらしの推進						
総合発展計画【項】	第1項 社会インフラ維持管理の適正化						
事業の概要	目 的 受益者負担金収納率の向上						
	内 容 ①督促状の送付 ②電話による催告 ③臨戸						
令和4年度分の外部評価の意見	引き続き、計画的に実施していただきたい。						方向性
							継続
令和5年度分の町としての考え方	事業の財源確保と受益者負担の公平性という観点から、業務継続は必須と考える。未納額が減少するように滞納者の情報を関係係と共有し、継続的に折衝し未納額減少に努める。						方向性
							改善
令和6年度に対応した主な活動	新規の未納者へは、納期後の早い段階で電話催告による計画納付を促した。また定期的に催告書を送付するとともに、関係部署からの情報を得ながら自宅訪問を行った。						
予算・決算 (千円)	令和4年決算額	令和5年決算額	令和6年度予算額	令和6年決算見込額			
	-	-	-	-			
令和6年度決算内訳(円)	人件費のみ						
成果指標設定の考え方	現年度収納額／現年度賦課分調定額						
成果指標の年度経過	令和4年	令和5年	令和6年	目標年度	令和6年		
	99.1%	99.5%	96.6%	目標値	98%		
評 価 欄							
担当課評価基準	妥当性	貢献度	有効性	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	2	2	2	B	改善
令和6年度担当課年度評価(方向性の理由)	収納率は目標値を下回ったが、事業の財源確保と受益者負担の公平性という観点から、早期に滞納者と折衝し未納額減少に努めた。						
課題 (改善すべき点/方向性)	近年新築等の理由により過去の賦課猶予地に新しく公共桟設置者が微増しているものの、整備工事が完了したことで集落単位での新規賦課がなくなる。令和7年度以降、事業評価の指標としている現年度分の調定額が発生しないため、評価対象とするのか検討する必要がある。						
外部評価委員会の意見	過年度分の未納額を精査したうえで、着実に実施していただきたい。						方向性
							継続
町としての考え方	この事業の評価に関しては廃止とするが、過年度分の未納額に対する収納対策については、継続して実施する。						方向性
							継続

事務事業評価シート

令和6年度

			事業No.	61			
所管課・係名	地域生活課 土木係		予算科目	8 款 2 項 2 目			
事務事業名	メイクアップロード推進事業		予算大事業名	町道新設改良事業			
総合発展計画【章】	第4章 鳥海山の豊かな自然と調和した快適な暮らし《くらし・防災・環境》						
総合発展計画【節】	第3節 快適で便利な遊佐ぐらしの推進						
総合発展計画【項】	第1項 社会インフラ維持管理の適正化						
事業の概要	目 的 道路美化						
	内 容 各地区の区長へ飾花苗配布の通知を行い、希望数量を把握し集落へ苗を配布。集落において沿道の交通島等へ苗の飾花を実施。						
令和4年度分の外部評価の意見	町内美化運動を進めるため、維持管理の工夫を行い進めていただきたい。					方向性	
						改善	
令和5年度分の町としての考え方	この事業は道路沿道の環境美化につながっている。課題の解決を検討し、この事業を推進する。					方向性	
						改善	
令和6年度に対応した主な活動	まちづくりセンターと連携し、各地区へ計画的に花値の配布を実施した。						
予算・決算 (千円)	令和4年決算額	令和5年決算額	令和6年度予算額	令和6年決算見込額			
	376	389	408	389			
令和6年度 決算内訳(円)	消耗品費(花苗代) 18集落分 389,739円						
成果指標設定の考え方	道路の交通島や路肩等に飾花するが、市街地で飾花の場所がない、または、高齢化により実施できない集落があることから、指標設定が困難である。						
成果指標の 年度経過	令和4年	令和5年	令和6年	目標年度	令和6年		
	18団体	18団体	18団体	目標値	H29の実績値 18団体		
評 価 欄							
担当課評価基準	妥当性	貢献度	有効性	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	2	3	2	A	継続
令和6年度 担当課年度評価 (方向性の理由)	交通島等への植栽活動を通じて道路環境美化の推進が図られている。また、世代を超えた地域のふれあいの場として活用されている。今後も継続して事業に取り組んでいく。						
課題 (改善すべき点 /方向性)	花の生育には定期的な管理が必要になるが、集落内での担い手不足が問題になってきている。						
外部評価委員会の意見	着実に実施していただきたい。					方向性	
						継続	
町としての考え方	集落活動の一環として活用できるように着実に実施する。					方向性	
						継続	

事務事業評価シート

令和6年度

			事業No.	402			
所管課・係名	産業課 産業創造係		予算科目	7 款 1 項 5 目			
事務事業名	町民駅委託事業		予算大事業名	町民駅管理費			
総合発展計画【章】	第4章 鳥海山の豊かな自然と調和した快適な暮らし《くらし・防災・環境》						
総合発展計画【節】	第3節 快適で便利な遊佐ぐらしの推進						
総合発展計画【項】	第2項 地域公共交通の活性化						
事業の概要	目 的 町民のJR利用利便性の向上						
	内 容 ①JRチケットの販売 ②駅舎管理						
令和4年度分の外部評価の意見	駅構内及び駅前のスペースを有効に活用していただきたい。						方向性
							改善
令和5年度分の町としての考え方	少子化の影響で学生の定期券購入が減っているが、観光目的の普通券は安定した購入数が認められる。公共交通のうち、近隣市町との幹線交通は現在、鉄道しかなく、生活面と観光面で欠かせない公共交通機関である。駅前の賑わい再生を図り、観光客と町民の交通手段確保を目的に今後も継続する。						方向性
							継続
令和6年度に対応した主な活動	ゆざつとプラザ協議会が中心となり、軽トラ市の開催や駅構内の季節の演出を行った。羽越本線全線開通100周年の記念展示の他、クリスマスディスプレイではおでこBASEの利用者である高校生に企画を一任し若者との連携を図った。						
予算・決算 (千円)	令和4年決算額	令和5年決算額	令和6年度予算額	令和6年決算見込額			
	5,600	5,600	5,760	5,760			
令和6年度 決算内訳(円)	業務委託料 5,760,000円						
成果指標設定の 考え方	JR乗車券等販売手数料収入/全体運営費						
成果指標の 年度経過	令和4年	令和5年	令和6年	目標年度	令和6年		
	11.2% (632/5,600)	14.7% (823/5,600)	14.9% (857/5,760)	目標値	20%		
評 価 欄							
担当課評価基準	妥当性	貢献度	有効性	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	2	3	3	A	継続
令和6年度 担当課年度評価 (方向性の理由)	乗車券等販売手数料収入は観光客やビジネス購入が回復し、前年度より増となったが、定期券購入額は減少傾向であり、有効性は2とした。駅は町の玄関であり、鉄道が観光と町民の公共交通の要であることは変わらないことと、駅前賑わい再生事業にも工夫が見られるため、妥当性、貢献度、活動量は3とした。コストはほぼ職員人件費であるため効率性を3とした。						
課題 (改善すべき点 /方向性)	JRチケットを町内で購入できる体制を維持するためにも、地域住民の利用促進を図りつつ、駅構内及び駅前スペースの賑わいを図る。						
外部評価委員会の 意見	駅構内や駅前スペースの賑わいを図っていただきたい。						方向性
							改善
町としての考え方	対面による乗車券販売の優位性を広く周知するとともに、町民駅としての遊佐駅の賑わいを生み出す取り組みを検討していく。						方向性
							改善

事務事業評価シート

令和6年度

			事業No.	340			
所管課・係名	産業課 産業創造係		予算科目	7 款 1 項 5 目			
事務事業名	デマンド交通システム事業		予算大事業名	デマンド交通システム運営費			
総合発展計画【章】	第4章 鳥海山の豊かな自然と調和した快適な暮らし《くらし・防災・環境》						
総合発展計画【節】	第3節 快適で便利な遊佐ぐらしの推進						
総合発展計画【項】	第2項 地域公共交通の活性化						
事業の概要	目 的 安定した生活交通の構築						
	内 容 ①デマンドタクシー(小型タクシー2台・10人乗りワゴン車2台)運行 ②デマンドタクシー運行管理						
令和4年度分の外部評価の意見	交通弱者の足として、町外への通院助成の制度設計を進め、関係者との連携を密にして対応いただきたい。						方向性
							改善
令和5年度分の町としての考え方	町民の足として、必要不可欠である一方で現行の仕組みが時代に合わなくなっている面がある。公共交通としてデマンドタクシーの課題を整理して、課題を解決しながら事業を継続する。						方向性
							継続
令和6年度に対応した主な活動	デマンドタクシーの回数券のキャンペーン販売を行い、利用促進を図った。また、客層も高齢化しているため、乗降が困難な利用客の利用状態確認をして安全な運行管理に務めた。						
予算・決算(千円)	令和4年決算額	令和5年決算額	令和6年度予算額	令和6年決算見込額			
	27,320	26,686	29,652	29,158			
令和6年度決算内訳(円)	消耗品費:191,865円 燃料費:1,147,636円 印刷製本費:101,860円 修繕料:148,918円 手数料・保険料・重量税:134,580円 運行業務委託料:27,434,000円						
成果指標設定の考え方	1日あたりの利用者数						
成果指標の年度経過	令和4年	令和5年	令和6年	目標年度	令和6年		
	35.5人	33.4人	32.4人	目標値	50人		
評 価 欄							
担当課評価基準	妥当性	貢献度	有効性	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	2	2	3	A	継続
令和6年度担当課年度評価(方向性の理由)	免許を返納した高齢者等、交通弱者にとって重要な交通手段であるため、妥当性、貢献度、活動量を3とした。燃料費や人件費の高騰のため、コスト削減の余地はなく効率性を3とした。利用者数が減少傾向であり有効性を2とした。						
課題(改善すべき点/方向性)	高齢者や交通弱者の移動手段として重要な役割を果たしているものの、財政負担の増大や利用者数の伸び悩みがあるため、R7年度にニーズ調査を実施しデマンド交通システム以外の体系も含め検討する。						
外部評価委員会の意見	町民ニーズに即した交通システムの検討に努めていただきたい。						方向性
							改善
町としての考え方	実際の利用状況や町民の移動ニーズを踏まえた柔軟な見直しも視野に入れ、地域に根ざした持続可能な交通システムの確立に努める。						方向性
							改善

事務事業評価シート

令和6年度

			事業No.	336			
所管課・係名	町民課 課税係		予算科目	6 款 1 項 6 目			
事務事業名	国土調査事業		予算大事業名	国土調査事業			
総合発展計画【章】	第4章 鳥海山の豊かな自然と調和した快適な暮らしの創造《くらし・防災・環境》						
総合発展計画【節】	第3節 快適で便利な遊佐ぐらしの推進						
総合発展計画【項】	第3項 計画的な土地利用の推進						
事業の概要	目 的 一筆ごとの筆界・地目・地積測量結果についての成果を法務局へ送付する						
	内 容 ①事業計画・準備 ②基準点測量 ③一筆調査 ④図根点測量 ⑤地積測定・地籍図原図作成 ⑥図面の閲覧及び修正 ⑦国、県への認証請求事務 ⑧法務局への送付事務						
令和4年度分の外部評価の意見	計画的に進めていただきたい。						方向性
							継続
令和5年度分の町としての考え方	令和5年4月に相続登記申請義務化の法律が施行され、必要な不動産の情報の信頼性が求められることから、法務局とも連携し、引き続き地図訂正等必要な作業を進めていく。						方向性
							継続
令和6年度に対応した主な活動	国や県などが実施する災害復旧事業に対し、国土調査成果資料の提供を行った。						
予算・決算 (千円)	令和4年決算額	令和5年決算額	令和6年度予算額	令和6年決算見込額			
	328	1,059	3,300	444			
令和6年度 決算内訳(円)	自動車借上料 257,400円、消耗品費 110,805円、燃料費 59,330円、保険料 14,040円、その他 2,700円						
成果指標設定の 考え方	実施面積/調査対象面積						
成果指標の 年度経過	令和4年	令和5年	令和6年	目標年度	令和6年		
	100% (0.08km ² / 0.08km ²)	100% (0.01km ² / 0.01km ²)	0% (0.0km ² / 0.0km ²)	目標値	100%		
評 価 欄							
担当課評価基準	妥当性	貢献度	有効性	効率性	活動量	評価値	方向性
	2	3	1	2	1	D	縮小
令和6年度 担当課年度評価 (方向性の理由)	現在は資料の提供及び相談があった場合の地図訂正が主な業務となっており、新たな事業計画は策定しておらず、活動量が多いとは言えないが、国土調査の成果については、公共事業における用地測量等の基礎資料として重要なものであり、貢献度は高いことから、今後も必要な作業を実施する。						
課題 (改善すべき点 /方向性)	未調査区域及び未認証・未送付区域は所有者不明土地等の困難事案が多く残された区域であり、調査の難航が想定される。令和6年度に相続登記申請が義務化されたが、すぐに所有者不明土地が解消されるわけではないので、長期的な対応が必要と考えている。						
外部評価委員会 の意見	法務局と連携し、引き続き必要な作業を進めていただきたい。						方向性
							継続
町としての考え方	国土調査の成果は、災害復旧時にも重要な役割を果たし、休止期間が長期化することで再開が困難になることが懸念されるため、調査を再開し、未調査区域及び未認証・未送付区域の解消に努める。						方向性
							継続

事務事業評価シート

令和6年度

			事業No.	580-2			
所管課・係名	教育課 総務学事係	予算科目	10 款 1 項 2 目				
事務事業名	遊佐高校就学支援事業	予算大事業名	事務局費一般経費				
総合発展計画【章】	第5章 ふるさとを愛し、未来を拓く、いのち輝く町民の育成《教育・文化》						
総合発展計画【節】	第1節 遊佐を愛し、未来にはばたく子どもの育成						
総合発展計画【項】	第1項 地域全体で育む園・学校教育の充実						
事業の概要	目 的 町内唯一の県立高校である遊佐高校の存続が地域振興にとって極めて重要であることから、一定の入学定員を確保するために、遊佐高校支援の会に補助金を交付し、遊佐高校就学者に対する支援事業を実施する。						
	内 容 ①翌年度入学予定者への支援 一人当たり7万円 ②校外学習活動用移動バス代、事業周知ポスター・ちらし 他						
令和4年度分の 外部評価の意見	高校の独自性を創り上げ、生徒の確保に繋げていただきたい。					方向性	
						改善	
令和5年度分の 町としての考え方	県外からの入学者確保については一定の成果が出ている。中学生と保護者が求めているものを確認しながら、新たな支援制度を検討していく。					方向性	
						継続	
令和6年度に対応した 主な活動	入学者に対してはオリエンテーション等で利用案内のチラシを配布し、事業内容について説明して利用を促した。また、近隣市町村の中学校へ事業PRを行うなど、効果的な周知に努めた。						
予算・決算 (千円)	令和4年決算額	令和5年決算額	令和6年度予算額	令和6年決算見込額			
	2,513	1,684	3,586	3,208			
令和6年度 決算内訳(円)	①令和7年度入学生32名の申請を受付。70,000円×32名。 令和6年度中に1年次への転入があり、1名に交付。 合計2,310,000円 ②学習活動支援(校外学習バス移動補助)、広告掲載料(スクールガイド)、 ポスター・チラシ等印刷費 等 897,956円						
成果指標設定の 考え方	入学定員40人の8割の入学志願者						
成果指標の 年度経過	令和4年	令和5年	令和6年	目標年度	令和6年		
	24人	18人	32人	目標値	32人		
評 価 欄							
担当課評価基準	妥当性	貢献度	有効性	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	3	3	2	A	継続
令和6年度 担当課年度評価 (方向性の理由)	県外からの留学生6人を含む入学者は32名となり、目標値に達することができた。そのうち遊佐中からの進学したのは6人と、町内からの入学者の割合が低い状態が続いている。						
課題 (改善すべき点 /方向性)	特に遊佐中の生徒と保護者に事業を知ってもらうため、事業周知についてPRの仕方を工夫していく。						
外部評価委員会 の意見	引き続き事業PRを行い、生徒数拡大につとめていただきたい。					方向性	
						継続	
町としての考え方	中学生と保護者が求めるものを確認し支援策を検討するとともに、既存の学習活動支援等についても高校と連携し、高校の活動やPRへの活用の幅を広げていく。					方向性	
						継続	

事務事業評価シート

令和6年度

			事業No.	580-3			
所管課・係名	教育課 総務学事係		予算科目	10 款 1 項 2 目			
事務事業名	遊佐高校就学支援事業(通学支援)		予算大事業名	事務局費一般経費			
総合発展計画【章】	第5章 ふるさとを愛し、未来を拓く、いのち輝く町民の育成《教育・文化》						
総合発展計画【節】	第1節 遊佐を愛し、未来にはばたく子どもの育成						
総合発展計画【項】	第1項 地域全体で育む園・学校教育の充実						
事業の概要	目 的 酒田市八幡地区など、JR等の公共交通の便のない所から遊佐高校に通学する生徒の通学手段を確保及び、JRを利用して通学する生徒の保護者負担の軽減を図り、遊佐高校が進学先として選択される契機とする。						
	内 容 ①乗合通学タクシーの借上げ運行(利用者の一部自己負担あり)。 ②JR定期券購入費助成事業 遊佐高校支援の会に対し、補助金を交付して、支援事業を実施する。						
令和4年度分の外部評価の意見	生徒数の確保のため、計画的に事業を実施していただきたい。						方向性
							継続
令和5年度分の町としての考え方	公共交通機関の無い地域からの入学者確保のための重要なツールであり、遊佐高校入学のための判断材料(魅力)となっている。引続き周知を図っていく。						方向性
							継続
令和6年度に対応した主な活動	入学者に対してはオリエンテーション等で利用案内のチラシを配布し、事業内容について説明して利用を促した。また、近隣市町村の中学校へ事業PRを行うなど、効果的な周知に努めた。						
予算・決算(千円)	令和4年決算額	令和5年決算額	令和6年度予算額	令和6年決算見込額			
	3,026	3,010	3,430	3,093			
令和6年度決算内訳(円)	①通学タクシー 2路線、利用者6名で運行。 運行委託料 2,654,460円 ②JR定期券購入費補助 利用者15名。助成金(業務委託料含む) 437,990円						
成果指標設定の考え方	遊佐高校通学支援を受けた生徒数						
成果指標の年度経過	令和4年	令和5年	令和6年	目標年度	令和6年		
	30人	29人	21人	目標値	20人		
評 価 欄							
担当課評価基準	妥当性	貢献度	有効性	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	3	3	2	A	継続
令和6年度担当課年度評価(方向性の理由)	通学タクシーの利用者は6名、JR定期券購入費助成の利用者は15名となり、合せて21名の利用があった。JR定期券購入費助成については、より町外からの通学者の負担が軽減されており、利用率も高い傾向にある。						
課題(改善すべき点/方向性)	通学タクシーの利用希望者から新規の乗降場所について要望があったとき、入学までの期間が短く対応できない場合が多いため、もっと要望に沿った運行ができる方法を検討していく。また、JR定期券購入助成については、助成制度のことを忘れ、遊佐駅以外で定期券を購入してしまう生徒がいるため、継続した利用の呼びかけを行っていく。						
外部評価委員会の意見	引き続き生徒のニーズに沿った支援を行っていただきたい。						方向性
							継続
町としての考え方	公共交通機関の無い地域や町外からの入学者へ対する重要なアピールポイントになっている。より利用者が使いやすくなるような路線や運行の方法を検討していく。						方向性
							継続

事務事業評価シート

令和6年度

			事業No.	489			
所管課・係名	教育課 社会教育係		予算科目	10 款 4 項 2 目			
事務事業名	少年町長・少年議員公選事業		予算大事業名	少年町長・少年議会事業			
総合発展計画【章】	第5章 ふるさとを愛し、未来を拓く、いのち輝く町民の育成《教育・文化》						
総合発展計画【節】	第1節 遊佐を愛し、未来にはばたく子どもの育成						
総合発展計画【項】	第2項 自己有用感に根ざす青少年の健全育成						
事業の概要	目 的 若者意見の町政への反映						
	内 容 ①公募・選挙 ②議会の開催 ③全員協議会の開催						
令和4年度分の 外部評価の意見	若者のアンケートを町政に活かす工夫をしていただきたい。						方向性
							改善
令和5年度分の 町としての考え方	認知度の上昇、興味関心を引くにはまず情報が入ってくるのが肝要であるので、視覚だけでないアプローチを続けていく。チラシの配布に加え、校内放送や町のSNSを使用していくことで改善に取り組んでいく。						方向性
							改善
令和6年度に対応した 主な活動	有権者からのアンケート結果を反映し、R6年度は多世代間交流を目的としたイベント「We スポーツ」と、少年議会事業の周知及び町の活性化を目的とした、みんなで遊佐町の新たなシンボルを作るアートイベント「Make a 名画！」を政策として実施した。イベントに際して、少年議会メンバーによるInstagram等での宣伝が行われた。						
予算・決算 (千円)	令和4年決算額	令和5年決算額	令和6年度予算額	令和6年決算見込額			
	830	783	935	832			
令和6年度 決算内訳(円)	消耗品費:70,887円 食糧費:118,183円 印刷製本費:189,090円 保険料:3,500円 政策予算委託:450,000円						
成果指標設定の 考え方	アンケート回答者数の内、「遊佐町は若者の想いや声を取り入れたまちづくりをしている思う」と答えた数 / アンケート回答者数						
成果指標の 年度経過	令和4年	令和5年	令和6年	目標年度	令和6年		
	72.4% (354/489)	73.1% (375/513)	70.5% (332/471)	目標値	85%		
評 価 欄							
担当課評価基準	妥当性	貢献度	有効性	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	2	3	2	A	継続
令和6年度 担当課年度評価 (方向性の理由)	この事業は若者の想いや声を取り入れたまちづくりに寄与しているということに加え、先進事例として町外から多くの視察やイベント等へ参加要請もあり、町への貢献度は高く、方向性と継続とした。この事業では少年議会独自の政策の実施を踏まえ、有効性・妥当性については7割方評価できる。一方、政策実現のために少年議会メンバーが集まる全員協議会(R6年は全17回)の出席率は昨年度より9ポイント減少した73%となっており、取組みが不十分であったため活動量は2としている。						
課題 (改善すべき点 /方向性)	立候補が多くなった場合に、活動に弊害が出る恐れがあることから、人数制限について検討する必要がある。また、当事業の評価は、町や対外的な方面からのみでなく、有権者のこどもたち(町内在住・在学の中高生)を中心に行って頂くような対応を検討していく。						
外部評価委員会 の意見	少年議会と他部門の連携による町政への意見反映と、選挙制度の見直しを図っていただきたい。						方向性
							改善
町としての考え方	立候補が多いということを長所として活かしながら、有権者の子どもたちの意見を町政や子どもたちが企画する事業に反映するために調整を行う。						方向性
							改善

事務事業評価シート

令和6年度

			事業No.	2			
所管課・係名	企画課 企画係	予算科目	2 款 1 項 8 目				
事務事業名	国際交流事業	予算大事業名	国際交流事業				
総合発展計画【章】	第5章 ふるさとを愛し、未来を拓く、いのち輝く町民の育成《教育・文化》						
総合発展計画【節】	第1節 遊佐を愛し、未来にはばたく子どもの育成						
総合発展計画【項】	第2項 自己有用感に根ざす青少年の健全育成						
事業の概要	目 的 姉妹都市ハンガリー・ソルノク市での交流等とおし、町民の国際的な感覚と協調心を養うとともに、次世代を担う生徒の国際理解を深める						
	内 容 姉妹都市であるハンガリー・ソルノク市等への派遣						
令和4年度分の外部評価の意見	これからいろいろな方法を考え、交流を深めていただきたい。						方向性
							継続
令和5年度分の町としての考え方	引き続き中高生の派遣を行い、ハンガリーとの交流を続けていく。						方向性
							継続
令和6年度に対応した主な活動	3月に中高生派遣団がハンガリー・ソルノク市を訪問した。また、2月には遊佐町合併70周年記念式典にハンガリー大使館から大使、料理長、リストハンガリー文化センターから所長が来町し交流した。						
予算・決算 (千円)	令和4年決算額	令和5年決算額	令和6年度予算額	令和6年決算見込額			
	2,750	10,034	11,890	8,940			
令和6年度 決算内訳(円)	国際交流事業推進委託料 8,939,742円 (内訳:国際交流事業推進業務委託 1,790,578、合併70周年記念事業 551,119円、3月派遣事業 6,598,045円)						
成果指標設定の 考え方	派遣事業への参加人数(一般団員を含む)						
成果指標の 年度経過	令和4年	令和5年	令和6年	目標年度	令和6年		
	0名	13名	14名	目標値	14名		
評 価 欄							
担当課評価基準	妥当性	貢献度	有効性	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	3	2	3	A	継続
令和6年度 担当課年度評価 (方向性の理由)	3月の中高生派遣団は10名の中高生と3名の大人団員が参加した。派遣前の研修会や派遣後の報告会を含め、参加者の国際理解を深めること繋がっており、貢献度や有効性は高い。引き続き中高生の交流を継続し、国際交流事業を未来へ繋いでいきたい。						
課題 (改善すべき点 /方向性)	国際交流に関わる若者の育成のため、派遣事業に参加した中高生の今後の町の国際交流との関わり方について考える必要がある。また派遣団員の選出方法や参加者負担金の見直しを検討する。						
外部評価委員会 の意見	派遣団員の選出方法や参加者負担金の見直しを進めていただきたい。						方向性
							改善
町としての考え方	団員の選出方法について抽選方法の見直しを進める。また、参加者負担金を増額する。						方向性
							改善

事務事業評価シート

令和6年度

			事業No.	582			
所管課・係名	企画課 観光物産係		予算科目	2 款 1 項 8 目			
事務事業名	ジオパーク推進事業		予算大事業名	ジオパーク推進事業			
総合発展計画【章】	第5章 ふるさとを愛し、未来を拓く、いのち輝く町民の育成《教育・文化》						
総合発展計画【節】	第3節 歴史・文化遺産の継承と活用						
総合発展計画【項】	第2項 文化財等の調査、保存と活用						
事業の概要	目 的 ジオパーク推進による持続可能な地域社会の形成に向けた機運醸成						
	内 容 ①ジオパークに関する講習・研修会の開催 ②インフォメーションコーナーや案内看板等の整備 ③関係団体等との連携 ④ジオパーク関連の研修会及び視察参加						
令和4年度分の外部評価の意見	学校を取り込んだ活動を展開し、そこから地域を挙げた取組みに繋がっていただきたい。						方向性
							改善
令和5年度分の町としての考え方	幼稚園から高校まで幅広い活動が展開できる下地ができあがっている。今後、ジオパーク推進協議会と連携し、社会教育と地域が結びついた取組みに繋がるよう努める。						方向性
							継続
令和6年度に対応した主な活動	日本ジオパークの再認定(2回目)に向けて準備を進め、10月30日～11月1日に現地調査を受検。令和7年1月に再認定を受けた。 ・(遊佐エリアの主な取り組み)鳥海山麓トレッキング(5/18)26名の参加、夏休み期間を利用した鳥海山・飛島ジオパーク展の開催 等						
予算・決算(千円)	令和4年決算額	令和5年決算額	令和6年度予算額	令和6年決算見込額			
	11,548	9,926	11,220	10,560			
令和6年度決算内訳(円)	・鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会負担金： 8,820,000円 ・他事業費等： 1,739,500円						
成果指標設定の考え方	ジオパーク講習会・研修会等の開催回数						
成果指標の年度経過	令和4年	令和5年	令和6年	目標年度	令和6年		
	10回	9回	10回	目標値	10回		
評 価 欄							
担当課評価基準	妥当性	貢献度	有効性	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	3	3	3	A	継続
令和6年度担当課年度評価(方向性の理由)	この事業による自然保護、教育及び人材育成、物販活動等への有効性は非常に高い。世界ジオパーク認定に向けて取り組んでいく必要があるため継続とした。						
課題(改善すべき点/方向性)	再認定審査時に指摘されているアクションプランに基づき、世界ジオパーク認定に向けた課題解決を進める。						
外部評価委員会の意見	世界ジオパーク認定に向けた取り組みを推進していただきたい。						方向性
							継続
町としての考え方	鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会と連携し、アクションプランに基づいた課題解決に努める。						方向性
							継続

事務事業評価シート

令和6年度

			事業No.	463			
所管課・係名	企画課 観光物産係		予算科目	- 款 - 項 - 目			
事務事業名	ふるさと休日推進事業		予算大事業名	予算措置なし			
総合発展計画【章】	第6章 人の絆で織りなす賑わいあふれるまちづくり《町民参画・連携》						
総合発展計画【節】	第1節 協働によるまちづくりの推進						
総合発展計画【項】	第1項 町民の参画を促す機会の創出						
事業の概要	目 的 家族の時間づくりと郷土愛の醸成、地域の賑いの創出を図る						
	内 容 酒田まつり本祭(5/20)をふるさと休日とし、休業日や有給休暇の取得を推進するチラシや啓発グッズの制作・配布等を行う。						
令和4年度分の外部評価の意見	酒田市と連携を密にし、事業所への呼びかけを進めていただきたい。						方向性
							改善
令和5年度分の町としての考え方	酒田市と連携し、事業所への呼びかけに努める。						方向性
							改善
令和6年度に対応した主な活動	ふるさと休日(5/20)推進の広告掲載						
予算・決算(千円)	令和4年決算額	令和5年決算額	令和6年度予算額	令和6年決算見込額			
	-	-	19	0			
令和6年度決算内訳(円)	支出なし						
成果指標設定の考え方	ふるさと休日を設けた学校数						
成果指標の年度経過	令和4年	令和5年	令和6年	目標年度	令和6年		
	100%	100%	100%	目標値	100%		
評 価 欄							
担当課評価基準	妥当性	貢献度	有効性	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	3	3	1	B	改善
令和6年度担当課年度評価(方向性の理由)	この事業は、家族との時間を共有できるよりよい事業と捉えており、有効性・妥当性について評価できる。町内事業所での取り組み状況を把握し、有給休暇取得の協力をお願いする必要があるため方向性としては改善とした。						
課題(改善すべき点/方向性)	町内事業所への周知ができていない。						
外部評価委員会の意見	酒田市と連携し、事業所への周知を進めていただきたい。						方向性
							改善
町としての考え方	商工会と連携し、事業所への呼びかけに努める。						方向性
							改善

事務事業評価シート

令和6年度

			事業No.	244			
所管課・係名	企画課 企画係		予算科目	2 款 1 項 8 目			
事務事業名	男女共同参画推進事業		予算大事業名	男女共同参画社会推進事業			
総合発展計画【章】	第6章 人の絆で織りなす賑わいあふれるまちづくり《町民参画・連携》						
総合発展計画【節】	第1節 協働によるまちづくりの推進						
総合発展計画【項】	第1項 町民の参画を促す機会の創出						
事業の概要	目 的 政策形成への女性参画機会の拡充						
	内 容 町民への男女共同参画の啓発・周知						
令和4年度分の 外部評価の意見	これからも積極的に取り組んでいただきたい。						方向性
							継続
令和5年度分の 町としての考え方	引き続き、審議会・委員会等の改選期を把握し、積極的な女性登用を図る。						方向性
							継続
令和6年度に対応した 主な活動	行政機関の女性登用状況調査を行い、審議会・委員会への積極的な女性登用を依頼した。また、男女共同参画週間の推進のため広報(6月号)への掲載及びHPへ掲載し、町民への周知を図った。						
予算・決算 (千円)	令和4年決算額	令和5年決算額	令和6年度予算額	令和6年決算見込額			
	-	-	0	0			
令和6年度 決算内訳(円)	支出額なし						
成果指標設定の 考え方	審議会・委員会における女性の登用率(女性委員数/総委員数) ※男女共同参画計画の目標値による					経過目標 令和6年:35%	
成果指標の 年度経過	令和4年	令和5年	令和6年	目標年度	令和7年		
	33.2% (79/238)	30.7% (71/231)	25.3% (61/241)	目標値	40%		
評 価 欄							
担当課評価基準	妥当性	貢献度	有効性	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	2	3	2	A	継続
令和6年度 担当課年度評価 (方向性の理由)	各課において女性委員を登用する動きが見られるが、登用率は令和5年度と比較し減少した。女性の町政参画への一助となっているが、登用率が減少しているため有効性2とした。						
課題 (改善すべき点 /方向性)	女性委員がいない委員会等があるので、登用率が低い委員会等も含め、各課へ積極的な登用を依頼していく必要がある。						
外部評価委員会 の意見	登用率の低い審議会等の改善に努めていただきたい。						方向性
							改善
町としての考え方	登用率の低い審議会等に政策決定過程への女性参画推進の意義を周知し、登用率の向上を図る。						方向性
							改善

事務事業評価シート

令和6年度

			事業No.	566			
所管課・係名	産業課 産業創造係		予算科目	2 款 1 項 8 目			
事務事業名	ふるさとづくり寄附金事業		予算大事業名	ふるさとづくり寄附金事業			
総合発展計画【章】	第6章 人の絆で織りなす賑わいあふれるまちづくり《町民参画・連携》						
総合発展計画【節】	第1節 協働によるまちづくりの推進						
総合発展計画【項】	第2項 町民活動を支える体制整備						
事業の概要	目 的 ふるさと納税者の拡大、特産品のPR						
	内 容 「ふるさと納税」制度で寄付した人への特産品の送付						
令和4年度分の 外部評価の意見	関係者と連携し、これからも事業に取り組んでいただきたい。						方向性
							継続
令和5年度分の 町としての考え方	ふるさと納税による寄附金は町の財源となっており、関係人口の拡大にも大きな寄与が認められる。一方で事業の進め方は事務執行の効率化が課題としてある。寄附額の増加で経費と作業量も増加することから、人員体制と作業効率を見直す。						方向性
							改善
令和6年度に対応した 主な活動	①: ふるさと納税寄付金の受領額増加を目的に、ポータルサイトを4から10に6つ増加 ②: 返礼品の充実を目的に返礼品提供事業者と調整し、10の新規返礼品の提供を新たに開始 ③: 令和6年7月豪雨災害への災害支援寄付(ふるさと納税)の受付サイト整備						
予算・決算 (千円)	令和4年決算額	令和5年決算額	令和6年度予算額	令和6年決算見込額			
	446,135	595,428	527,918	513,175			
令和6年度 決算内訳(円)	報償費(返礼品代金) 297,810,911円 業務委託料(サイト掲載等) 44,876,124円		通信運搬費 82,787,792円 手数料等 87,700,173円				
成果指標設定の 考え方	ふるさと納税寄付件数						
成果指標の 年度経過	令和4年	令和5年	令和6年	目標年度	令和6年		
	48,125件	60,665件	38,294件	目標値	58,000件		
評 価 欄							
担当課評価基準	妥当性	貢献度	有効性	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	2	2	3	A	継続
令和6年度 担当課年度評価 (方向性の理由)	当事業ではふるさと納税制度を利用して当町に寄付頂いた方々に、返礼品として特産品を送付している。頂いた寄付金は当町の各事業に充当されており、妥当性・貢献度は高い。令和6年度は目標値の66%程度の寄付件数であったため、有効性を2と評価した。方向性としては「継続」となるものの、当該事業に関する事務執行については、業務を今以上に効率化できる要素があることから効率性を2と評価し、事業の進め方について改善を行う。						
課題 (改善すべき点 /方向性)	当町に寄付して頂いた方の約9割が精米を返礼品として選択する結果となった。昨今、精米が高騰し数量も限られているため、在庫不足などにならないよう、返礼品提供事業者及び委託事業者と細かな調整を行うことで、寄付者との不要なトラブルを事前に回避する取り組みが必要である。						
外部評価委員会 の意見	効率的な業務の在り方について、検討していただきたい。						方向性
							改善
町としての考え方	業務のさらなる効率化や経費削減、そして返礼品や情報発信の質の向上を図りながら、持続可能な運営体制の構築に取り組む。						方向性
							改善

事務事業評価シート

令和6年度

			事業No.	599			
所管課・係名	地域生活課 管理衛生係		予算科目	8 款 4 項 4 目			
事務事業名	町民協働公園づくり補助事業		予算大事業名	町民協働公園づくり補助金交付事業			
総合発展計画【章】	第6章 人の絆で織りなす賑わいあふれるまちづくり《町民参画・連携》						
総合発展計画【節】	第1節 協働によるまちづくりの推進						
総合発展計画【項】	第2項 町民活動を支える体制整備						
事業の概要	目 的 子どもの遊び場の充実及び地域の公園等の良好な環境の形成の向上を図り、地域の特色を取り入れ、より身近な公園の整備を推進すること 内 容 ①HP、広報等での制度周知 ②申請の受理・審査、現地確認、補助金の交付						
令和4年度分の外部評価の意見	公園の計画的な整備、事業の周知に努めていただきたい。						方向性
							縮小
令和5年度分の町としての考え方	広報へ記事の掲載を行うとともに、各集落区長に対してパンフレット配布を行っているが申請につながらないため、各地区の総会等に職員が出向き、各集落で抱える公園に関する問題を確認するとともに制度の周知を図るなどする必要がある。						方向性
							改善
令和6年度に対応した主な活動	広報へ記事の掲載を行うとともに、各集落区長に対してパンフレット配布を実施し、事前周知に努めた。						
予算・決算 (千円)	令和4年決算額	令和5年決算額	令和6年度予算額	令和6年決算見込額			
	344	259	1350 当初500+補正850	728			
令和6年度 決算内訳(円)	申請件数4件 交付金額728,000円						
成果指標設定の 考え方	集落管理公園の年間整備件数						
成果指標の 年度経過	令和4年	令和5年	令和6年	目標年度	令和6年		
	1件	1件	4件	目標値	2件		
評 価 欄							
担当課評価基準	妥当性	貢献度	有効性	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	3	3	2	A	継続
令和6年度 担当課年度評価 (方向性の理由)	集落の公園利用者の利便性向上が図られることから貢献度は高い。事前相談を受け付けるなどし、目標値を超える執行件数となったこと、老朽化した公園施設を抱えており、今後申請を予定している集落からの相談もあることから継続と判断した。						
課題 (改善すべき点 /方向性)	近年の実績に応じて、要綱上の補助金上限額に満たない予算となった。事前相談により、各集落からの申請内容・計画を確認し、円滑に執行できるよう体制づくりを進める。						
外部評価委員会 の意見	計画的に実施していただきたい。						方向性
							継続
町としての考え方	老朽化した公園施設を抱えている集落からの相談も複数ある状況から継続とする。						方向性
							継続

事務事業評価シート

令和6年度

			事業No.	405			
所管課・係名	企画課 定住促進係		予算科目	2 款 1 項 8 目			
事務事業名	地域おこし協力隊推進事業		予算大事業名	地域おこし協力隊推進事業			
総合発展計画【章】	第6章 人の絆で織りなす賑わいあふれるまちづくり《町民参画・連携》						
総合発展計画【節】	第1節 協働によるまちづくりの推進						
総合発展計画【項】	第2項 町民活動を支える体制整備						
事業の概要	目 的 外部人材の活用						
	内 容 ①地域おこし協力隊による町・地区の各種事業への支援活動 ②地域おこし協力隊の隊員募集 ③地域おこし協力隊の隊員退任後の定着支援						
令和4年度分の外部評価の意見	着実に進めていただきたい。						方向性
							継続
令和5年度分の町としての考え方	退任後の定住に向けて、情報共有を行いながらサポートを引き続き行っていく。また、移住者目線、若者目線で地域活性化を期待し、新規隊員の募集も計画的に進める。						方向性
							継続
令和6年度に対応した主な活動	3回の募集を行い計5名を採用、6つの業務で合計10名が活動した。それぞれの担当業務のほか、出前講座や小中学校での講話、ふるさとCM作成、活動報告会等を協力隊全体で行った。2名が退任、うち1名が定住した。						
予算・決算 (千円)	令和4年決算額	令和5年決算額	令和6年度予算額	令和6年決算見込額			
	25,790	30,463	40,287	33,384			
令和6年度 決算内訳(円)	報奨費(謝礼)22,367,490円、旅費963,222円、需用費(消耗品、燃料費、印刷製本費、修繕料)1,971,080円、役務費(手数料、保険料)521,231円、使用料及び賃借料(自動車・住居借上げ、OA機器賃借、ライセンス使用)7,413,586円、備品購入費61,490円、研修会負担金86,000円、						
成果指標設定の考え方	地域力の維持・強化に繋がっているか単年度で判断できないため、隊員の採用人数実績を指標とする。						
成果指標の 年度経過	令和4年	令和5年	令和6年	目標年度	令和6年		
	3人	1人	5人	目標値	実績値		
評 価 欄							
担当課評価基準	妥当性	貢献度	有効性	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	3	3	2	A	継続
令和6年度 担当課年度評価 (方向性の理由)	各業務での実績(スマホ道場1,500名突破、ジオパーク再認定、遊佐高校入学生増)のほか、ふるさとCMでの大賞受賞等、協力隊全体での目に見える成果もあったため、貢献度を3とした。任期終了前の退任が2名いたため活動量を2とした。						
課題 (改善すべき点 /方向性)	町内の賃貸物件が僅少で、内定してから何とか確保している状況が続いている。また、いっそうの定住率向上に向けて、応募時点ないし活動期間の前半で任期終了後の方向性を明示できるような制度設計を行う必要がある。						
外部評価委員会 の意見	着実に進めていただきたい。						方向性
							継続
町としての考え方	空き家バンクの活用や不動産業者と連携して賃貸物件の確保につとめる。退任後の定住に向けたサポートを引き続き行う。移住者・若者目線で地域活性化を期待し、計画的に新規隊員募集を進める。						方向性
							継続

事務事業評価シート

令和6年度

			事業No.	1			
所管課・係名	企画課 企画係		予算科目	2 款 1 項 8 目			
事務事業名	きらきら遊佐マイタウン事業		予算大事業名	協働のまちづくり事業			
総合発展計画【章】	第6章 人の絆で織りなす賑わいあふれるまちづくり《町民参画・連携》						
総合発展計画【節】	第1節 協働によるまちづくりの推進						
総合発展計画【項】	第2項 町民活動を支える体制整備						
事業の概要	目 的 自主的な地域づくり活動の推進						
	内 容 町民で組織する自主的な団体に対する助成金の交付						
令和4年度分の外部評価の意見	各団体の要望を吟味し、有利な情報提供を行っていただきたい。						方向性
							改善
令和5年度分の町としての考え方	ハード事業とソフト事業を切り離すなど、事業の見直しが必要な時期となっている。他自治体の事例を参考にしながら、自治会館のハード(新築・改修)に特化した制度の創設を検討する。						方向性
							改善
令和6年度に対応した主な活動	例年のスケジュールに沿い、4月～5月 募集し13件の交付決定を行った。7月の大雨災害により集落公民館への浸水被害等があったため、急遽単年度の新たな整備事業要綱を制定し、集落公民館の復旧事業として4集落7件の補助を実施した。						
予算・決算(千円)	令和4年決算額	令和5年決算額	令和6年度予算額	令和6年決算見込額			
	4,771	4,623	7,389	6,755			
令和6年度決算内訳(円)	きらきら遊佐マイタウン事業(3,711,000円):申請件数13件(一般2件、集落11件) 被災地区集落公民館等復旧事業(3,044,000円):申請件数7件(宿二、宿三、樽川、六日町)						
成果指標設定の考え方	執行率／当初予算額						
成果指標の年度経過	令和4年	令和5年	令和6年	目標年度	令和6年		
	95%	92%	91%	目標値	95%		
評 価 欄							
担当課評価基準	妥当性	貢献度	有効性	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	2	2	3	A	継続
令和6年度担当課年度評価(方向性の理由)	この事業は集落活動やコミュニティ活動の活性化に直接的に寄与する事業であり、妥当性・貢献度は高い。R6年度は大雨災害により、急遽「集落公民館等復旧事業補助金」を創設し、被災した集落公民館の対応復旧を行ったため活動量を3とした。						
課題(改善すべき点/方向性)	これまで検討してきた集落公民館のハード整備については、令和7年度よりきらきら遊佐マイタウン事業と切り分け新たに「集落公民館等整備事業補助金」を創設し、通年受付できる体制とした。集落への周知を行っていく。						
外部評価委員会の意見	計画的に進めていただきたい。						方向性
							継続
町としての考え方	新設した集落公民館等整備事業補助金を含め、計画的に進める。						方向性
							継続

事務事業評価シート

令和6年度

			事業No.	271			
所管課・係名	企画課 企画係		予算科目	2 款 1 項 8 目			
事務事業名	まちづくりセンター運営事業		予算大事業名	地域活動交付金事業			
総合発展計画【章】	第6章 人の絆で織りなす賑わいあふれるまちづくり《町民参画・連携》						
総合発展計画【節】	第1節 協働によるまちづくりの推進						
総合発展計画【項】	第2項 町民活動を支える体制整備						
事業の概要	目 的 地域の自主的、主体的な住民自治活動を支援						
	内 容 各地区まちづくりセンターの町づくり団体地域自治組織に地域活動交付金を交付						
令和4年度分の 外部評価の意見	先進事例を参考に新たな活動に繋がるよう支援いただきたい。						方向性
							改善
令和5年度分の 町としての考え方	「縮充」の考え方から、センター利用者・事業参加者の増加だけでなく、事業内容の満足度の向上も重視する時代となってきた。まち協役員や事務局向けの研修会や視察を継続的に実施し、各まち協の地域活動への支援を続けていく。						方向性
							継続
令和6年度に対応した 主な活動	まちづくり協議会の役員や職員を対象に、協働のまちづくり研修会において防災研修会を開催した。(参加者33名)先進地視察では山形県社会教育研究大会で各地域の事例発表を視察した。また、まち協連合会役員会では、会長報酬の見直しや集落の現状を把握するための集落支援員の導入について協議をした。						
予算・決算 (千円)	令和4年決算額	令和5年決算額	令和6年度予算額	令和6年決算見込額			
	53,677	54,670	63,634	63,335			
令和6年度 決算内訳(円)	蔵岡まちづくり協会:10,811,163円 遊佐地域づくり協議会:10,234,883円 稲川まちづくり協会:10,467,055円 西遊佐地区まちづくりの会:10,363,456円 高瀬まちづくりの会:10,338,752円 吹浦地区まちづくり協議会:10,299,056円						
成果指標設定の 考え方	まちづくりセンターの年間延べ利用者数の合計 過去5年平均(H27～R1:70,000人)より+5%						
成果指標の 年度経過	令和4年	令和5年	令和6年	目標年度	令和6年		
	47,837人	50,286人	49,087人	目標値	73,500人		
評 価 欄							
担当課評価基準	妥当性	貢献度	有効性	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	2	2	3	A	継続
令和6年度 担当課年度評価 (方向性の理由)	新型コロナウイルス感染症以降、各種事業・イベントに対しての町民の参加意識が変わったことに加え、地区を構成する年代の変遷や人口減少も伴い、各まちづくりセンターの利用者数は目標を大きく下回っている。ただし、そのような状況下であっても、常時センターを利用される方は少ないわけではなく、一定数いることから、妥当性・貢献度は評価できる事業である。また、長年の課題であった会長報酬の見直しの実現や集落支援員導入の検討を始めることができたため活動量を3とした。						
課題 (改善すべき点 /方向性)	生産人口の更なる減少と退職延長制度によって、今後は地区行事への参加者がより少なくなることが見込まれる。そのことを踏まえ、「縮充」の考え方で地区の事業実施を支援していく必要がある。						
外部評価委員会の 意見	継続的な支援に努めていただきたい。						方向性
							継続
町としての考え方	研修会や先進地視察の実施、集落支援員の導入等で支援する。						方向性
							継続

事務事業評価シート

令和6年度

			事業No.	464			
所管課・係名	企画課 観光物産係		予算科目	7 款 1 項 3 目			
事務事業名	ふるさと町民、準町民制度		予算大事業名	観光事業一般経費			
総合発展計画【章】	第6章 人の絆で織りなす賑わいあふれるまちづくり<<町民						
総合発展計画【節】	第1節 協働によるまちづくりの推進						
総合発展計画【項】	第3項 町外サポーターの開拓と連携推進						
事業の概要	目 的 町外在住者にふるさと町民として登録していただき、遊佐町の認知度、交流人口の拡大を図る						
	内 容 ①登録者に観光情報などを提供 ②遊佐町の情報の発信を促す						
令和4年度分の外部評価の意見	PR方法や特典内容の見直しなどを行い、これからも新規登録者を増やすよう努めていただきたい。						方向性
							改善
令和5年度分の町としての考え方	新規登録者の増加に繋がるように、他事業との連携に努める。						方向性
							縮小
令和6年度に対応した主な活動	メルマガ・チラシによる宿泊キャンペーンなどのお知らせを行った。						
予算・決算(千円)	令和4年決算額	令和5年決算額	令和6年度予算額	令和6年決算見込額			
	0	8	51	40			
令和6年度決算内訳(円)	通信運搬費:39,550円(観光パンフレット送付、レターパック)						
成果指標設定の考え方	ふるさと町民登録者数						
成果指標の年度経過	令和4年	令和5年	令和6年	目標年度	令和6年		
	81人	84人	84人	目標値	100人		
評 価 欄							
担当課評価基準	妥当性	貢献度	有効性	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	2	3	1	B	改善
令和6年度担当課年度評価(方向性の理由)	この事業は関係・交流人口の拡大のため有効性は高い。登録者へのキャンペーン等のメルマガ及びチラシ送付、遊佐町公式LINE(SNS)の活用により誘客活動を行っているが、活動量が少ないため方向性は改善とした。						
課題(改善すべき点/方向性)	ふるさと納税や遊佐町総合交流促進施設株式会社で展開しているEC事業など、他事業と連携した事業拡大を継続して進める。						
外部評価委員会の意見	関係部署と連携し、新規登録者の増加に努めていただきたい。						方向性
							改善
町としての考え方	新規登録者の増加に繋がるように、他事業との連携に努める。						方向性
							改善

事務事業評価シート

令和6年度

			事業No.	728			
所管課・係名	総務課 ICT推進室		予算科目	2 款 1 項 9 目			
事務事業名	ホームページ運用事業		予算大事業名	地域イントラネット管理費			
総合発展計画【章】	第6章 人の絆で織りなす賑わいあふれるまちづくり《町民参画・連携》						
総合発展計画【節】	第2節 開かれた町政の推進						
総合発展計画【項】	第1項 効果的な情報発信と行財政運営の透明化						
事業の概要	目 的 情報公開と双方向での公聴活動の推進						
	内 容 ①CMS【コンテンツマネジメントシステム(ホームページシステム)】の保守管理						
令和5年度分の 外部評価の意見	時代に即したホームページの運用を行っていただきたい。						方向性
							改善
令和5年度分の 町としての考え方	新CMSでも稼働率を維持する。						方向性
							継続
令和6年度に対応した 主な活動	新CMSに移行を完了した						
予算・決算 (千円)	令和4年決算額	令和5年決算額	令和6年度予算額	令和6年決算見込額			
	303	303	7,744	7,744			
令和6年度 決算内訳(円)	CMS保守 303,000円 遊佐町公式ホームページリニューアル7,441,000円						
成果指標設定の 考え方	稼働日数/365日						
成果指標の 年度経過	令和4年	令和5年	令和6年	目標年度	令和6年		
	100%	100%	100%	目標値	98% (メンテナンスを除く稼働率)		
評 価 欄							
担当課評価基準	妥当性	貢献度	有効性	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	3	3	3	A	継続
令和6年度 担当課年度評価 (方向性の理由)	新CMSから 外部のクラウド上にシステムを構築したいことから稼働率については100%が見込める						
課題 (改善すべき点 /方向性)	文化財などの特設サイトを構築したことからアクセスが増えることが考えられるが引き続き稼働率100%を維持したい						
外部評価委員会 の意見	計画的に進めていただきたい。						方向性
							継続
町としての考え方	閲覧する対象のニーズに合った対応を行う。						方向性
							継続

事務事業評価シート

令和6年度

			事業No.	458			
所管課・係名	議会事務局 議事係		予算科目	1 款 1 項 1 目			
事務事業名	開かれた議会推進事業		予算大事業名	議会運営費			
総合発展計画【章】	第6章 人の絆で織りなす賑わいあふれるまちづくり						
総合発展計画【節】	第2節 開かれた町政の推進						
総合発展計画【項】	第1項 効果的な情報発信と行財政運営の透明化						
事業の概要	目 的 議会の情報を公開することにより町民の関心を高める						
	内 容 ①町民と議会の懇談会の開催 ②HPでの議会中継録画、会議録の公開 ③本会議、予算特別委員会の傍聴の案内						
令和4年度分の外部評価の意見	議会中継の同時字幕の導入により、開かれた議会を推進していただきたい。						方向性
							改善
令和5年度分の町としての考え方	各地区で例年開催する懇談会だけでは参加者が限られてくるため、議会が自ら出向くシステムを構築し、町民の意見を町政に反映する必要がある。						方向性
							改善
令和6年度に対応した主な活動	町民と議会の懇談会だけでなく、各常任委員会で企画し若者との懇談会や保護者、団体との意見交換会を実施した。リアルタイムのライブ配信及び字幕配信の導入費用対効果が見込めないと判断し、導入しないこととした。						
予算・決算(千円)	令和4年決算額	令和5年決算額	令和6年度予算額	令和6年決算見込額			
	14	19	25	21			
令和6年度決算内訳(円)	懇談会チラシ折込手数料:9,614円 懇談会チラシ用紙代:4,270円 懇談会お茶代:6,196円 (ペットボトル@86円×62本、コーヒー864円)						
成果指標設定の考え方	町民と議会の懇談会出席者						
成果指標の年度経過	令和4年	令和5年	令和6年	目標年度	令和6年		
	55人	60人	62人	目標値	50人		
評 価 欄							
担当課評価基準	妥当性	貢献度	有効性	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	3	2	2	B	改善
令和6年度担当課年度評価(方向性の理由)	意見交換会の回数を増やしたことや議員自ら保護者等の場に出向き実施したことは、町民の町政への関心を高めるための事業として妥当性・貢献度が高い。一方で、議員との意見交換の場を求める町民の声もあるので活動量においてはまだ不十分であると判断し方向性を改善とした。						
課題(改善すべき点/方向性)	意見交換の場を増やしてはいるが、まだ十分とはいえない状況である。町民との意見交換の回数を増やすために開催準備事務の効率化を図ることや参加者への周知方法等を整備していく必要がある。						
外部評価委員会の意見	町民と触れ合う機会を増やし、開かれた議会を推進していただきたい。						方向性
							改善
町としての考え方	町民との意見交換の機会を増やすために、申請制度の構築を進めていく。						方向性
							改善

事務事業評価シート

令和6年度

			事業No.	4			
所管課・係名	企画課 企画係		予算科目	2 款 1 項 3 目			
事務事業名	広報発行事業		予算大事業名	広報発行費			
総合発展計画【章】	第6章 人の絆で織りなす賑わいあふれるまちづくり<<町民						
総合発展計画【節】	第2節 開かれた町政の推進						
総合発展計画【項】	第1項 効果的な情報発信と行財政運営の透明化						
事業の概要	目 的 町民の地域参加、町の施策の周知および合意形成						
	内 容 広報誌の発行による町の施策・事業、町民活動の紹介						
令和4年度分の 外部評価の意見	着実に進めていただきたい。						方向性
							継続
令和5年度分の 町としての考え方	令和6年度のリニューアルに向けて、引き続き広報委員との協議を進めていく。						方向性
							継続
令和6年度に対応した 主な活動	広報、お知らせ号を計画どおり発行し、また町のホームページや外部ページにも掲載し、町内外の情報発信を行っている。また、令和6年8月1日号から広報をリニューアルした。						
予算・決算 (千円)	令和4年決算額	令和5年決算額	令和6年度予算額	令和6年決算見込額			
	12,095	13,270	9,108	8,397			
令和6年度 決算内訳(円)	広報ゆざ1日号及びお知らせ号印刷製本費 8,396,520円						
成果指標設定の 考え方	毎月の発行の実数						
成果指標の 年度経過	令和4年	令和5年	令和6年	目標年度	令和6年		
	毎月2回	毎月2回	毎月2回	目標値	毎月2回発行 (1日号、15日号)		
評 価 欄							
担当課評価基準	妥当性	貢献度	有効性	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	3	2	3	A	継続
令和6年度 担当課年度評価 (方向性の理由)	政策広報として、町が定めた計画や力を入れている施策などを取り上げ、町民への周知と合意形成を図るとともに、町民の活躍を多く取り上げ、親しみのある広報誌になるよう努めたため、貢献度・有効性は高い。また広報リニューアルを行ったため、活動量を3とした。						
課題 (改善すべき点 /方向性)	現状お知らせと報告の記事が多いため、これから三ヶ月分の町の見どころを伝える記事も作成し、町内外問わず関心を持ってもらえるような広報としたい。また、15日号の広報を廃止している自治体も多くあることから、検討を進めたい。						
外部評価委員会 の意見	着実に進めていただきたい。						方向性
							継続
町としての考え方	町の施策や町民ニーズに沿った話題を掲載し、分かりやすく、親しみのある広報づくりを行う。						方向性
							継続

事務事業評価シート

令和6年度

			事業No.	259			
所管課・係名	総務課 総務係		予算科目	- 款 - 項 - 目			
事務事業名	人事・給与事務事業		予算大事業名	-			
総合発展計画【章】	第6章 人の絆で織りなす賑わいあふれるまちづくり《町民参画・連携》						
総合発展計画【節】	第2節 開かれた町政の推進						
総合発展計画【項】	第2項 効率的で質の高い行政サービスの提供						
事業の概要	目 的 人員管理の適正化						
	内 容 集中改革プラン(行革)での定員適正化計画による職員数の配置を行う。						
令和4年度分の外部評価の意見	定員管理計画に沿って、着実に進めていただきたい。						方向性
							継続
令和5年度分の町としての考え方	専門職(土木技師等)の確保が喫緊の課題であることから、年度初めの採用に拘らず、必要な人材を確保できるよう採用方法や採用時期、また地元高校・大学等への発信方法を工夫するなど、適正な職員数の確保に努める。						方向性
							継続
令和6年度に対応した主な活動	令和5年度計3回の採用試験により、令和6年度当初時点では近年の不補充については解消されたため、一般職及び専門職(土木技師)の採用に向け、三町合同採用試験のみ実施した。						
予算・決算(千円)	令和4年決算額	令和5年決算額	令和6年度予算額	令和6年決算見込額			
	88	143	310	267			
令和6年度決算内訳(円)	・職員採用試験業務委託料 47,080円 ・職員採用情報発信業務委託料 220,000円						
成果指標設定の考え方	当該年度末職員数／定員適正化計画職員数						
成果指標の年度経過	令和4年	令和5年	令和6年	目標年度	令和6年度		
	94.7% (144/152)	93.4% (142/152)	96.1% (146/152)	目標値	100%		
評 価 欄							
担当課評価基準	妥当性	貢献度	有効性	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	2	3	3	A	継続
令和6年度担当課年度評価(方向性の理由)	定員管理計画に基づく適正な人事管理を行っているが、本町は類似団体と比較し、一般行政部門で▲9.9%、普通会計全体で▲5.3%ほど職員数が不足している状況にある。必要な行政サービスの提供が滞ることのないよう、定員管理計画の中で職員体制を整えていくことが必要であるため、継続とした。						
課題(改善すべき点/方向性)	定年以外の退職による職員減や専門職(土木技師)を含めた人員確保のため、引き続き独自試験についても実施していく必要がある。						
外部評価委員会の意見	計画に基づいて着実に進めていただきたい。						方向性
							継続
町としての考え方	専門職(土木技師等)の確保が課題であることから採用方法や採用時期の検討と、転職希望者へ向けての発信方法を工夫するなど、適正な職員数の確保に努める。						方向性
							継続

事務事業評価シート

令和6年度

			事業No.	356			
所管課・係名	総務課 総務係		予算科目	2 款 1 項 1 目			
事務事業名	町職員研修事業		予算大事業名	職員研修費			
総合発展計画【章】	第6章 人の絆で織りなす賑わいあふれるまちづくり《町民参画・連携》						
総合発展計画【節】	第2節 開かれた町政の推進						
総合発展計画【項】	第2項 効率的で質の高い行政サービスの提供						
事業の概要	目 的 自治体改革を担う職員の養成						
	内 容 市町村アカデミー・国際文化研修所・東北自治研修所・山形県市町村職員研修所への派遣研修や、職員を講師とした庁内研修を実施する。						
令和4年度分の外部評価の意見	計画的に進めていただきたい。						方向性
							継続
令和5年度分の町としての考え方	派遣研修計画に基づき、職員の職階・職務の適性に応じた研修会への派遣を行うとともに、職員ニーズや社会情勢にあった独自研修を実施し、職員の業務のスキルアップにつなげていく。						方向性
							継続
令和6年度に対応した主な活動	昨年度に引き続き、県の研修所が主催する研修は、対面とオンライン受講を選択できる形式であったため、オンライン参加を原則とし、グループワーク等の対面研修が望ましいような内容のものを除き、極力受講者負担が少なくなるように計画した。						
予算・決算 (千円)	令和4年決算額	令和5年決算額	令和6年度予算額	令和6年決算見込額			
	941	1,170	1,173	538			
令和6年度 決算内訳(円)	・職員一般研修旅費92,700円 ・消耗品費5,612円 ・研修業務委託料209,000円 ・研修会受講負担金0円 ・県市町村職員研修協議会負担金230,000円 ・職員自己研修等支援助成金 60,000円						
成果指標設定の考え方	受講者/対象者数×2(当初計画)						
成果指標の 年度経過	令和4年	令和5年	令和6年	目標年度	令和6年		
	94.7% 273/288	102.1% 298/292	144.1% 441/306	目標値	100%		
評 価 欄							
担当課評価基準	妥当性	貢献度	有効性	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	3	3	3	A	継続
令和6年度 担当課年度評価 (方向性の理由)	今年度においては、オンライン研修が選択可能であったため、決算額が例年に比べかなり低く、予算圧縮の余地があるように見えるが、次年度以降は、対面式をメインに戻す方針が山形県市町村研修所より出されているため、効率性はあえて落とさず3としている。業務における専門的な技能のみならず、職員としての資質向上に大きく結びついた事業であり、貢献度や有効性は高いため、継続とした。						
課題 (改善すべき点 /方向性)	過去の受講歴や、現在の職務等を考慮し、職員がステップアップできるような研修計画を立てる。また、研修の実施時期により受講が大きな負担となっている状況も見られるため、特に職員共通で受講しているような研修はeラーニング等を駆使し、職員が好きな時期に受けることができるようにする等の対応を検討する。						
外部評価委員会の意見	計画的に進めていただきたい。						方向性
							継続
町としての考え方	令和7年度より幅広い研修テーマから選ぶことができるeラーニングの研修の導入を行っている。時間や場所にとらわれない学習環境の整備を行い、自ら学ぶ機会を提供することで、職員の主体的なスキルアップを後押しすることで、組織全体の意識改革につなげる。						方向性
							継続

事務事業評価シート

令和6年度

			事業No.	36			
所管課・係名	総務課 ICT推進室		予算科目	- 款 - 項 - 目			
事務事業名	情報ネットワークセキュリティ向上対策事業		予算大事業名	-			
総合発展計画【章】	第6章 人の絆で織りなす賑わいあふれるまちづくり《町民参画・連携》						
総合発展計画【節】	第2節 開かれた町政の推進						
総合発展計画【項】	第2項 効率的で質の高い行政サービスの提供						
事業の概要	目 的 情報ネットワークにおけるセキュリティ確保による安全性の向上						
	内 容 ①セキュリティ研修の実施 ②セキュリティポリシーの見直し						
令和5年度分の 外部評価の意見	計画的に進めていただきたい。						方向性
							継続
令和5年度分の 町としての考え方	標準化システムの導入でネットワークが大きく変わるが引き続きセキュリティの維持に努める。						方向性
							継続
令和6年度に対応した 主な活動	eラーニングによる職員のセキュリティ研修の受講によるスキルおよび知識の向上						
予算・決算 (千円)	令和4年決算額	令和5年決算額	令和6年度予算額	令和6年決算見込額			
	-	-	0	0			
令和6年度 決算内訳(円)	支出なし						
成果指標設定の 考え方	不正侵入事故発生件数及び 職員等によるウィルス持込件数						
成果指標の 年度経過	令和4年	令和5年	令和6年	目標年度	令和6年		
	0件	0件	0件	目標値	0件		
評 価 欄							
担当課評価基準	妥当性	貢献度	有効性	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	3	3	3	A	継続
令和6年度 担当課年度評価 (方向性の理由)	この事業は町の所有する個人情報等を安全に運用するために必要であり、今後もセキュリティを維持することが必要であることから継続とする						
課題 (改善すべき点 /方向性)	番号制度の導入によりオンラインでの申請などの業務が増えて多くのシステムを利用する機会が増えていることから、セキュリティの知識以外にもPCの基本操作などのスキル向上に取り組みたい						
外部評価委員会 の意見	計画的に進めていただきたい。						方向性
							継続
町としての考え方	より安全の為研修などを計画的に進める。						方向性
							継続

事務事業評価シート

令和6年度

			事業No.	448			
所管課・係名	総務課 ICT推進室		予算科目	2 款 1 項 9 目			
事務事業名	基幹GIS推進事業		予算大事業名	基幹GIS推進事業			
総合発展計画【章】	第6章 人の絆で織りなす賑わいあふれるまちづくり《町民参画・連携》						
総合発展計画【節】	第2節 開かれた町政の推進						
総合発展計画【項】	第2項 効率的で質の高い行政サービスの推進						
事業の概要	目 的 基幹GISシステムの多目的利用による事務の効率化						
	内 容 ①システムの研修会の開催 ②システムの保守管理 ③図面修正						
令和5年度分の 外部評価の意見	計画的に進めていただきたい。						方向性
							継続
令和5年度分の 町としての考え方	GISをより有効に利用し業務の効率化につながる研修を行う。						方向性
							継続
令和6年度に対応した 主な活動	図面レイヤの更新 職員向け 研修の開催						
予算・決算 (千円)	令和4年決算額	令和5年決算額	令和6年度予算額	令和6年決算見込額			
	2,398	2,321	3,050	2,596			
令和6年度 決算内訳(円)	システム保守委託料 770,000円 図面修正委託料 1,551,000円 システム研修委託料 275,000円						
成果指標設定の 考え方	研修会開催回数						
成果指標の 年度経過	令和4年	令和5年	令和6年	目標年度	令和6年		
	2回	2回	2回	目標値	2回		
評 価 欄							
担当課評価基準	妥当性	貢献度	有効性	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	3	3	2	A	継続
令和6年度 担当課年度評価 (方向性の理由)	この事業はデータを最新に維持しながら業務効率向上のため職員のスキル向上につなげることが出来た点から有効性妥当性効率性を3、貢献度活動量を2とする						
課題 (改善すべき点 /方向性)	非常時により有効業務に活用できるように研修内容を検討する						
外部評価委員会 の意見	更なるGISの利用拡大を進めていただきたい。						方向性
							改善
町としての考え方	災害対策として有効な手段である為、研修を継続する。						方向性
							改善

事務事業評価シート

令和6年度

			事業No.	730			
所管課・係名	総務課 ICT推進室		予算科目	2 款 1 項 9 目			
事務事業名	遊佐町デジタル人材育成促進事業		予算大事業名	電子自治体推進事業			
総合発展計画【章】	第6章 人の絆で織りなす賑わいあふれるまちづくり《町民参画・連携》						
総合発展計画【節】	第2節 開かれた町政の推進						
総合発展計画【項】	第2項 効率的で質の高い行政サービスの推進						
事業の概要	目 的 世界中でデジタル化が急速に進む中、町民のデジタルリテラシー向上を目指すため、町内におけるデジタル人材の育成及び需要の創出を図る。						
	内 容 情報系国家資格の受験に関する費用の一部を補助する。						
令和5年度分の外部評価の意見	—						方向性
							—
令和5年度分の町としての考え方	町を支えるデジタル人材を育成するために継続した事業とする。						方向性
							継続
令和6年度に対応した主な活動	各学校へチラシの配布・ポスターの掲載						
予算・決算 (千円)	令和4年決算額	令和5年決算額	令和6年度予算額	令和6年決算見込額			
	—	—	400	22			
令和6年度 決算内訳(円)	申請者3人×7,500円＝22,500円						
成果指標設定の 考え方	年間合格者(年間10人)						
成果指標の 年度経過	令和4年	令和5年	令和6年	目標年度	令和6年		
	—	0人	3人	目標値	10人		
評 価 欄							
担当課評価基準	妥当性	貢献度	有効性	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	2	3	3	3	A	継続
令和6年度 担当課年度評価 (方向性の理由)	3人にITパスポートの合格者の申請があった 高校生2人 社会人1人						
課題 (改善すべき点 /方向性)	HPやLINEでの告知をして国家資格取得にむけた意識を高めていきたい						
外部評価委員会の 意見	計画的に実施していただきたい。						方向性
							継続
町としての考え方	プログラミング教室などで告知する。						方向性
							継続

事務事業評価シート

令和6年度

			事業No.	257			
所管課・係名	町民課 町民係		予算科目	2 款 3 項 1 目			
事務事業名	休日窓口業務		予算大事業名	戸籍関係事業費・庁舎管理費			
総合発展計画【章】	第6章 人の絆で織りなす賑わいあふれるまちづくり《町民参画・連携》						
総合発展計画【節】	第2節 開かれた町政の推進						
総合発展計画【項】	第2項 効率的で質の高い行政サービスの提供						
事業の概要	目 的 住民の利便性向上						
	内 容 ①平日に電話で休日の証明書等(戸籍の証明を除く)の交付申込を受け付け、証明書等を作成する。 ②休日に、外部委託業者により交付し手数料を受け取る。						
令和4年度分の外部評価の意見	着実に進めていただきたい。						方向性
							継続
令和5年度分の町としての考え方	住民サービスの向上を目指し、引き続き休日窓口を継続する。また、多くの町民に利用していただけるよう計画的な周知に努め、広報・ホームページに休日窓口と併せてコンビニ交付についても周知していく。						方向性
							継続
令和6年度に対応した主な活動	お客様用封筒に休日窓口の宣伝を印刷し設置しているほか、遊佐町公式ホームページでの周知、広報ゆざお知らせ号の注釈書き(10回)と、3月1日号にはマイナカード利用促進と併せて記事を掲載し周知した。						
予算・決算(千円)	令和4年決算額	令和5年決算額	令和6年度予算額	令和6年決算見込額			
	総務課にて支出	総務課にて支出	総務課にて支出	総務課にて支出			
令和6年度決算内訳(円)	総務課(R6.4月～R7.3月)総額2,095千円の内一部						
成果指標設定の考え方	交付者数(マイナンバー交付者含む)						
成果指標の年度経過	令和4年	令和5年	令和6年	目標年度	令和6年		
	34人	15人	15人	目標値	実績値		
評 価 欄							
担当課評価基準	妥当性	貢献度	有効性	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	2	3	2	A	継続
令和6年度担当課年度評価(方向性の理由)	平日に来庁が難しい町民のため実施しているサービスであり、妥当性・貢献度は高い。現在、休日窓口で交付できる証明書は17種(コンビニ交付に対応しているのは2種のみ)で、今後も休日窓口の需要が見込まれるため継続とした。						
課題(改善すべき点/方向性)	コンビニ交付に対応している証明書については、休日窓口での取得件数がR4と比較し、R5△35.1%、R6 △43.2%と減少していることから、今後は、コンビニ交付できる証明書の拡充を図り、町民の利便性を向上させる。また、コンビニ交付の手続きが困難な町民の方のため並行して休日窓口を実施する。						
外部評価委員会の意見	住民サービスの向上を目指し、着実に進めていただきたい。						方向性
							継続
町としての考え方	平日に来庁が難しい町民やコンビニ交付の手続きが困難な町民のため休日窓口の開設する。また、町民サービスの向上のためコンビニ交付できる証明書の拡充を図る。						方向性
							継続

事務事業評価シート

令和6年度

			事業No.	267			
所管課・係名	町民課 町民係		予算科目	2 款 3 項 1 目			
事務事業名	マイナンバーカード交付事務		予算大事業名	マイナンバーカード交付事業			
総合発展計画【章】	第6章 人の絆で織りなす賑わいあふれるまちづくり《町民参画・連携》						
総合発展計画【節】	第2節 開かれた町政の推進						
総合発展計画【項】	第2項 効率的で質の高い行政サービスの提供						
事業の概要	目 的 マイナンバーカードの普及促進						
	内 容 イベント等への出張申請、夜間申請交付窓口の開設						
令和4年度分の 外部評価の意見	計画的に進めていただきたい。						方向性
							継続
令和5年度分の 町としての考え方	今後も国の動向を把握しながら、マイナンバーカードによるコンビニ交付、健康保険証としての利用について引き続き周知を図り、夜間・休日窓口も継続して行い、利用・交付促進に努める。						方向性
							継続
令和6年度に対応した 主な活動	①休日窓口(毎月第1・第3土曜日の午前に実施)開設数:11回 交付数:9件 申請数:11件 その他:2件 ②夜間窓口(毎月第1・第3火曜日の夜間に実施)開設数:12回 交付数:15件 申請数:11件 その他:1件 ③出張申請(自宅等)25件						
予算・決算 (千円)	令和4年決算額	令和5年決算額	令和6年度予算額	令和6年決算見込額			
	6,475	4,199	3,141	3,026			
令和6年度 決算内訳(円)	人件費:2,622,730(会計年度任用職員報酬。各種手当) 消耗品費:148,748 郵送料:226,820(384通) 広報折込手数料:28,842(3回分) ※マイナンバーカード交付事業に係る経費は総務省より補助金が交付される。						
成果指標設定の 考え方	交付率(J-LIS提供の個人番号カードの申請受付状況(概数)等より) (交付数/人口)						
成果指標の 年度経過	令和4年	令和5年	令和6年	目標年度	令和6年		
	70.75%	79.32%	88.34%	目標値	県平均値(%):92.04%		
評 価 欄							
担当課評価基準	妥当性	貢献度	有効性	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	2	3	2	A	継続
令和6年度 担当課年度評価 (方向性の理由)	マイナンバーカードの需要が落ち着いたためイベント等への出張申請は行わず、夜間窓口も開催日数を減らしたことから活動量を2とした。マイナ保険証制度開始により新規申請希望者が増加し、休日窓口や自宅への出張申請、コンビニ交付についての広報を行ったことで交付率の向上につながった。妥当性・貢献性が高いため、継続とした。						
課題 (改善すべき点 /方向性)	マイナンバーカード制度開始時、およびマイナポイント事業の時期にカードを交付された方の更新が、令和6年度以降大幅に増加するため、今後は、新規申請およびマイナンバーカードの更新について、申請・交付方法の周知、職員体制と申請・交付窓口の拡充に努める。						
外部評価委員会 の意見	マイナンバーカードの周知を図り、利用・交付促進に努めていただきたい						方向性
							継続
町としての考え方	マイナンバーカードの普及につながっていることから、夜間・休日窓口を継続し、併せてカードの利用周知を行う。次年度以降は、カードや電子証明書 の更新件数が増加するため円滑な更新手続きの体制整備を行う。						方向性
							継続

事務事業評価シート

令和6年度

			事業No.	256			
所管課・係名	企画課 企画係		予算科目	2 款 1 項 8 目			
事務事業名	事務事業評価システム推進事業		予算大事業名	企画一般経費(臨時)			
総合発展計画【章】	第6章 人の絆で織りなす賑わいあふれるまちづくり<<町民						
総合発展計画【節】	第2節 開かれた町政の推進						
総合発展計画【項】	第2項 効率的で質の高い行政サービスの提供						
事業の概要	目 的 事務事業の的確な見直し						
	内 容 ①事務事業評価の調査・研修・指導委託 ②適正な目標の設定と役場内部での事務事業評価 ③外部評価の実施						
令和4年度分の 外部評価の意見	若手職員にも行政評価の意義などの周知を図っていただきたい。						方向性
							改善
令和5年度分の 町としての考え方	行政評価制度は継続実施するが、職員の負担を軽減するため、総合戦略の評価シートやヒアリングを行政評価に組み込んで実施できるよう、統合に向けた検討を進める。						方向性
							継続
令和6年度に対応した 主な活動	総合戦略との統合は、令和7年度の総合発展計画の策定と同時進行し、今年度中に制度設計を行う。令和6年度は、委員の改選などあったものの例年どおりに開催し、10月に若手職員を対象とした研修会を開催し、論理的思考に関する考え方を身に着けた。						
予算・決算 (千円)	令和4年決算額	令和5年決算額	令和6年度予算額	令和6年決算見込額			
	758	764	830	762			
令和6年度 決算内訳(円)	外部評価委員謝礼:369,000円、行政評価委託料:360,000円、外部評価委員会開催経費(お茶代、懇親会費、消耗品費):23,745円 外部評価委員募集(チラシ折込):9,614円 計762,359円						
成果指標設定の 考え方	内部評価と外部評価が一致した割合						
成果指標の 年度経過	令和4年	令和5年	令和6年	目標年度	令和6年		
	61.01% (36/59)	63.27% (31/49)	81.81% (45/55)	目標値	80%		
評 価 欄							
担当課評価基準	妥当性	貢献度	有効性	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	2	3	2	A	継続
令和6年度 担当課年度評価 (方向性の理由)	行政評価制度は、各事務事業の振返り(評価)を行うことで、事業の効果検証・事業の方策等の改善に繋げるとともに、町民協働によるまちづくりを進めるものであることから妥当性・貢献度は高く、町政への町民参画を促す意味で、継続して実施する。						
課題 (改善すべき点 /方向性)	行政評価制度を事務事業評価から施策評価へ移行するための制度設計を令和7年度中に行い、より効率的かつ効果的な行政運営を目指す。						
外部評価委員会 の意見	計画的に進めていただきたい。						方向性
							継続
町としての考え方	施策評価へ移行するための制度設計を行う。						方向性
							継続

事務事業評価シート

令和6年度

			事業No.	457			
所管課・係名	町民課 課税係		予算科目	2 款 2 項 2 目			
事務事業名	確定申告相談業務		予算大事業名	賦課徴収事務費			
総合発展計画【章】	第6章 人の絆で織りなす賑わいあふれるまちづくり《町民参画・連携》						
総合発展計画【節】	第3節 効率的な財政運営の推進						
総合発展計画【項】	第1項 自主財源の確保						
事業の概要	目 的 適正・公平な課税						
	内 容 ① 確定申告期間中の所得税(住民税)の申告相談の実施(2～3月に約23日間) ② 申告相談日程及び会場等の周知、実施計画、人員配置・研修計画等の策定						
令和4年度分の外部評価の意見	利用者の利便性を最優先に考えて、進めていただきたい。						方向性
							改善
令和5年度分の町としての考え方	完全予約制を導入し相談者の待ち時間が減少したことで利便性も向上している。予約受付時の混雑解消について、他市町を参考に検討する。						方向性
							継続
令和6年度に対応した主な活動	申告相談会場を役場1か所に集約し、令和5年度に引き続き完全予約制で実施した。予約はLINE受付を電話受付より1週間先行して開始した。						
予算・決算(千円)	令和4年決算額	令和5年決算額	令和6年度予算額	令和6年決算見込額			
	-	-	-	-			
令和6年度決算内訳(円)	人件費のみの決算						
成果指標設定の考え方	相談受付人数(実績)						
成果指標の年度経過	令和4年	令和5年	令和6年	目標年度	令和6年		
	受付1,734人 申告2,249人	受付1,676人 申告2,245人	受付1,644人 申告2,262人	目標値	実績値		
評 価 欄							
担当課評価基準	妥当性	貢献度	有効性	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	3	3	2	A	継続
令和6年度担当課年度評価(方向性の理由)	課税根拠である所得申告の支援を必要とする町民は多いため、有効性・貢献度が高いと考えている。LINE予約を先行させたことにより、受付件数のうちLINE予約の割合が増加し、電話予約の分散化と予約管理の簡便化を図ることができた。						
課題(改善すべき点/方向性)	会場を集約したことにより不便を感じている町民もいることから、郵送による申告について周知する。						
外部評価委員会の意見	計画的に事業を実施していただきたい。						方向性
							継続
町としての考え方	会場を集約した完全予約制での実施により、わかりにくさや不便さを感じている町民もいるため、申告相談の周知内容や方法を見直すとともに、郵送による申告について周知する。						方向性
							継続

事務事業評価シート

令和6年度

			事業No.	265			
所管課・係名	町民課 課税係		予算科目	2 款 2 項 2 目			
事務事業名	未申告者の適正な指導事業		予算大事業名	賦課徴収事務費			
総合発展計画【章】	第6章 人の絆で織りなす賑わいあふれるまちづくり《町民参画・連携》						
総合発展計画【節】	第3節 効率的な財政運営の推進						
総合発展計画【項】	第1項 自主財源の確保						
事業の概要	目 的 適正・公平な課税						
	内 容 1.未申告者へ通知及び申告相談会の開催(2回:5月下旬・10月下旬) (5月は全く所得が把握できない者、10月は事業等の所得が把握できない者) 2.電話等による廃業、継続等の状況確認(随時)						
令和4年度分の 外部評価の意見	未申告者の状況に応じて、きめ細かい対応をしていただきたい。						方向性
							改善
令和5年度分の 町としての考え方	適正・公平な課税のため、継続して未申告対象者への催告(電話連絡、個別訪問等)、事業所得の有無に関する調査等を行うとともに、関係課(滞納者については納税係)と連携するなどして、情報把握に努め、未申告者の減少に努める。						方向性
							継続
令和6年度に対応した 主な活動	未申告者相談会の実施や電話での申告呼びかけ、基幹システムを活用した町民課窓口、健康福祉課との情報共有により、未申告者が来庁された際の対応に努めた。また、令和5年度から子育て関係の一時所得についても申告を呼びかけた。						
予算・決算 (千円)	令和4年決算額	令和5年決算額	令和6年度予算額	令和6年決算見込額			
	-	-	-	-			
令和6年度 決算内訳(円)	人件費のみの決算						
成果指標設定の 考え方	申告相談者数/想定未申告者数						
成果指標の 年度経過	令和4年	令和5年	令和6年	目標年度	令和6年		
	77.78% (154/198)	90.77% (177/195)	87.82% (137/156)	目標値	80%		
評 価 欄							
担当課評価基準	妥当性	貢献度	有効性	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	3	3	2	A	継続
令和6年度 担当課年度評価 (方向性の理由)	継続した通知及び指導により、令和6年度の所得不明者が令和5年度と比較し141名から107名に減少しており、妥当性、貢献度、有効性が高いと考えている。						
課題 (改善すべき点 /方向性)	未申告者が固定化しているため、今後も状況把握に努め、電話や訪問による申告の呼びかけを税務署等関係機関及び関係課との連携を図り、進めていく。						
外部評価委員会 の意見	引き続き未申告者の状況に応じた適切な対応をしていただきたい。						方向性
							継続
町としての考え方	適正・公正な課税のために、未申告者のうち、特に事業所得が見込まれる者については、訪問により申告指導をし、固定化の解消に努める。						方向性
							継続

事務事業評価シート

令和6年度

			事業No.	461			
所管課・係名	町民課 納税係		予算科目	2 款 2 項 2 目			
事務事業名	徴税等収納率向上対策事業		予算大事業名	徴税等収納率向上対策事業			
総合発展計画【章】	第6章 人の絆で織りなす賑わいあふれるまちづくり《町民参画・連携》						
総合発展計画【節】	第3節 効率的な財政運営の推進						
総合発展計画【項】	第1項 自主財源の確保						
事業の概要	目 的 納税意識の高揚と収納率の向上						
	内 容 納税通知書、督促状・催告書の送付、納税指導、訪問指導						
令和4年度分の 外部評価の意見	着実に進めていただきたい。						方向性
							継続
令和5年度分の 町としての考え方	引き続き計画的に滞納者への効果ある指導に努める。						方向性
							継続
令和6年度に対応した 主な活動	徴収強化月間(8月・12月)以外にも普段、夜間も含めた訪問による対面指導を実施している。また、国保税の短期証廃止に伴う高額療養費支給移行前の納付指導にも力を入れている。新規滞納者への対応は特に迅速に10万以内の段階で指導を行い完納させている。						
予算・決算 (千円)	令和4年決算額	令和5年決算額	令和6年度予算額	令和6年決算見込額			
	3,300	7,915	4,830	4,829			
令和6年度 決算内訳(円)	会計年度任用職員人件費:2,569,944円、需用費(印刷製本費・燃料費・消耗品等)895,749円、役務費(手数料・保険料)935,100円、委託料(帳票印刷業務委託)322,492円、使用料及び賃借料(システム使用料)79,200円、公用車備品購入費等27,000円						
成果指標設定の 考え方	現年度収納額/現年度課税分調定額						
成果指標の 年度経過	令和4年	令和5年	令和6年	目標年度	令和6年		
	99.21%	99.30%	99.25%	目標値	99.5%		
評 価 欄							
担当課評価基準	妥当性	貢献度	有効性	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	3	3	3	A	継続
令和6年度 担当課年度評価 (方向性の理由)	近年、現年度課税分の収納率は、99%を超える状態を継続している。現年度分収納率は県内でも上位(令和5年度14位)に位置していることから、妥当性・貢献度・有効性を3とした。						
課題 (改善すべき点 /方向性)	納税交渉にて計画納税(分納)に移行した後の経過観察を厳格にする。予定額より少額であったり不規則な納付の場合は、指導を一段踏み、次の段階では行政処分の可能性を理解してもらう。相手のペースに乘せられず、確実な納税に繋げるように指導内容をより一層、柔軟に変化させる必要がある。今後も滞納発生時の初期対応を軸として、訪問指導を徹底して行いたい。						
外部評価委員会 の意見	着実に進めていただきたい。						方向性
							継続
町としての考え方	滞納者への迅速かつ効果的な指導に努める。						方向性
							継続

事務事業評価シート

令和6年度

			事業No.	460			
所管課・係名	町民課 納税係		予算科目	2 款 2 項 2 目			
事務事業名	徴収等収納率向上対策事業(滞納処分事業)		予算大事業名	徴税等収納率向上対策事業			
総合発展計画【章】	第6章 人の絆で織りなす賑わいあふれるまちづくり《町民参画・連携》						
総合発展計画【節】	第3節 効率的な財政運営の推進						
総合発展計画【項】	第1項 自主財源の確保						
事業の概要	目 的 納税意識の高揚と収納率の向上						
	内 容 悪質性の高い滞納者への滞納処分						
令和4年度分の 外部評価の意見	-						方向性
							-
令和5年度分の 町としての考え方	引き続き計画的に滞納者への効果ある指導に努める。						方向性
							継続
令和6年度に対応した 主な活動	・預金調査・差押(ダイスシステムにより19人分調査)・財産調査・差押(給与・不動産・動産・年金)、公売(骨董等、動産)・給与照会後の三者(会社・本人・納税係)による話し合いによる給与天引き(承諾差押え)。換価額=687,600円						
予算・決算 (千円)	令和4年決算額	令和5年決算額	令和6年度予算額	令和6年決算見込額			
	-	5,171	-	5,522			
令和6年度 決算内訳(円)	差押え業務に特化した予算は計上していない。滞納繰越分に含まれる。差押件数24件で換価額687,600円(差押対象滞納者の滞納税額計1,920,661円の35.8%の換価率)。※残りの4,834,400円は通常の催告や訪問徴収による納付。						
成果指標設定の 考え方	預金差押え・年金差押え・国税還付金差押え・公売件数の総合計						
成果指標の 年度経過	令和4年	令和5年	令和6年	目標年度	令和6年		
	20件	21件	24件	目標値	20件		
評 価 欄							
担当課評価基準	妥当性	貢献度	有効性	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	3	3	2	A	継続
令和6年度 担当課年度評価 (方向性の理由)	預金調査・差押(ダイスシステムにより19人分調査)・財産調査・差押(給与・不動産・動産)、公売(骨董等、動産)・給与照会後の三者(会社・本人・納税係)による話し合いによる給与天引き。換価額=687,600円						
課題 (改善すべき点 /方向性)	口座に現金を残さないなど、滞納者の対差押え対策が巧妙化しているので、適切な時期を見定め、早期に情報を駆使した滞納処分(再就職先への給与照会・訪問等)を遂行する必要がある。また、分納中の滞納者の約束不履行が目立つので途中経過観察、指導を密にする必要がある。						
外部評価委員会 の意見	計画的に滞納者への効果ある指導に努めていただきたい。						方向性
							継続
町としての考え方	適切な段階での滞納処分の実施に努める。						方向性
							継続

・ ・ ・ ・ ・ 第 2 部 ・ ・ ・ ・ ・

事務事業の外部評価報告書

1. 外部評価制度について

遊佐町行政評価外部評価委員会設置の目的

当町における行政評価制度の導入は、平成 15 年度より試行導入し、平成 16 年度から役場内部で遊佐町行政評価推進委員会を設置して、行政事務事業評価を実施してきました。具体的には、事業の目的や成果を検証し、更には課題を整理しながら当該事業を、より良い方向に改善していくという内部評価に取り組んできました。

しかし、この過程で三つの課題が浮び上がりました。一つ目は、行政評価は、町民への施策や事務事業の説明を目的として、事業の見直しや仕分けというものに繋げるための制度と位置づけているものの、実際には、行政評価の結果と遊佐町の振興計画の策定作業とが直接結びついていない状況でした。

二つ目は、行政評価を行った結果が町民への説明資料として作成されるものの、評価により明らかになった課題が次年度の計画や予算に直接反映することがない状況でした。その結果、普段の行政事務が整理されないまま、行政評価の事務が増えているだけといった状況があり、町民説明という目的は幾分果たしているものの、優先順位として直接業務に影響している度合いは、決して高いものではありませんでした。

三つ目は、評価の対象として、評価する必要性が低いと思われる事業や、町に裁量権が無い事業などが評価対象とされていることによって「何のための行政評価なのか」といった評価を行う目的がさらにぼやけてしまっている状況にありました。

以上のように、より効率的で効果的な政策運営を進める仕組みや、町民に分かりやすい町政の運営を図る仕組みというものが求められています。そこで、町民による客観的な評価により明らかになった課題を、迅速に次年度の計画に反映していくことで、町民本位の町政、町民の視点に立った町政に変えていく行政経営の一つの手段として、外部評価制度の導入ということが検討されました。その結果、平成 22 年度から外部評価制度を導入することとなり、遊佐町行政評価外部評価委員会を設置し、その目的を、町が実施する行政評価に関し、「評価制度の透明性と評価内容の客観性を確保すること」としました。

2. 評価の視点（外部評価に当たっての視点）

外部評価に際して、事業を町が本当にしなければならないものか、という「行政関与の妥当性・必要性」に重きを置き、その上で、「事業の効率性」さらにはその「事業の効果・成果」を順に検討しました。これら視点の具体的な内容は、

次の通りです。

(1) 行政関与の妥当性・必要性

- ・行政でなければできないことがあります、行政だからできることがあります。町の行政を町民の視点で検討し、行政が関与していく必要性を検証します。
- ・世の中には、社会的弱者と言われる人たちがいて、行政が関与しなければ、助けることができない場合があります。社会的弱者の視点で、行政が関与することは、妥当なのか、必要なのか、検証します。
- ・事業の中には、「なぜ行政がここまで関与するのか」というような疑問を抱く事業もあります。いろいろな協議会や協会の事務局を行政が行っている場合がありますが、行政サービスと行政が関与する必要性を混同しているときがあります。町民の視点で、見直す必要性があるかを検証します。
- ・以前は、声が大きい人や権威がある人が言うと、予算が通る時代がありました。しかし、近年の歳出抑制の時代には、行政でも、できないものはできないと言うべきであり、町民に任せることも必要です。行政がすべきことと町民ができることを比較しながら、検証します。
- ・例えば、国で決めた補助事業を、そのまま鵜呑みにして導入し、町で実施するのはいかなものかと考えます。失敗する場合もあり、失敗してもだれも責任をとりません。町民にとって本当に必要な事業は何か、行政も本当に必要と考え実施している事業なのか、町民の視点で検証します。

(2) 事業の効率性

- ・ムダの排除ということを考え、まとめられる事業はまとめるべきです。同じような事業を、違う課にまたがって行っている場合もあるので、類似的な事業はないか、事業の再編や統合はできないか、事業の効率性を考えた合理化という視点で検証します。
- ・どんな事業も費用が優先されるが、費用をかけないサービスという効率的な視点で事業はできないか、検証します。

(3) 事業の効果・成果

- ・事業の効果・成果が、行政において、あまり確認されていない場合があります。町民の視点で費用対効果も含めて、事業の効果・成果を確認し、今後、どのようにすべきかを検証します。
- ・事業の効果・成果について、行政としての評価が甘くないか、過大すぎないか、検証します。

(4) その他

- ・費用対効果や受益と負担のバランス、町民への奉仕者としての役割を、企業経営という視点で比較しながら検証します。
- ・業務上の日常の管理が事業の実施上の管理に結びついているか、管理するための目標値がきちんと設定されているかという視点で検証します。
- ・事業も長期に渡り実施することで、マンネリ化、慢性化してくる。そのようなことによる弊害を防ぐという視点で検証します。
- ・外部評価の実施も 16 年目となり、昨年までとの比較という視点で検証します。

令和7年度 遊佐町行政評価外部評価委員会 名簿

	種類	氏 名	地区	推薦等	備考
1 班	3号	佐藤 悦雄	遊佐		班長
	1 号	高橋 智	蕨岡	蕨岡まちづくり協会推薦	
	1 号	鈴木 由美子	吹浦	吹浦地区まちづくり協議会推薦	
	3号	阿部恵美子	吹浦		
	1 号	佐藤 陽	西遊佐	西遊佐地区まちづくりの会推薦	
2 班	3号	池田 隆子	稲川		班長
	3号	佐藤 憲三	遊佐		
	1 号	渡辺 裕子	遊佐	遊佐地域づくり協議会推薦	
	2号	長澤 良樹	蕨岡	庄内みどり農協推薦	
	2号	川俣 俊彦	蕨岡	遊佐町商工会推薦	
3 班	1 号	真嶋 敦子	稲川	稲川まちづくり協会推薦	班長
	3号	本間 功	稲川		
	3号	池田 恒紀	蕨岡		
	1 号	松宮 竜也	高瀬	高瀬まちづくりの会推薦	
	1 号	本間 美智	稲川	広報委員会	

事務局

企 画 課	渡会 和裕	企画課長
	佐藤 裕也	企画係長
	遠田 久幸	主査
	瀧口 めぐみ	主任
	高橋 愛	主任
	風間 雅文	主事

遊佐町行政評価外部評価委員会設置要綱

（設置）

第1条 町が実施する行政評価に関し、評価制度の透明性と評価内容の客観性を確保することを目的に、遊佐町行政評価外部評価委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（所掌事項）

第2条 委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- （1） 町が実施した事務事業評価の内容の検証を行うこと。
- （2） 町が実施した事務事業評価の内容に関し、提言及び提案を行うこと。
- （3） 行政評価制度のあり方に関し、提言を行うこと。
- （4） 前3号に掲げるもののほか、町長が必要と認めた事項

（組織等）

第3条 委員会は、委員15人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者の中から、町長が委嘱する。

- （1） 学識経験を有する者
- （2） 町の区域内の公共的団体等の役員または職員
- （3） 公募による町民
- （4） 前3号に掲げるもののほか、町長が特に必要と認める者

3 委員の任期は、委嘱した日から2年以内とする。ただし、再任を妨げない。

4 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 町長は、委員が心身の故障のため職務の執行ができないと認めるとき、又は委員に職務上の義務違反その他委員たるに適しない行為があると認められるときは、その委員を罷免することができる。

（委員長）

第4条 委員会に委員長を置き、委員の互選により定める。

2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

3 委員長に事故あるとき又は欠けたときは、あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代理する。

（会議）

第5条 委員会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集し、その議長となる。

2 委員長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者又は関係職員の出席を求めることができる。

3 委員長は、第2条に規定する所掌事項を効率的に処理するため、委員に分業を指示することができる。この場合において、委員は、その結果を委員長に報告するものとする。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、行政評価担当所管課において処理する。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、委員長が会議に諮って定める。

附 則

この要綱は、平成22年5月31日から施行する。

附 則（平成26年6月13日告示第121号）

この要綱は、公布の日から施行する。

附 則（平成29年6月20日告示第174号）

この要綱は、公布の日から施行する。

附 則（令和4年10月3日告示第181号）

この要綱は、公布の日から施行し、改正後の第3条第3項の規定は、現に委員である者について適用する。

附 則（令和5年10月11日告示第170号）

この要綱は、公布の日から施行する。

遊佐町行政評価外部評価委員会公募委員選考要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、遊佐町行政評価外部評価委員会設置要綱第3条第2項第2号の規定に基づく公募による委員(以下「公募委員」という。)の選考方法等に関し必要な事項を定めるものとする。

(応募資格)

第2条 公募委員に応募しようとする者(以下「応募者」という。)は、次に掲げる要件を備えていなければならない。

- (1) 遊佐町の町政に関心のある者
- (2) 遊佐町の住民基本台帳に記載され、又は、外国人登録原票に登録されている者で、引き続き1年以上遊佐町内に居住している者
- (3) 応募する年度の4月1日現在の年齢が20歳以上の者
- (4) 平日に開催する会議等にも出席できる者
- (5) 国又は地方公共団体の職員、国会又は地方議会の議員でない者

(応募方法等)

第3条 公募委員の募集は、遊佐町役場の掲示場に掲示するほか、遊佐町広報等により行うものとする。

2 公募委員の募集人員、募集期間、応募方法等は、遊佐町行政評価外部評価委員募集要項に定める。

3 応募者は、遊佐町行政評価外部評価委員応募用紙(別記様式。以下「応募用紙」という。)により応募するものとする。

(選考の方法)

第4条 公募委員の選考に当たり、遊佐町行政評価外部評価委員選考委員会(以下「選考委員会」という。)を設置する。

2 選考委員会は、副町長、教育長、総務課長、企画課長で構成する。

3 選考委員会に委員長を置き、副町長をもってこれに充てる。

4 選考委員会は、応募資格及び応募用紙の記載内容を審査の上、選考するものとする。この場合において、次に掲げる事項を総合的に考慮するものとする。

- (1) 男女比や年齢構成の均衡
- (2) 職種の多様性
- (3) その他必要な事項

(選考結果の報告等)

第5条 委員長は、公募委員の選考を終了したときは、直ちに町長に報告しなければならない。

2 町長は、前項の報告を受けたときは、速やかに、選考結果を応募者全員に書面で通知するものとする。

3 応募用紙は、返却しないものとする。

4 応募者等からの選考過程についての問い合わせには応じないものとする。

(庶務)

第6条 選考委員会の庶務は、行政評価担当所管課において処理する。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、委員長が選考委員会に諮って定める。

附 則

この要綱は、平成22年5月31日から施行する。(遊佐町告示第70号)

令和7年度外部評価ヒアリング日程(令和6年度事後評価)

班	課名	係名	外部 評価	日程		場所
1班 (16事業)	総務課	総務係	2	7月9日	9:00～10:00	第2 会議室
		危機管理係	4		10:00～12:00	
		ICT推進室	4		13:00～15:00	
	企画課	企画係	6	7月10日	9:00～12:00	
2班 (17事業)	地域生活課	土木係	2	7月9日	9:00～10:00	第 1 委員会室
		上水道係	2		10:00～11:00	
		下水道係	2		11:00～12:00	
		管理衛生係	5		13:00～15:30	
	産業課	産業創造係	3	7月10日	9:00～10:30	
		農林水産係	1		10:30～11:00	
		エネルギー推進室	2		11:00～12:00	
3班 (16事業)	教育課	社会教育係	1	7月9日	9:00～9:30	第2 委員会室
		総務学事係	2		9:30～10:30	
	町民課	課税係	3		10:30～12:00	
		町民係	2		13:00～14:00	
		納税係	2		14:00～15:00	
	議会事務局	議事係	1	7月10日	9:00～9:30	
	企画課	観光物産係	4		9:30～11:30	
		定住促進係	1		11:30～12:00	
合計			49			

令和 7 年度外部評価ヒアリング結果（令和 6 年度事後評価）

（1）評価結果（事業の「方向性」の特徴・比較）

・全部で 49 事業について評価しました。次年度以降の事業の「方向性」について、担当課評価と外部評価に分けて集計した結果は、別表（P.82）の通りです。また、全事業の個々の評価については、次項「令和 7 年度外部評価結果一覧表」（P.83～P.90）をご覧ください。

・担当課評価の「継続」が 40 事業（81.63％）に対して、外部評価の「継続」が 31 事業（63.27％）、担当課評価の「改善」が 7 事業（14.29％）に対して、外部評価の「改善」は 17 事業（34.69％）となりました。なお、担当課年度の「縮小」は 2 事業（4.08％）、外部評価の「縮小」はなし、「廃止」が 1 事業（2.04％）でした。

・担当課年度評価に比べて、外部評価の方が厳しい結果となることは例年どおりの傾向であると言えますが、近年の外部評価においては、外部評価の「継続」の割合が「改善」よりも高い傾向が続いていることから（令和 6 年度は「継続」が 67.27％、「改善」が 30.91％）、令和 7 年度においても担当課評価（＝内部評価）について、外部評価委員会から、一定の支持を受けたと考えることができます。

・「方向性」の内訳について、担当課評価と外部評価を突き合わせると、「継続」「改善」「縮小」の評価が一致している事業は、49 事業のうち 35 事業であり、一致している割合は 71.43％です。同一の事業の外部評価を実施した令和 5 年度外部評価（令和 4 年度事後評価）では、一致している事業数が 49 事業のうちの 31 事業であり、割合として 63.27％であったため、令和 7 年度外部評価（令和 6 年度事後評価）の方向性と一致した事業の割合は、令和 5 年度（令和 4 年度事後評価）と比較して +8.16％となり、方向性が一致する割合は、やや改善したと言えます。

・今年度、担当課評価と外部評価の方向性の乖離が小さくなった理由としては、事務事業評価シート内の「担当課年度評価」欄の記載方法を一定程度、統一できたことにあると考えます。「担当課年度評価欄」欄に、担当者が当該

事務事業を振り返り、有効性・妥当性・貢献度・効率性・活動量の 5 つの評価基準に対し、「各評価を付けた理由」を書くことを徹底させたことで、外部評価委員会としても担当課評価の方向性に納得感を持つことができたものと推察しています。

(2) 今後に向けて

- ・ 埼玉大学 斎藤シニアプロフェッサーからの講評（P.101～P.104）にもあるとおり、2010（平成 22）年度から実施してきたいわゆる「事務事業評価制度」は今年度で終了とする方針です。

- ・ 現在、遊佐町では遊佐町総合発展計画（第 9 次振興計画）策定に向けた作業を実施しておりますが、これまで町の施策を毎年振り返って評価・検証する仕組みがありませんでした。今後は、事務事業から施策を評価する「施策評価」として行政評価制度を運用するべく、現在新たな「施策評価」を導入するための制度設計を図っているところです。

- ・ 事務事業評価から施策評価へ移行する意義は、講評の中で述べられているとおりであります。行政側から捉える意義については、①総合発展計画の進捗管理を行うことで、②当該施策の評価・分析に繋がり、③速やかな施策の見直しと予算（資金）配分の調整を行える、ことにあると考えます。制度設計は当然ですが、制度の運用開始後においても評価及びその後の効果・検証が制度化された形で実施できる運営体制の構築を目指します。

(別表)

令和7年度(令和6年度事後評価) 外部評価の評価結果

方向性の集計

方向性	担当課評価	%	外部評価	%
拡大		0.00%		0.00%
継続	40	81.63%	31	63.27%
改善	7	14.29%	17	34.69%
縮小	2	4.08%		0.00%
統合		0.00%		0.00%
廃止		0.00%	1	2.04%
終了		0.00%		0.00%
対象外		0.00%		0.00%
計	49	100.0%	49	100.0%

方向性の内訳

		外部評価								
		拡大	継続	改善	縮小	統合	廃止	終了	対象外	計 (%)
担 当 課 評 価	拡大									0 (0.0)
	継続		29	11						40 (81.63)
	改善		1	6						7 (14.29)
	縮小		1				1			1 (4.08)
	統合									0 (0.0)
	廃止									0 (0.0)
	終了									0 (0.0)
	対象外									0 (0.0)
	計 (%)	0 (0.0)	31 (63.27)	17 (34.69)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (2.04)	0 (0.0)	0 (0.0)	49 (100.0)



← 担当課評価と外部評価の「方向性」が一致するもの。

令和7年度外部評価結果一覧表(令和6年度事後評価) 総合発展計画第4章～第6章

■ ← 担当課評価と外部評価の方向性が異なる事業

第4章 鳥海山の豊かな自然と調和した快適な暮らしの創造《くらし・防災・環境》

第1節 良好な地域環境の保全

第1項 鳥海山の湧水と自然生態系の保全

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
4	1	1	森林整備ボランティア事業	産業課 農林水産係	A	継続	継続	計画的に進めていただきたい。
4	1	1	お花畠インストラクターによる 高山植物の保護啓発活動事業	企画課 観光物産係	B	改善	改善	関係機関と連携し、体制整備を図っていただきたい。

第2項 下水道の普及

該当事業なし

第3項 ごみの減量と環境美化の推進

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
4	1	3	動物相談指導事業	地域生活課 管理衛生係	A	継続	継続	着実に実施していただきたい。
4	1	3	八ツ面川流域環境整備事業	地域生活課 管理衛生係	A	継続	継続	計画的に実施していただきたい。
4	1	3	エコすまいる・ゆざ育成支援事業	地域生活課 管理衛生係	D	縮小	廃止	別に啓発活動を検討することとし、現行事業は廃止としていただきたい。
4	1	3	生ごみ処理機器購入助成事業	地域生活課 管理衛生係	A	継続	改善	電気式処理機の利用促進を検討していただきたい。

第4項 再生可能エネルギーの効果的活用

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
4	1	4	環境・エネルギーに関する 研修会開催事業	産業課 エネルギー 政策推進室	B	改善	改善	積極的なPRを行い、エネルギーに対する理解促進に努めていた だきたい。
4	1	4	再生可能エネルギー設備導 入補助事業	産業課 エネルギー 政策推進室	A	継続	継続	計画的に進めていただきたい。

第2節 安心してくらせる地域づくり

第1項 防災・克雪対策の推進

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
4	2	1	山岳救助訓練事業	総務課 危機管理係	A	継続	改善	装備品の適切な把握に努めていただきたい。
4	2	1	集落内自主除雪の 支援事業	地域生活課 土木係	A	継続	改善	農作業機械を保有していない集落への対応を、早急に検討してい ただきたい。

第2項 消防・救急体制の充実

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
4	2	2	消防団活性化対策事業	総務課 危機管理係	A	継続	改善	機能別消防団の在り方を実態に沿った内容に検討していただきた い。
4	2	2	自主防災会活動推進事業	総務課 危機管理係	A	継続	継続	着実に進めていただきたい。

第3項 日常生活の安全性向上

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
4	2	3	交通安全対策推進事業	総務課 危機管理係	B	改善	改善	カーブミラーの適切な管理に努めていただきたい。

第3節 快適で便利な遊佐ぐらしの推進

第1項 社会インフラ維持管理の適正化

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
4	3	1	濁水（赤水）対策事業	地域生活課 上水道係	A	継続	継続	計画的に実施していただきたい。
4	3	1	上水道使用料金収納率向上 対策事業	地域生活課 上水道係	A	継続	継続	着実に実施していただきたい。
4	3	1	下水道水洗化活動	地域生活課 下水道係	A	継続	継続	計画的に実施していただきたい。
4	3	1	受益者負担金未納者 対策事業	地域生活課 下水道係	B	改善	継続	過年度分の未納額を精査したうえで、着実に実施していただきたい。
4	3	1	メイクアップロード 推進事業	地域生活課 土木係	A	継続	継続	着実に実施していただきたい。

第2項 地域公共交通の活性化

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
4	3	2	町民駅委託事業	産業課 産業創造係	A	継続	改善	駅構内や駅前スペースの賑わいを図っていただきたい。
4	3	2	デマンド交通システム 事業	産業課 産業創造係	A	継続	改善	町民ニーズに即した交通システムの検討に努めていただきたい。

第3項 計画的な土地利用の推進

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
4	3	3	国土調査事業	町民課 課税係	D	縮小	継続	法務局と連携し、引き続き必要な作業を進めていただきたい。

第5章 ふるさとを愛し、未来を拓く、いのち輝く町民の育成《教育・文化》

第1節 遊佐を愛し、未来にはばたく子どもの育成

第1項 地域全体で育む園・学校教育の充実

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
5	1	1	遊佐高校就学支援事業	教育課 総務学事係	A	継続	継続	事業PRを行い、生徒数拡大につとめていただきたい。
5	1	1	遊佐高校就学支援事業 (通学支援)	教育課 総務学事係	A	継続	継続	引き続き生徒のニーズに沿った支援を行っていただきたい。

第2項 自己有用感に根ざす青少年の健全育成

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
5	1	2	少年町長・少年議員 公選事業	教育課 社会教育係	A	継続	改善	少年議会と他部門の連携による町政への意見反映と、選挙制度の見直しを図っていただきたい。
5	1	2	国際交流事業	企画課 企画係	A	継続	改善	派遣団員の選出方法や参加者負担金の見直しを進めていただきたい。

第2節 心豊かにいのち輝く町民の育成

第1項 学びをつなぐ生涯学習の推進

該当事業なし

第2項 健康ではつらつとした生涯スポーツの推進

該当事業なし

第3項 芸術文化活動の振興

該当事業なし

第3節 歴史・文化遺産の継承と活用

第1項 歴史・伝統芸能の継承と活用

該当事業なし

第2項 文化財等の調査、保存と活用

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
5	3	2	ジオパーク推進事業	企画課 観光物産係	A	継続	継続	世界ジオパーク認定に向けた取り組みを推進していただきたい。

第6章 人の絆で織りなす賑わいあふれるまちづくり《町民参画・連携》

第1節 協働によるまちづくりの推進

第1項 町民の参画を促す機会の創出

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
6	1	1	ふるさと休日推進事業	企画課 観光物産係	B	改善	改善	酒田市と連携し、事業所への周知を進めていただきたい。
6	1	1	男女共同参画推進事業	企画課 企画係	A	継続	改善	登用率の低い審議会等の改善に努めていただきたい。

第2項 町民活動を支える体制整備

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
6	1	2	ふるさとづくり寄附金事業	産業課 産業創造係	A	継続	改善	効率的な業務の在り方について、検討していただきたい。

6	1	2	町民協働公園づくり 補助事業	地域生活課 管理衛生係	A	継続	継続	計画的に実施していただきたい。
6	1	2	地域おこし協力隊 推進事業	企画課 定住促進係	A	継続	継続	着実に進めていただきたい。
6	1	2	きらきら遊佐マイタウン 事業	企画課 企画係	A	継続	継続	計画的に進めていただきたい。
6	1	2	まちづくりセンター運営事 業	企画課 企画係	A	継続	継続	継続的な支援に努めていただきたい。

第3項 町外サポーターの開拓と連携推進

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
6	1	3	ふるさと町民、準町民 制度	企画課 観光物産係	B	改善	改善	関係部署と連携し、新規登録者の増加に努めていただきたい。

第2節 開かれた町政の推進

第1項 効果的な情報発信と行財政運営の透明化

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
6	2	1	ホームページ運用事業	総務課 ICT推進室	A	継続	継続	計画的に進めていただきたい。
6	2	1	開かれた議会推進事業	議会事務局 議事係	B	改善	改善	町民と触れ合う機会を増やし、開かれた議会を推進していただきたい。
6	2	1	広報発行事業	企画課 企画係	A	継続	継続	着実に進めていただきたい。

第2項 効率的で質の高い行政サービスの提供

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
6	2	2	人事・給与事務事業	総務課 総務係	A	継続	継続	計画に基づいて着実に進めていただきたい。
6	2	2	町職員研修事業	総務課 総務係	A	継続	継続	計画的に進めていただきたい。
6	2	2	情報ネットワークセキュリティ向上対策事業	総務課 ICT推進室	A	継続	継続	計画的に進めていただきたい。
6	2	2	基幹GIS推進事業	総務課 ICT推進室	A	継続	改善	更なるGISの利用拡大を進めていただきたい。
6	2	2	遊佐町デジタル人材育成促進事業	総務課 ICT推進室	A	継続	継続	計画的に実施していただきたい。
6	2	2	休日窓口事業	町民課 町民係	A	継続	継続	住民サービスの向上を目指し、着実に進めていただきたい。
6	2	2	マイナンバーカード交付事務	町民課 町民係	A	継続	継続	マイナンバーカードの周知を図り、利用・交付促進に努めていただきたい。
6	2	2	事務事業評価システム推進事業	企画課 企画係	A	継続	継続	計画的に進めていただきたい。

第3節 効率的な財政運営の推進

第1項 自主財源の確保

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
6	3	1	確定申告相談業務	町民課 課税係	A	継続	継続	計画的に事業を実施していただきたい。
6	3	1	未申告者の適正な指導事業	町民課 課税係	A	継続	継続	引き続き未申告者の状況に応じた適切な対応をしていただきたい。

6	3	1	町税等収納率向上対策事業	町民課 納税係	A	継続	継続	着実に進めていただきたい。
6	3	1	町税等収納率向上対策事業（滞納処分事業）	町民課 納税係	A	継続	継続	計画的に滞納者への効果ある指導に努めていただきたい。

第2項 財源の効率的な活用

該当事業なし

令和 7 年度 外部評価制度に対して外部評価委員から出された意見

【外部評価制度全般に関して】

- ・ 外部（町民）が役場の事業を理解し、意見交換できる場は大変貴重だと感じる。
- ・ 普段生活していてあまり気にかけていなかったことを考えるきっかけになった。

【外部評価委員会について】

- ・ 短い日程のため、全日参加できる方を選出していただきたい（委員となる方に責任感を持ってもらいたい）。
- ・ 委員の方には何期も務めている方がいる一方、それに加えて新しい年代（20 代、30 代）の方も委員になれば、新たな切り口も生まれてくるのではないかと思う。そのためには、開催日時が現状のままだと難しい。
- ・ 町政に関心を持つ町民の増加を図るために、外部評価委員にも新たな委員が必要と考える。経験者と新規の委員の人数のバランスもあるが、支障の無い範囲でメンバーの入れ替えは必要。

【外部評価ヒアリングについて】

- ・ 委員が積極的に発言していただき、各委員の意見を伺うことができた。
- ・ ヒアリング説明者の説明があまりにも簡単で、事業を聞きなおす場面も多かった。
- ・ 班長次第で進行が上手くいく感じがしているため、事務局であらかじめ選任するのがよい。
- ・ ヒアリングの日程については、夜間を検討にいれてもよい（午後 6 時以降など）。
- ・ 事前に資料提供があることで、各委員の読み込みの準備ができ、ヒアリングの際にスムーズな質問へと繋がってよかった。
- ・ 補足資料が準備されていて、以前に比べると後から追加での配布や説明が少なくなったように感じる。

【総括】（事務局より）

- ・ 委員の任期が R6 から継続ということもあり、委員の入れ替わりがほとんどなかったため、委員会及びヒアリングを含め、スムーズに進行することができた。
- ・ アンケートにおいて委員の意見にある、20 代～30 代の方に委員を担ってほしいという意見は、これまでの課題でもある。講評（P.101～）にあるとおり、次年度以降評価制度の内容を変更していく中で、外部評価委員会の組織体制及びヒアリングの在り方について検討をする必要がある。
- ・ アンケートの中では町の事業に対する町民目線の「外部評価は必要」と考える委員が多く、制度変更後においても何らかの形で町民が町の事業の評価に関わっていける仕組みはこれまで通り必要であると考えている。

評価対象外事業一覧表

(評価の必要性が低いため、評価対象から外す事業)

① 町に裁量権がない事業(69事業)

※●は実施計画に記載のある事業

N o	事業名	事業費 (千円)	担当課名・係名
260	選挙管理事務事業	16,821	総務課総務係
37	LGWAN管理業務	134	総務課ICT推進室
258	住民基本台帳ネットワークシステム	1,085	総務課ICT推進室
444	電子申請システム整備事業	659	総務課ICT推進室
445	統計調査業務	3,073	総務課ICT推進室
●531	番号制度システム改修等事業	7,547	総務課ICT推進室
9	自衛隊募集対策費	73	総務課危機管理係
12	交通災害共済事業	232	総務課危機管理係
16	消防補償等組合負担金	13,246	総務課危機管理係
●51	産業活性化対策事業	5,475	産業課産業創造係
●203	産業立地促進資金融資制度貸付事業	251,770	産業課産業創造係
●207	勤労者生活安定資金融資事業	10,000	産業課産業創造係
●210	小規模事業者経営指導補助事業	4,614	産業課産業創造係
●251	小額融資制度保証料補給金交付事業	2,024	産業課産業創造係
●641	地域経済活性化事業	2,160	産業課産業創造係
●671	ゆざっとプラザ協議会交付金事業	2,090	産業課産業創造係
●700	中小企業緊急災害等対策利子交付金事業	5,369	産業課産業創造係
115	栽培漁業地域展開促進事業	1,084	産業課農林水産係
●122	松くい虫防除事業 (地上散布)	15,290	産業課農林水産係
●234	保全松林健全化整備事業 (衛生伐)	11,825	産業課農林水産係
●277	地域水産物供給基盤整備事業	11,410	産業課農林水産係
331	漁業就業者確保育成事業	540	産業課農林水産係
333	鳥海岩ガキ漁場再生事業	400	産業課農林水産係
●474	農地水保全管理支払交付金 (共同活動)	129,333	産業課農林水産係
●474	農地水保全管理支払交付金 (向上活動)	27,387	産業課農林水産係
●477	メジカ地域振興推進事業	800	産業課農林水産係
●594	松くい虫防除事業 (伐倒)	71,909	産業課農林水産係
●637	圃場整備事業	127,500	産業課農林水産係
●636	水利施設等保全高度化事業	4,668	産業課農林水産係
●20	中山間地域等直接支払事業	98,264	産業課農業振興係
●319	庄内広域行政組合分賦金 (食肉流通センター事業)	3,707	産業課農業振興係
●349	米需供給調整推進事業	1,078	産業課農業振興係
●473	環境保全型農業直接支払交付金	35,042	産業課農業振興係

●500	経営所得安定対策等推進事業	9,315	産業課農業振興係
●501	農業次世代人材投資事業	593	産業課農業振興係
●737	新規就農者育成総合対策事業	6,000	産業課農業振興係
●758	庄内広域行政組合分賦金（青果市場事業）	935	産業課農業振興係
●156	臨時県道整備負担金事業	2,090	地域生活課土木係
32	狂犬病予防事業	186	地域生活課管理衛生係
●246	国民健康保険支援事業（一般会計）	118,171	健康福祉課国民健康保険係
●364	後期高齢者医療制度（一般会計）	277,195	健康福祉課国民健康保険係
●365	後期高齢者医療制度（特別会計）	225,316	健康福祉課国民健康保険係
●393	国民健康保険支援事業（特別会計）	1,014,570	健康福祉課国民健康保険係
432	国民健康保険制度資格管理業務	986	健康福祉課国民健康保険係
433	後期高齢者医療制度資格管理業務	39	健康福祉課国民健康保険係
436	福祉医療給付事業（県単）	49,162	健康福祉課国民健康保険係
●41	養護老人ホーム措置事業	4,416	健康福祉課福祉係
64	行旅死病人取扱費	90,990	健康福祉課福祉係
65	障害者自立支援総務費	2,277	健康福祉課福祉係
●66	障がい者自立支援医療給付事業	10,060	健康福祉課福祉係
144	高齢者の訪問実態調査事業	130	健康福祉課福祉係
●281	障がい者自立支援給付事業	324,542	健康福祉課福祉係
●347	障がい者地域生活支援事業	6,332	健康福祉課福祉係
●485	老人クラブ活動助成事業	1,677	健康福祉課福祉係
●518	障がい児通所給付費事業	25,321	健康福祉課福祉係
●571	シルバー人材センター運営補助事業	2,004	健康福祉課福祉係
●687	シルバー人材センター空き家等管理事業	1,404	健康福祉課福祉係
●688	生活困窮者就労支援事業	10,775	健康福祉課福祉係
●60	介護保険事業（特別会計）	1,705,579	健康福祉課介護保険係
151	介護保険啓発事業	203	健康福祉課介護保険係
173	介護保険制度認定業務	11,399	健康福祉課介護保険係
407	介護保険制度資格管理業務	506	健康福祉課介護保険係
●145	母子保健事業	8,252	健康福祉課健康支援係
174	母子保健事業（1歳6ヶ月・3歳児健診）	411	健康福祉課健康支援係
421	献血推進事業	238	健康福祉課健康支援係
422	新型コロナワクチン接種事業	5,147	健康福祉課健康支援係
456	人権啓発活動事業	152	町民課町民係
276	国民年金取扱事務費	91	町民課町民係
97	定額減税補足給付金事業	111,620	町民課課税係

② 扶助的性質の高い事業（78事業）

※●は実施計画に記載のある事業

N o	事業名	事業費（千円）	担当課名・係名
505	情報公開等制度運用事業	198	総務課総務係
290	職員福利厚生事業	3,194	総務課総務係
71	広域行政推進事業	2,336	企画課企画係
●554	合併70周年記念事業	5,785	企画課企画係
3	登山道の整備推進事業	1,955	企画課観光物産係
●34	中小企業技術者養成補助事業	1,473	産業課産業創造係
38	労働者福祉対策事業	86	産業課産業創造係
●741	六次産業化、加工品開発事業	671	産業課産業創造係
759	共同宣言推進のための貸工房施設整備事業	30,958	産業課産業創造係
●232	土地改良施設農外利用負担金	3,451	産業課農林水産係
●714	水産業成長産業化支援事業	8,977	産業課農林水産係
162	家畜伝染病予防対策事業	670	産業課農業振興係
323	農林水産まつり	800	産業課農業振興係
376	有害鳥獣駆除事業	796	産業課農業振興係
13	全町美化運動事業（1回）	493	地域生活課管理衛生係
39	害虫防除事業	461	地域生活課管理衛生係
44	海岸クリーンアップ推進事業	223	地域生活課管理衛生係
50	環境推進員費	5,236	地域生活課管理衛生係
53	河川総務費一般経費	209	地域生活課管理衛生係
●247	重度心身障がい（児）者医療給付事業	29,517	健康福祉課国民健康保険係
●248	ひとり親家庭等医療給付事業	4,051	健康福祉課国民健康保険係
●249	子育て支援医療給付事業	39,098	健康福祉課国民健康保険係
434	福祉医療給付事業（町単）	23,504	健康福祉課国民健康保険係
●59	児童手当支給事業	147,870	健康福祉課子育て支援係
84	低所得者支援給付金（子育て世帯加算追加分）	1,050	健康福祉課子育て支援係
84	物価高騰対策給付金（追加子ども加算分）	960	健康福祉課子育て支援係
●280	ゆざっ子誕生祝金事業	4,500	健康福祉課子育て支援係
●611	ひとり親家庭等家賃補助事業	1,569	健康福祉課子育て支援係
●623	幼稚園一時預かり事業	1,470	健康福祉課子育て支援係
●719	ゆざっ子エンゼルサポート事業	899	健康福祉課子育て支援係
●720	障がい児保育対策事業	2,670	健康福祉課子育て支援係
●723	ひとり親家庭等教育応援手当支給事業	5,500	健康福祉課子育て支援係
73	物価高騰対策給付金支給事業（均等割10万円）	8,819	健康福祉課福祉係

74	物価高騰対策給付金支給事業 (R6新たに非課税、均等割10万円)	24,177	健康福祉課福祉係
75	物価高騰対策給付金支給事業 (追加3万円)	37,666	健康福祉課福祉係
409	社明運動費	134	健康福祉課福祉係
411	認知症老人対策事業 (補助金)	80	健康福祉課福祉係
413	緊急時通報システム事業	289	健康福祉課福祉係
417	身障者福祉タクシー事業	10,126	健康福祉課福祉係
419	脊髄損傷者等援護事業	0	健康福祉課福祉係
●483	民生児童委員協議会補助事業	5,239	健康福祉課福祉係
●484	社会福祉協議会補助事業	19,416	健康福祉課福祉係
●622	敬老年金給付事業	1,413	健康福祉課福祉係
●625	食の自立支援事業	2,987	健康福祉課福祉係
626	身障者在宅福祉 (人工透析)	172	健康福祉課福祉係
629	在宅介護者育成事業 (補助金)	467	健康福祉課福祉係
630	健康福祉の町推進事業費	35	健康福祉課福祉係
631	戦没者追悼事業	168	健康福祉課福祉係
●649	雪かき応援事業	959	健康福祉課福祉係
●451	介護保険事業 (一般会計)	296,914	健康福祉課介護保険係
●147	定期予防接種事業	113,541	健康福祉課健康支援係
●449	任意予防接種事業	1,826	健康福祉課健康支援係
●750	地域医療施設整備補助事業	13,777	健康福祉課健康支援係
●130	外国人英語助手招致事業	11,550	教育課総務学事係
●134	特別支援教育支援員等設置事業	37,259	教育課総務学事係
199	学校給食調理事業	12,965	教育課総務学事係
208	友遊スクール設置事業	1,272	教育課総務学事係
209	就学時健診事業	207	教育課総務学事係
211	小学校学校保健事業	2,593	教育課総務学事係
212	中学校学校保健事業	2,115	教育課総務学事係
●253	小中学校学習指導書整備事業	5,795	教育課総務学事係
●312	要保護及び準要保護就学援助事業	3,528	教育課総務学事係
780	学校給食費高騰対策事業	1,610	教育課総務学事係
784	学校給食費無償化事業	23,118	教育課総務学事係
●672	特別支援教育就学奨励事業	1,304	教育課総務学事係
●673	中学校部活動指導員配置事業	2,502	教育課総務学事係
●691	学習支援塾推進事業	904	教育課総務学事係
●166	芸術文化振興事業	3,495	教育課社会教育係
167	ボランティア活動推進事業	38	教育課社会教育係
169	青少年育成センター事業	93	教育課社会教育係
170	文化振興事業	675	教育課社会教育係

●171	奥の細道鳥海ソーデーマーチ開催事業	3,304	教育課社会教育係
172	家庭教育推進事業	90	教育課社会教育係
●607	統合型地域スポーツクラブ支援事業	4,106	教育課社会教育係
●772	中学校部活動地域移行運営事業	3,688	教育課社会教育係
426	自然環境保全事業	129	教育課文化係
●651	議会中継配信事業	1,360	議会事務局議事係
●706	議会ICT化推進事業	3,248	議会事務局議事係

③ 施設の維持管理、計画策定、県の要請や委託など確実な実施で目的が達成する事業
(119事業)

※●は実施計画に記載のある事業

N o	事業名	事業費（千円）	担当課名・係名
289	区長会費	15,382	総務課総務係
235	遊佐町四大祭開催事業	350	総務課総務係
●328	例規整備事業	9,892	総務課総務係
●355	庁舎管理事業	10,049	総務課総務係
●459	公用車整備事業	12,017	総務課総務係
●770	佐藤政養招魂之碑石灯籠保全修復事業	1,300	総務課総務係
269	公共施設等総合管理計画策定事業	660	総務課財政係
270	町有地管理費	1,608	総務課財政係
275	一般財産臨時経費	898	総務課財政係
285	財政管理経費	106	総務課財政係
286	会計管理経費	4,067	総務課財政係
583	公会計財務書類作成事業	2,750	総務課財政係
●14	防犯灯設置事業	2,786	総務課危機管理係
●15	防災行政無線整備事業	9,845	総務課危機管理係
17	水難救助活動費	1,189	総務課危機管理係
18	消防団員費	13,715	総務課危機管理係
19	火災出動手当	629	総務課危機管理係
22	消防施設維持補修費	1,580	総務課危機管理係
26	水難救助活動費	1,189	総務課危機管理係
27	水防費一般経費	302	総務課危機管理係
29	災害対策一般経費	7,668	総務課危機管理係
31	防火・防災普及啓発事業	89	総務課危機管理係
33	避難誘導看板等設置事業	225	総務課危機管理係
●266	酒田地区広域行政組合分賦金（消防費）	196,401	総務課危機管理係
345	消防施設管理費	4,434	総務課危機管理係
●709	非常備消防活動費	13,234	総務課危機管理係
●271	まちづくりセンター管理事業	14,173	企画課企画係
●724	まちづくりセンター改築事業	174,654	企画課企画係

78	遊佐町公共サイン管理事業	121	企画課観光物産係
79	海水浴場清掃事業	6,418	企画課観光物産係
80	西浜海水浴場砂除去事業	6,996	企画課観光物産係
●219	山岳観光トイレ維持管理事業	13,098	企画課観光物産係
●316	しらい自然館運営事業	12,220	企画課観光物産係
●348	観光施設改修事業	50,860	企画課観光物産係
●386	着地型観光育成事業	6,500	企画課観光物産係
●418	二次交通対策事業	4,057	企画課観光物産係
●470	地域間交流事業	2,310	企画課観光物産係
●499	海水浴場開設事業	12,600	企画課観光物産係
●536	鳥海ふれあいの里関連施設指定管理事業	51,910	企画課観光物産係
●675	河原宿避難小屋整備事業	0	企画課観光物産係
●773	遊佐町ふれあい広場指定管理事業	1,870	企画課観光物産係
●774	観光誘客対策事業	11,600	企画課観光物産係
●642	地域活性化拠点施設活用事業	8,466	産業課産業創造係
●678	ゆざ元町地域交流センター整備事業	1,081	産業課産業創造係
●107	小規模土地改良事業（町単）	1,000	産業課農林水産係
●108	一般農道整備事業	2,266	産業課農林水産係
●116	林道改良事業	1,989	産業課農林水産係
●352	湛水防除排水機場維持管理事業	2,597	産業課農林水産係
●555	農村公園整備事業	612	産業課農林水産係
593	漁村センター管理費	4,331	産業課農林水産係
●322	さんゆう・さんグリーン指定管理事業	6,864	産業課農業振興係
380	体験農園整備事業	641	産業課農業振興係
381	放牧地貸付事業	219	産業課農業振興係
●383	道の駅「鳥海」ふらっと整備事業	7,585	産業課農業振興係
●179	上水道量水器整備事業	11,644	地域生活課上水道係
●703	公共下水道公営企業会計移行事業	1,870	地域生活課下水道係
●765	都市下水路雨水出水浸水想定区域図策定事業	8,690	地域生活課下水道係
48	紙類資源物収集事業	1,188	地域生活課管理衛生係
●76	酒田地区広域行政組合分賦金（清掃分）	104,819	地域生活課管理衛生係
●77	一般廃棄物収集事業	25,228	地域生活課管理衛生係
●284	斎場施設整備事業	2,925	地域生活課管理衛生係
541	都市公園管理費	11,686	地域生活課管理衛生係
543	町営住宅管理事業	732	地域生活課管理衛生係
●645	廃棄物ステーション整備事業	3,131	地域生活課管理衛生係
●725	月光川水系環境整備事業	16,267	地域生活課管理衛生係
54	集落内の下水路整備事業	594	地域生活課土木係
●149	町道維持及び危険緊急箇所の整備事業	24,752	地域生活課土木係

●155	橋梁長寿命化事業	5,280	地域生活課土木係
●157	交通安全施設整備事業	1,925	地域生活課土木係
●306	町道及び公共施設の除雪事業	65,331	地域生活課土木係
●306	除雪機械整備事業	17,017	地域生活課土木係
●332	道路台帳整備事業	1,100	地域生活課土木係
●443	畑藤井金俣線（広畑橋）改築事業	5,280	地域生活課土木係
●453	町道道路改良事業	6,589	地域生活課土木係
●454	町道側溝整備事業	11,077	地域生活課土木係
●455	町道舗装整備事業	24,123	地域生活課土木係
●660	栄橋撤去事業	117,896	地域生活課土木係
420	児童遊園地管理費	1,252	健康福祉課子育て支援係
●546	保育園改修事業	4,278	健康福祉課子育て支援係
●554	遊佐町合併70周年記念事業	903	健康福祉課子育て支援係
●572	教育・保育給付事業	178,323	健康福祉課子育て支援係
●767	子ども・子育て支援事業計画策定事業	3,201	健康福祉課子育て支援係
●378	後期高齢者健診事業	8,393	健康福祉課健康支援係
●751	がん患者支援事業	180	健康福祉課健康支援係
●96	固定資産評価替見直し調査事業	5,677	町民課課税係
●133	小中学校ICT整備事業	4,601	教育課総務学事係
●135	小中学校振興備品整備事業	476	教育課総務学事係
●140	中学校施設改良事業	31,622	教育課総務学事係
●141	小学校施設改良事業	24,591	教育課総務学事係
201	小学校施設維持管理事業	31,694	教育課総務学事係
202	中学校施設維持管理事業	23,858	教育課総務学事係
●254	スクールバス運行管理事業	109,563	教育課総務学事係
●297	小・中教師用コンピュータ整備事業	4,593	教育課総務学事係
●313	中学校給食業務民間委託事業	14,850	教育課総務学事係
●412	学校給食備品整備事業	336	教育課総務学事係
●650	コミュニティスクール推進事業	2,799	教育課総務学事係
●82	社会教育施設維持補修事業	5,459	教育課社会教育係
236	トレーニングルーム利用拡大支援事業	132	教育課社会教育係
237	町立学校体育施設の夜間開放事業	4,010	教育課社会教育係
●435	町民体育館指定管理事業	21,925	教育課社会教育係
●437	放課後子ども教室推進事業	7,090	教育課社会教育係
●446	社会体育施設整備事業	16,749	教育課社会教育係
●487	図書館施設整備事業	500	教育課社会教育係
●488	冬季レクリエーション施設運営事業	1,624	教育課社会教育係
●524	社会体育振興事業	334	教育課社会教育係
●608	図書館指定管理事業	34,900	教育課社会教育係
●608	総合運動公園管理事業	5,262	教育課社会教育係

●168	青山邸保存整備事業	5,897	教育課文化係
●296	町内遺跡発掘調査等事業	2,114	教育課文化係
414	町史下巻編さん発行事業	29	教育課文化係
●415	民俗芸能伝承事業	402	教育課文化係
416	文化財保護推進事業	251	教育課文化係
420	歴史民俗学習館管理事業	1,212	教育課文化係
424	ゆざ学講座事業	113	教育課文化係
425	遺跡等管理事業	2,855	教育課文化係
610	埋蔵文化財保存活用事業	66	教育課文化係
●628	杉沢文化交流施設管理運営事業	2,121	教育課文化係
●693	遊佐の宝保存伝承事業	161	教育課文化係
●712	史跡小山崎遺跡整備事業	16,237	教育課文化係

④長期的な評価しか適当でない事業（38事業）

※●は実施計画に記載のある事業

No	事業名	事業費（千円）	担当課名・係名
268	財政の健全化促進事業	923,721	総務課財政係
●609	危険空き家解体撤去補助事業	5,757	総務課危機管理係
67	日沿道整備要望活動事業	49	企画課企画係
68	羽越本線等高速化早期実現要望活動	62	企画課企画係
250	まちづくり市政座談会開催事業	406	企画課企画係
252	まちづくり基本条例の推進	58	企画課企画係
273	振興審議会費	178	企画課企画係
●753	地方版総合戦略策定事業	5,542	企画課企画係
●495	遊佐町水循環保全事業	3,384	企画課企画係
●752	遊佐高校魅力化地域連携支援事業	1,254	企画課企画係
69	日沿道山形・秋田県境区間建設促進 期成同盟会の要望活動	200	企画課PAT整備推進室
●584	遊佐パーキングエリアタウン整備事業	175,966	企画課PAT整備推進室
●740	若者を中心としたビジネス創出事業	5,104	産業課産業創造係
●761	若者を中心としたゆざづくり会社運営事業	297	産業課産業創造係
●763	地域力創造アドバイザー事業	5,599	産業課産業創造係
109	公有林整備事業	115	産業課農林水産係
●123	松くい虫防除事業（樹幹注入）	1,197	産業課農林水産係
●351	みどり環境税交付金事業 （高度公益機能森林）	2,267	産業課農林水産係
●578	みどり環境税交付金事業 （共存の森運営事業）	500	産業課農林水産係
●670	森林環境譲与税活用事業	1,129	産業課農林水産係
385	土づくり支援事業	1,815	産業課農業振興係

●589	農地利用効率化等支援事業	26,792	産業課農業振興係
●638	魅力ある園芸やまがた所得向上支援事業	4,661	産業課農業振興係
●710	元気な地域農業担い手育成支援事業	2,474	産業課農業振興係
●507	エネルギー基本計画策定推進事業	495	産業課エネルギー政策推進室
●549	上水道事業繰出金	13,000	地域生活課上水道係
●621	上水道管移設・布設替事業	4,840	地域生活課上水道係
●701	水道施設耐震化事業	59,147	地域生活課上水道係
●716	上水道老朽管更新事業	6,600	地域生活課上水道係
160	都市下水路事業	1,543	地域生活課下水道係
●190	合併処理浄化槽設置整備事業	3	地域生活課下水道係
●194	下水道施設修繕事業	22,380	地域生活課下水道係
●512	公共下水道事業繰出金	483,000	地域生活課下水道係
●513	地域集落排水事業繰出金	47,000	地域生活課下水道係
●646	公共下水道事業下水道管渠移設・布設替事業（高速道路関連）	22,462	地域生活課下水道係
●748	下水道施設改築更新事業	73,700	地域生活課下水道係
●143	健康づくり推進事業	2,374	健康福祉課健康支援係
438	うつ病予防対策事業	266	健康福祉課健康支援係

おわりに

(令和 7 年度 外部評価委員会を振り返って)

1. 今年度の振り返りと新たな方向性

(1) 今年度の振り返り

本町の外部評価制度は、2010（平成 22）年度に導入されて以来、今年度で 16 年目を迎えた。この間、大規模な制度改編は行われていないものの、対象事業の選定ルールの特明確化、評価シート項目の追加、評価基準の 5 段階から 3 段階への簡素化など、継続的な改善が進められてきた。こうした取組により、制度の質は向上し、安定した運用が実現している。今年度は、制度全体として大きな課題や次年度に向けた是正事項は見られなかった。しかし、評価制度自体に影響を及ぼす動きもある。そこで、今年度はこの点を中心に以下に述べたい。

(2) 新たな方向性一二つの要請

近年、外部評価制度には見直しの機運が高まっており、その背景には、国の政策的動向と、委員会内で強調される「町民目線」の重視という、二つの要因がある。この二つは形式的には異なるが、実質的には「住民本位の政策形成」という同じ方向性を示している。

国における主な動きとして、2019 年度以降、内閣府が推進する「地域幸福度指標（ウェルビーイング指標）」がある。これは、住民の主観的・客観的な生活の質を多面的に捉えようとする統合的指標であり、従来の経済指標（GDP や所得水準など）では捉えきれない「暮らしやすさ」を可視化することを目的としている。暮らしやすさには、満足感や社会的つながり、安全性、健康、教育、環境といった幅広い側面が含まれる。この指標は、総合計画や地方版総合戦略において目標設定や成果の基準として活用されている。

また、この指標は、政策の評価軸を「数値目標の達成」から「生活実感の向上」へと転換するものであり、政策の有効性を住民の主観と客観の両面から説明可能にする。単なる管理指標ではなく、「共感と根拠に基づく政策形成」のためのツールとして位置づけられている。

本町の外部評価委員会においても、「暮らしやすさ」「安全・安心な町」といった観点からの評価が既に行われており、地域幸福度指標との親和性は高い。

今後、住民の生活実感に根ざした視点を取り入れた評価のあり方が、より一層求められることになるだろう。

そこで、以下では、外部評価の意義や役割、さらには施策評価への移行の意義について整理する。

2. 外部評価の役割と意義

外部評価は、従来の事務事業評価と、今後期待される施策評価とで、その役割と意義が異なる。

事務事業評価における外部評価の役割は、個別事業の妥当性・効率性・成果について、住民の視点から「税金の使い道」を評価し、必要に応じて改善や見直しを促すことにある。その意義としては、行政の透明性向上、住民による「現場感覚」に基づいた判断、無駄の発見と改善提案などが挙げられる。

一方で、施策評価における外部評価の役割は、複数の事業を包括した施策の方向性や重点性を、住民の視点で総合的に評価することにある。これにより、自治体の施策全体に対する住民参加の促進や、政策の優先順位に対する住民の関与が可能となる。その意義は、①施策レベルでの成果の市民的評価による民主的統制の強化、②行政計画への住民の影響力の拡大、③個別事業を超えた戦略的な意思決定への住民参加の実現である。

以上の通り、事務事業の外部評価は「ミクロ的視点」による個別事業の検証であり、部分的な改善を目的とする。一方で、施策の外部評価は、住民の意見を「マクロ的視点」で政策形成に反映することを目指すものであり、より本質的な住民参加の形といえる。

3. 施策評価への移行が持つ意義

施策評価への移行は、住民本位・生活者目線による評価へと制度を転換するものであり、その主な意義は以下の4点に集約される。

①生活実感と施策の整合性の確保

住民の生活課題は、個別の事業ではなく、複数の施策にまたがって存在する。施策単位での評価により、「どのような課題にどう応えているか」という生活者目線での分析が可能となる。

②住民参加の質の向上

事務事業評価では、個別業務や予算に対する意見が中心となりがちだが、施策評価では「自治体が目指すべき方向」や「何を優先すべきか」といった政策的な対話が促進される。

③政策の優先順位に対する関与

限られた財源の中で、どの領域に重点を置くかを住民の視点で再検討することで、行政への民主的統制を強化できる。

④説明責任と透明性の強化

施策単位での成果や費用対効果を住民と共有することで、行政はより戦略的かつ明瞭な形で説明責任を果たすことが可能となる。

このように、施策評価への移行は、質の高い住民参加を実現するとともに、自治体の政策形成における透明性と説明責任の向上をもたらす。

4. 制度変更における基本視点と留意点

(1) 基本視点

施策評価を制度として定着させるには、以下の4つの視点が重要である。

①評価単位を「生活のまとまり」に設定する

「子育て支援」「高齢者福祉」「防災・安全」など、住民の関心が高く、分かりやすい単位で施策を構成することで、参加意欲の向上につながる。

②外部評価委員の構成・役割の再設計

施策評価では、専門性以上に生活者としての視点や多様な価値観が重要となる。住民・専門家・NPOなどの多様な主体を含む構成が望ましい。

③成果指標と情報提供の工夫

抽象化しがちな施策評価には、主観的な指標（例：住民満足度、主観と客観の両方を含む地域幸福度）の導入が有効である。また、施策ごとの情報は簡潔でわかりやすく整理し、住民とも共有できる体制が必要である。

④政策形成との接続性の強化

評価結果が総合計画や施策の見直しに直結する仕組みを制度に組み込み、「評価＝終点」ではなく「政策サイクルの一部」とする必要がある。

(2) 留意点

①評価の抽象化リスク

施策は多面的であるため、評価の焦点がぼやけやすい。そのため、必要に応じて事務事業の情報も補助的に活用することが有効である。

②負担とリテラシーの課題

委員が施策レベルの情報を的確に理解・判断できるよう、事前の説明会、学習機会、ファシリテーターの配置など、支援体制の充実が求められる。

③行政側の受容姿勢

施策評価では、行政全体の方向性に関する住民の意見が増えることになる。これを批判にとらえるのではなく、政策改善の契機とする文化の醸成が重要である。

④制度の継続性と安定運用

施策評価を単発に終わらせず、総合計画や地方創生と連動させて、定期的かつ制度化された形で実施することが不可欠である。

5. 共感と根拠に基づく政策づくりに向けて

外部評価を事務事業単位から施策単位へと移行することは、住民参加の質を「監視・点検」から「共創・構想」へと高める、大きな転換である。生活者の視点を軸とした評価の実現には、行政・住民・制度の三者による丁寧な設計と相互理解が必要であるが、まずはその第一歩を着実に踏み出すことが求められている。

(埼玉大学経済学部 シニアプロフェッサー 斎藤 友之)

令和 7 年 9 月 報告

遊佐町行政評価推進委員会

遊佐町行政評価外部評価委員会

(事務局：遊佐町 企画課内／山形県飽海郡遊佐町遊佐字舞鶴 202)

(電話番号：0234-72-4523)